

表組

1. 概要	5
1-1. 表オブジェクトで実現可能な帳票	5
1-2. 使用可能な入力データ形式	9
2. 表オブジェクトの新規作成	11
2-1. フォームに表を定義する	11
2-2. 表を追加する	14
3. 選択・プロパティ	15
3-1. 表オブジェクトを選択する	15
3-2. プロパティダイアログを表示する	15
4. 表オブジェクトの構成要素	17
4-1. ブロック	17
4-2. 行	18
4-3. セル	20
4-4. 列	23
4-5. ガイド線	24
5. 移動・サイズ変更	29
5-1. 表オブジェクトを移動する	29
5-2. 表オブジェクトのサイズを変更する	29
5-3. セルのサイズを変更する	30
6. データのマッピング	32
6-1. CSV データマップ	32
6-2. DB データマップ	35
6-3. ffc ファイルの共有制限	38
7. 罫線・背景色の設定	39
7-1. 線種	39
7-2. 線幅	40
7-3. 線の色	41
7-4. 背景色	41
7-5. 罫線の描画優先順位	42
8. テキスト	43
8-1. セルにテキストデータを出力する	43
8-2. マッピングデータを表示する	43
8-3. 流し込み	44
8-4. バイト数による自動改行	45
8-5. 自動改行	45
8-6. 改行設定	46
8-7. フォント	47
8-8. 配置	47
8-9. 固定のテキストを表示する	48

9. イメージ	49
9-1. セルにイメージデータを出力する	49
9-2. サイズ指定	50
9-3. 位置合わせ	51
9-4. 固定のイメージを表示する	52
10. バーコード	53
11. 補正值	54
12. セルの結合	55
12-1. 隣り合ったセルを結合する	55
12-2. セルの結合を解除する	56
12-3. 結合セルに対する罫線編集	56
12-4. 結合セルに対する行と列の削除	57
13. ラベルブロック	58
13-1. ラベルブロックの概要	58
13-2. ラベルブロックの追加・削除	58
14. 改ページ	59
14-1. ガイド線	59
14-2. 行間隔	60
14-3. 2 ページ目以降の開始位置を変える	60
14-4. 最終ページのフッタ位置を制御する	61
15. キー項目	64
15-1. キー項目の概要	64
15-2. キー項目の優先順位を入れ替える	65
15-3. キー項目の指定を解除する	66
15-4. キーブレイク設定を起動する	66
16. 重複データ非表示	67
16-1. 重複データ非表示の設定	67
16-2. 重複データ非表示の解除	68
16-3. 複数項目の重複データ非表示	69
17. 表タイトルブロック	70
17-1. 表タイトルブロックの概要	70
17-2. ラベルブロックの上に出力する	70
18. キータイトルブロック	72
18-1. キータイトルブロックの概要	72
18-2. ブロック自体がキー項目のセルを持つブロック	72
18-3. キー項目に関連付けられたブロック	73
18-4. キー項目の関連付けを確認・変更する	74
18-5. ラベルブロックのようにキータイトルブロックを出力する	75
19. キーブレイク	76
19-1. キーブレイクの概要	76
19-2. 改ページ	77
19-3. 罫線	77
19-4. 改行	78
19-5. キーグループ単位でのまとめ送り	79

20. 集計	81
20-1. 集計機能の概要	81
20-2. 総集計ブロックを追加する	82
20-3. キー集計ブロックを追加する	84
20-4. セルに集計設定を割り当てる	86
20-5. 集計ブロックの集計タイミングを変更する	88
20-6. 集計対象項目を変更する	89
20-7. 集計行をページ内に収める	90
20-8. 集計行をページ内に収める（キーブレイク改ページ）	91
20-9. 表の外部に集計値を表示する	92
20-10. 集計値が表示されないときは	93
20-11. 空データの扱い	93
21. 計算	95
21-1. 計算機能の概要	95
21-2. 計算式を設定する	95
21-3. 不正な値での計算	99
21-4. 表の外部に計算値を表示する	99
21-5. 計算値が表示されないときは	99
21-6. ゼロ除算が発生した際の警告設定	100
22. 自動連番	101
22-1. 自動連番機能の概要	101
22-2. 自動連番を設定する	101
22-3. 通常連番	102
22-4. 改ページごとによりセット	103
22-5. キーブレイクでリセット	103
22-6. キー項目に関連付ける	103
23. データ編集	105
24. 網掛け	107
24-1. 網掛け機能の概要	107
24-2. 網掛けを有効にする	107
24-3. 網掛けの間隔を設定する	108
24-4. 網掛けの色を設定する	109
24-5. レコード単位で網掛けにする	109
24-6. 集計ブロックにも網掛けを適用する	110
25. 空行	111
25-1. 空行機能の概要	111
25-2. ブロックの前に出力する	112
25-3. ブロックの後に出力する	112
26. 繰り返し表	114
26-1. 繰り返し表の概要	114
26-2. 繰り返し表のキー項目を指定する	114
26-3. 表の間隔を指定する	116

27. 複合表	117
27-1. 複合表の概要	117
27-2. 表オブジェクトを追加する	118
27-3. 表と表の間の処理を指定する	119
27-4. 表オブジェクトごとにデータをマッピングする	121
27-5. 複合表の繰り返しパターン出力	124
28. 表連携オブジェクト	127
28-1. 表連携オブジェクトの概要	127
28-2. データをマッピングする	129
28-3. 集計値・計算値を出力する	130
28-4. 1 ページ目のみに出力する	131
28-5. 最終ページのみで出力する	132
28-6. 全ページで出力する	133
28-7. 繰り返し帳票のヘッダに指定する	134
28-8. 表連携オブジェクトの重ね合わせ設定	136
28-9. 表連携オブジェクトの非表示	137
29. 表の終了位置を固定にする	139
29-1. 表の行数固定	139
29-2. 集計ブロックの出力位置	140
30. 表の上下枠線	142
30-1. 表の上下罫線の概要	142
30-2. 表に枠線を付ける	144
30-3. 重複データ非表示による罫線切れを防ぐ	146
31. 条件判別による文字色・背景色の変更	147
32. データが 0 件の場合の設定	149
33. 空のデータをスキップする	151
34. レコードのまとめ出力	152
35. セルの非表示	154
35-1. セルの非表示とは	154
35-2. セルの非表示設定	154
35-3. 列を非表示にする	155
35-4. セルの非表示の確認	156
35-5. セルの非表示の解除	157
36. 丸コーナー	158
36-1. 丸コーナーとは	158
36-2. 丸コーナー設定	158
36-3. 丸コーナーの罫線属性	159
36-4. 制限事項	159

1. 概要

1-1. 表オブジェクトで実現可能な帳票

帳票に「表」を配置したい場合は「表オブジェクト」を使用すると便利です。ここでの「表」とは明細データが罫線で区切られて繰り返し出力されるようなものを意味しています。例えば次のような特徴を持った帳票を作成したい場合には表オブジェクトが適しています。

- ・ 罫線が引かれた明細データのリストを出力したい
- ・ データの量に応じてサイズが変わる表を出力したい
- ・ データを集計して合計や平均を帳票上に出したい
- ・ 最初のページだけは上半分を違うデザインにしたい

表オブジェクトを使用することで実現可能な帳票のパターンは大きく次の5種類に分類されます。

1. リスト帳票

単純なリスト形式の明細を表示する帳票です。

明細部分のみが可変となり、レコード数に応じて罫線が描画される基本的な帳票です。

図：リスト帳票

社員番号	社員名	性別	所属	入社年月日	生年月日	郵便番号	住所	電話番号
4100001	佐藤 一郎	男性	営業部	1973/04/20	1954/11/20	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5678
4100002	田中 美穂	女性	営業部	1974/05/10	1955/02/08	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5679
4100003	鈴木 健太	男性	営業部	1975/06/20	1956/03/17	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5680
4100004	高橋 真由	女性	営業部	1976/07/30	1957/04/25	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5681
4100005	山本 隆志	男性	営業部	1977/08/10	1958/05/15	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5682
4100006	佐々木 花子	女性	営業部	1978/09/20	1959/06/25	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5683
4100007	渡辺 誠也	男性	営業部	1979/10/10	1960/07/10	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5684
4100008	小林 千尋	女性	営業部	1980/11/20	1961/08/20	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5685
4100009	中村 大輔	男性	営業部	1981/12/10	1962/09/10	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5686
4100010	石川 美咲	女性	営業部	1982/01/20	1963/10/20	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5687
4100011	松本 健一	男性	営業部	1983/02/10	1964/11/10	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5688
4100012	山崎 真由美	女性	営業部	1984/03/20	1965/12/20	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5689
4100013	佐藤 隆夫	男性	営業部	1985/04/10	1966/01/10	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5690
4100014	高橋 千代	女性	営業部	1986/05/20	1967/02/20	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5691
4100015	山本 誠也	男性	営業部	1987/06/10	1968/03/10	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5692
4100016	佐々木 花子	女性	営業部	1988/07/20	1969/04/20	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5693
4100017	渡辺 誠也	男性	営業部	1989/08/10	1970/05/10	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5694
4100018	小林 千尋	女性	営業部	1990/09/20	1971/06/20	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5695
4100019	中村 大輔	男性	営業部	1991/10/10	1972/07/10	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5696
4100020	石川 美咲	女性	営業部	1992/11/20	1973/08/20	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5697
4100021	松本 健一	男性	営業部	1993/12/10	1974/09/10	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5698
4100022	山崎 真由美	女性	営業部	1994/01/20	1975/10/20	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5699
4100023	佐藤 隆夫	男性	営業部	1995/02/10	1976/11/10	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5700
4100024	高橋 千代	女性	営業部	1996/03/20	1977/12/20	100-0001	東京都千代田区千代田1-1-1	03-1234-5701

2. 明細帳票

請求書の鑑に該当する「ヘッダ部分」と「明細（リスト）部分」からなる帳票です。ヘッダ部分は最初のページにだけ出力され、次ページ以降は表示されません。1 ページ目や明細の最後に全体の合計値を Create!Form で集計して表示することも可能です。

図：明細帳票

The figure shows two pages of a request form. The left page is the header page, and the right page is a continuation of the item list. Both pages have a title '請求書' (Request Form) and a page number 'Page 1 / 2'.

Header Information (Left Page):

- No. 123-4567
- 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-0-00 ○○株式会社
- 御請求額: 税込, 税込, 税込
- 日付: 2006年11月20日
- Page: 1 / 2

Table of Items (Left Page):

コード	品名	数量	単価	金額	品名
K101	F100F-20	1	18,000	180,000	
K102	F100F-20	1	18,000	180,000	
K110	F100F-20	1	18,000	180,000	
K111	F100F-20	1	18,000	180,000	
K112	F100F-20	1	18,000	180,000	
K113	F100F-20	1	18,000	180,000	
K114	F100F-20	1	18,000	180,000	
K115	F100F-20	1	18,000	180,000	
K116	F100F-20	1	18,000	180,000	
K117	F100F-20	1	18,000	180,000	
K118	F100F-20	1	18,000	180,000	
K119	F100F-20	1	18,000	180,000	
K120	F100F-20	1	18,000	180,000	
K121	F100F-20	1	18,000	180,000	
K122	F100F-20	1	18,000	180,000	
K123	F100F-20	1	18,000	180,000	
K124	F100F-20	1	18,000	180,000	
K125	F100F-20	1	18,000	180,000	
K126	F100F-20	1	18,000	180,000	
K127	F100F-20	1	18,000	180,000	
K128	F100F-20	1	18,000	180,000	
K129	F100F-20	1	18,000	180,000	
K130	F100F-20	1	18,000	180,000	
K131	F100F-20	1	18,000	180,000	
K132	F100F-20	1	18,000	180,000	
K133	F100F-20	1	18,000	180,000	
K134	F100F-20	1	18,000	180,000	
K135	F100F-20	1	18,000	180,000	
K136	F100F-20	1	18,000	180,000	
K137	F100F-20	1	18,000	180,000	
K138	F100F-20	1	18,000	180,000	
K139	F100F-20	1	18,000	180,000	
K140	F100F-20	1	18,000	180,000	
K141	F100F-20	1	18,000	180,000	
K142	F100F-20	1	18,000	180,000	
K143	F100F-20	1	18,000	180,000	
K144	F100F-20	1	18,000	180,000	
K145	F100F-20	1	18,000	180,000	
K146	F100F-20	1	18,000	180,000	
K147	F100F-20	1	18,000	180,000	
K148	F100F-20	1	18,000	180,000	
K149	F100F-20	1	18,000	180,000	
K150	F100F-20	1	18,000	180,000	
K151	F100F-20	1	18,000	180,000	
K152	F100F-20	1	18,000	180,000	
K153	F100F-20	1	18,000	180,000	
K154	F100F-20	1	18,000	180,000	
K155	F100F-20	1	18,000	180,000	
K156	F100F-20	1	18,000	180,000	
K157	F100F-20	1	18,000	180,000	
K158	F100F-20	1	18,000	180,000	
K159	F100F-20	1	18,000	180,000	
K160	F100F-20	1	18,000	180,000	
K161	F100F-20	1	18,000	180,000	
K162	F100F-20	1	18,000	180,000	
K163	F100F-20	1	18,000	180,000	
K164	F100F-20	1	18,000	180,000	
K165	F100F-20	1	18,000	180,000	
K166	F100F-20	1	18,000	180,000	
K167	F100F-20	1	18,000	180,000	
K168	F100F-20	1	18,000	180,000	
K169	F100F-20	1	18,000	180,000	
K170	F100F-20	1	18,000	180,000	
K171	F100F-20	1	18,000	180,000	
K172	F100F-20	1	18,000	180,000	
K173	F100F-20	1	18,000	180,000	
K174	F100F-20	1	18,000	180,000	
K175	F100F-20	1	18,000	180,000	
K176	F100F-20	1	18,000	180,000	
K177	F100F-20	1	18,000	180,000	
K178	F100F-20	1	18,000	180,000	
K179	F100F-20	1	18,000	180,000	
K180	F100F-20	1	18,000	180,000	
K181	F100F-20	1	18,000	180,000	
K182	F100F-20	1	18,000	180,000	
K183	F100F-20	1	18,000	180,000	
K184	F100F-20	1	18,000	180,000	
K185	F100F-20	1	18,000	180,000	
K186	F100F-20	1	18,000	180,000	
K187	F100F-20	1	18,000	180,000	
K188	F100F-20	1	18,000	180,000	
K189	F100F-20	1	18,000	180,000	
K190	F100F-20	1	18,000	180,000	
K191	F100F-20	1	18,000	180,000	
K192	F100F-20	1	18,000	180,000	
K193	F100F-20	1	18,000	180,000	
K194	F100F-20	1	18,000	180,000	
K195	F100F-20	1	18,000	180,000	
K196	F100F-20	1	18,000	180,000	
K197	F100F-20	1	18,000	180,000	
K198	F100F-20	1	18,000	180,000	
K199	F100F-20	1	18,000	180,000	
K200	F100F-20	1	18,000	180,000	
K201	F100F-20	1	18,000	180,000	
K202	F100F-20	1	18,000	180,000	
K203	F100F-20	1	18,000	180,000	
K204	F100F-20	1	18,000	180,000	
K205	F100F-20	1	18,000	180,000	
K206	F100F-20	1	18,000	180,000	
K207	F100F-20	1	18,000	180,000	
K208	F100F-20	1	18,000	180,000	
K209	F100F-20	1	18,000	180,000	
K210	F100F-20	1	18,000	180,000	
K211	F100F-20	1	18,000	180,000	
K212	F100F-20	1	18,000	180,000	
K213	F100F-20	1	18,000	180,000	
K214	F100F-20	1	18,000	180,000	
K215	F100F-20	1	18,000	180,000	
K216	F100F-20	1	18,000	180,000	
K217	F100F-20	1	18,000	180,000	
K218	F100F-20	1	18,000	180,000	
K219	F100F-20	1	18,000	180,000	
K220	F100F-20	1	18,000	180,000	
K221	F100F-20	1	18,000	180,000	
K222	F100F-20	1	18,000	180,000	
K223	F100F-20	1	18,000	180,000	
K224	F100F-20	1	18,000	180,000	
K225	F100F-20	1	18,000	180,000	
K226	F100F-20	1	18,000	180,000	
K227	F100F-20	1	18,000	180,000	
K228	F100F-20	1	18,000	180,000	
K229	F100F-20	1	18,000	180,000	
K230	F100F-20	1	18,000	180,000	
K231	F100F-20	1	18,000	180,000	
K232	F100F-20	1	18,000	180,000	
K233	F100F-20	1	18,000	180,000	
K234	F100F-20	1	18,000	180,000	
K235	F100F-20	1	18,000	180,000	
K236	F100F-20	1	18,000	180,000	
K237	F100F-20	1	18,000	180,000	
K238	F100F-20	1	18,000	180,000	
K239	F100F-20	1	18,000	180,000	
K240	F100F-20	1	18,000	180,000	
K241	F100F-20	1	18,000	180,000	
K242	F100F-20	1	18,000	180,000	
K243	F100F-20	1	18,000	180,000	
K244	F100F-20	1	18,000	180,000	
K245	F100F-20	1	18,000	180,000	
K246	F100F-20	1	18,000	180,000	
K247	F100F-20	1	18,000	180,000	
K248	F100F-20	1	18,000	180,000	
K249	F100F-20	1	18,000	180,000	
K250	F100F-20	1	18,000	180,000	
K251	F100F-20	1	18,000	180,000	
K252	F100F-20	1	18,000	180,000	
K253	F100F-20	1	18,000	180,000	
K254	F100F-20	1	18,000	180,000	
K255	F100F-20	1	18,000	180,000	
K256	F100F-20	1	18,000	180,000	
K257	F100F-20	1	18,000	180,000	
K258	F100F-20	1	18,000	180,000	
K259	F100F-20	1	18,000	180,000	
K260	F100F-20	1	18,000	180,000	
K261	F100F-20	1	18,000	180,000	
K262	F100F-20	1	18,000	180,000	
K263	F100F-20	1	18,000	180,000	
K264	F100F-20	1	18,000	180,000	
K265	F100F-20	1	18,000	180,000	
K266	F100F-20	1	18,000	180,000	
K267	F100F-20	1	18,000	180,000	
K268	F100F-20	1	18,000	180,000	
K269	F100F-20	1	18,000	180,000	
K270	F100F-20	1	18,000	180,000	
K271	F100F-20	1	18,000	180,000	
K272	F100F-20	1	18,000	180,000	
K273	F100F-20	1	18,000	180,000	
K274	F100F-20	1	18,000	180,000	
K275	F100F-20	1	18,000	180,000	
K276	F100F-20	1	18,000	180,000	
K277	F100F-20	1	18,000	180,000	
K278	F100F-20	1	18,000	180,000	
K279	F100F-20	1	18,000	180,000	
K280	F100F-20	1	18,000	180,000	
K281	F100F-20	1	18,000	180,000	
K282	F100F-20	1	18,000	180,000	
K283	F100F-20	1	18,000	180,000	
K284	F100F-20	1	18,000	180,000	
K285	F100F-20	1	18,000	180,000	
K286	F100F-20	1	18,000	180,000	
K287	F100F-20	1	18,000	180,000	
K288	F100F-20	1	18,000	180,000	
K289	F100F-20	1	18,000	180,000	
K290	F100F-20	1	18,000	180,000	
K291	F100F-20	1	18,000	180,000	
K292	F100F-20	1	18,000	180,000	
K293	F100F-20	1	18,000	180,000	
K294	F100F-20	1	18,000	180,000	
K295	F100F-20	1	18,000	180,000	
K296	F100F-20	1	18,000	180,000	
K297	F100F-20	1	18,000	180,000	
K298	F100F-20	1	18,000	180,000	
K299	F100F-20	1	18,000	180,000	
K300	F100F-20	1	18,000	180,000	
K301	F100F-20	1	18,000	180,000	
K302	F100F-20	1	18,000	180,000	
K303	F100F-20	1	18,000	180,000	
K304	F100F-20	1	18,000	180,000	
K305	F100F-20	1	18,000	180,000	
K306	F100F-20	1	18,000	180,000	
K307	F100F-20	1	18,000	180,000	
K308	F100F-20	1	18,000	180,000	
K309	F100F-20	1	18,000	180,000	
K310	F100F-20	1	18,000	180,000	

3. 集計帳票

単純なリスト帳票に集計行を加え、レコードを集計して小計や総計を出力する帳票です。指定したカラムの値が切り替ったタイミング、つまり、キープレイクが発生したときに罫線の表示や集計行を表示します。例えば、「事業所別計」「営業日別計」といった複数段階に分かれたデータの集計も可能です。

図：集計帳票

日付別見積集計票								
日付	事業所	取引先コード	取引先名	品目コード	品目名	数量	単価	金額
2006/11/6	第31期	ABC	オプティコム	01-C04-0001	ゴキブリ駆除剤(100g)	10	630	6300
				01-C04-0002	ゴキブリ駆除剤(100g)	10	900	9000
				01-C04-0006	オドレーネ剤(100g)	20	500	10000
				01-C04-0007	オドレーネ剤(100g)	20	1000	20000
				01-C04-0014	オドレーネ剤(100g)	20	1000	20000
				01-E03-0003	ジョーリーゴザンダ(100g)	20	1200	24000
				01-E03-0005	カニキゴザンダ(100g)	1	800	800
				01-E04-0001	美耐のワルーフ塗り剤(100g)	3	7000	21000
				01-E04-0002	美耐のワルーフ塗り剤(100g)	3	4000	12000
				01-E04-0003	美耐のワルーフ塗り剤(100g)	3	4000	12000
						日付別集計	397800	
2006/11/7	第31期	ABC	オプティコム	01-C04-0001	ゴキブリ駆除剤(100g)	10	630	6300
				01-C04-0002	ゴキブリ駆除剤(100g)	10	900	9000
				01-C04-0006	オドレーネ剤(100g)	20	500	10000
				01-C04-0007	オドレーネ剤(100g)	20	1000	20000
				01-C04-0014	オドレーネ剤(100g)	20	1000	20000
				01-E03-0003	ジョーリーゴザンダ(100g)	20	1200	24000
				01-E03-0005	カニキゴザンダ(100g)	1	800	800
				01-E04-0001	美耐のワルーフ塗り剤(100g)	3	7000	21000
				01-E04-0002	美耐のワルーフ塗り剤(100g)	3	4000	12000
				01-E04-0003	美耐のワルーフ塗り剤(100g)	3	4000	12000
						日付別集計	397800	
						総集計	795600	

図：集計値を出力

グループ	金額	10000	100000
ブルーンズ	2	6000	12000
スクメロン (中球)	50	120	6000
みかん			
		日付別集計	397800
		総集計	795600

4. 繰り返し表帳票

表明細の全体が繰り返される帳票です。例えば、事業所ごとの集計表を作成し、それぞれの集計表が区切られて全事業所の数だけ繰り返し出力される帳票です。

図：繰り返し表帳票

取引先別見積明細票									
日付	見積No	取引先コード	取引先名	商品コード	商品名	数量	単価	金額	備考
2006/11/6	012145	0002	カフェ・クローバー						
SEI-CAR-0002	ブナガトアソシエイ (10個)			10	430			6300	
SEI-CAR-0005	フィテンシオアシヨコラ (15個)			35	900			31500	
SEI-CAR-0008	マドレーヌセット (15個)			30	500			15000	
SEI-CAR-0003	ガトー・ド・シスター (15)			10	1000			10000	
SEI-CAR-0004	ガトー・ド・シスター (M)			10	1600			16000	
SEI-CAR-0005	ジャージー・ブディング (15個)			30	1200			24000	
SEI-CAR-0003	カスタドネリブディング (10個)			1	500			500	
SEI-CAR-0001	業務用フルーツケーキセット			3	7500			22500	
SEI-CAR-0005	特選マスタロン (中種)			5	6000			30000	
SEI-CAR-0002	フィロイン産マロン			50	250			12500	
								合計	163300

日付	見積No	取引先コード	取引先名	商品コード	商品名	数量	単価	金額	備考
2006/11/6	012146	0003	ストロベリー・ルージュ						
SEI-CAR-0001	タルトアンサンブル (10個)			20	1500			30000	
SEI-CAR-0005	フィテンシオアシヨコラ (15個)			40	900			36000	
SEI-CAR-0008	マドレーヌセット (15個)			35	500			17500	
SEI-CAR-0003	ガトー・ド・シスター (15)			10	1000			10000	
SEI-CAR-0005	ガトー・ド・シスター (M)			10	2200			22000	
SEI-CAR-0004	マシマール・ブッシュ・ド・ネ (M)			30	1800			54000	
SEI-CAR-0007	カリニョ・ブリン (15個)			15	6000			90000	
SEI-CAR-0005	ジャージー・ブディング (15個)			15	1200			18000	
SEI-CAR-0003	カスタドネリブディング (10個)			10	500			5000	
SEI-CAR-0001	業務用フルーツケーキセット			2	7500			15000	
SEI-CAR-0005	特選マスタロン (中種)			2	6000			12000	
SEI-CAR-0013	業務用みかん			50	120			6000	
SEI-CAR-0005	特選マスタロン (中種)			2	6000			12000	
SEI-CAR-0013	業務用みかん			50	120			6000	
								合計	252500

5. 複合表帳票

1つの帳票の中にレイアウトの異なる明細を複数組み合わせる出力する帳票です。例えば、預かり資産状況や借入れ資産状況などのレイアウトが異なる複数の表明細を1つの帳票として出力することができます。

図：複合表帳票

＜お預り資産＞						
◆流動性預金						
種別	口座番号	お預り資産	口座開設日			
普通預金	1234567	¥788,000	2005/12/15			
普通預金	2345678	¥1,234,000	1995/10/25			
普通預金	3456789	¥235,000	1998/03/19			
普通預金	4567890	¥432,000	2001/02/08			
普通預金	5678901	¥500,000	2003/07/20			
普通預金	6789012	¥230,000	2003/12/13			
普通預金	7890123	¥100,000	2005/06/10			
貯蓄預金	8901234	¥1,500,000	2003/01/30			
貯蓄預金	9012345	¥3,000,000	2004/04/30			
合計		¥6,109,000				
◆定期性預金						
種別	口座・証書番号	お預り金額	年利率	預入日	満期日	繰上方法
パワフル定期	1234567	¥800,000	0.0005	2004/08/10	満期日	元利繰上
	1			3ヶ月	2004/11/10	分擔繰上
パワフル定期	1234567	¥1,000,000	0.0008	2004/09/01	満期日	元利繰上
	2			1年	2007/09/01	分擔繰上
パワフル定期	1234567	¥1,500,000	0.0008	2004/12/20	満期日	元利繰上
	3			1年	2007/12/20	分擔繰上
合計		¥3,300,000				
◆外貨定期預金						
種別	口座・証書番号	お預り金額 (邦貨)	通貨種類	年利率	預入日	繰上方法
預入接受	1234567	¥1,100,000	USD	0.0091	2005/09/23	2005/12/23
新外貨定期預金	0.0091	10,000	100.00	3ヶ月	2005/09/23	分擔繰上
新外貨定期預金	1234567	¥3,300,000	EUR	0.0079	2004/03/10	2004/6/10
0.0079	30,000	150.00	150.00	3ヶ月	2004/03/10	分擔繰上
合計		¥4,400,000				
		40,000				

表オブジェクトはこれらの分類に関わらず、設定により柔軟に表の出力パターンを定義することが可能です。

なお、表オブジェクトを使用することで実現可能な帳票は、縦方向にデータが増えていくタイプの可変表です。横方向にデータが増えていくタイプの可変表には対応していません。

また、表オブジェクトを使用した際に作成できるジョブファイルの帳票種別は以下のものとなります。

- ・標準帳票（シングルデータ、マルチデータ）
- ・マルチフォーム（マルチデータ）

表オブジェクトを使用したセット帳票は利用できませんのでご注意ください。

1-2. 使用可能な入力データ形式

1. CSV

1行1レコード形式でリスト状にデータが並んでいるCSVファイルを入力データとして使用することができます。

図：リスト状のCSVデータ

```
A1046001, 帳票  一郎, 役員, 代表取締役, 1971/04/01
A1046002, 大池  信幸, 役員, 常務取締役, 1974/04/01
A1046005, 小山  徹也, 役員, 専務取締役, 1971/04/01
A1046009, 洲巻  雅義, 役員, 取締役, 1971/08/01
A1046011, 鹿渡  篤, 役員, 取締役, 1971/12/10
A1047002, 山田  竜童, 総務, 部長, 1972/04/01
A1047004, 山口  正弘, 人事, 部長, 1972/04/01
A1047006, 山形  俊二, 経理, 部長, 1972/07/22
A1048001, 三輪  努, 第1システム, 部長, 1973/04/01
A1048005, 三木  勝, 第2システム, 部長, 1973/04/01
```

...

使用するデータの範囲を「n行目以降」という形式で指定できるので、ファイルの先頭に何行かのヘッダ部分が存在しているファイルでも問題なく扱うことができます。例えば下のようなCSV構成の場合は、「6行目以降を表のデータとして使用する」という指定が可能です。

図：ヘッダ付きの CSV データ

帳票商事株式会社
115-0027
東京都江東区上砂 2-3-48
03-3725-1140
ID, 氏名, 所属, 役職, 入社日
A1046001, 帳票 一郎, 役員, 代表取締役, 1971/04/01
A1046002, 大池 信幸, 役員, 常務取締役, 1974/04/01
A1046005, 小山 徹也, 役員, 専務取締役, 1971/04/01
A1046009, 洲巻 雅義, 役員, 取締役, 1971/08/01
A1046011, 鹿渡 篤, 役員, 取締役, 1971/12/10
A1047002, 山田 竜童, 総務, 部長, 1972/04/01
A1047004, 山口 正弘, 人事, 部長, 1972/04/01
...

CSV の 1 項目の中に改行を含む CSV ファイルは Create!Form では扱うことができませんのでご注意ください。

2. データベース

Create!Form で使用可能なデータベース (Windows 上で ODBC 接続可能な RDBMS、もしくは Oracle データベース) を入力データとしてマッピングすることができます。

データベースを使用する場合、以下の制限があります。

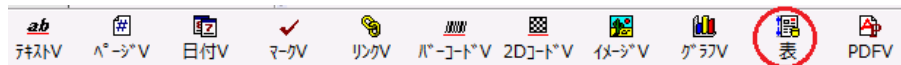
- ・バイナリデータを扱うことはできません
- ・改行を含むデータは改行をスペースに置換して扱います

2. 表オブジェクトの新規作成

2-1. フォームに表を定義する

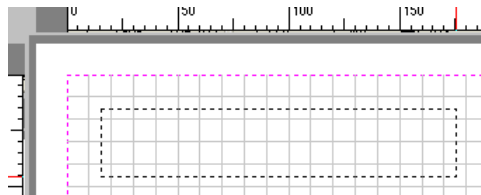
表オブジェクトを定義するには、他の変数オブジェクトと同様、ツールバーの表オブジェクトのアイコンをクリックします。

図：ツールバーの表オブジェクトアイコン



マウスカーソルがオブジェクト生成モードの形状に変わった状態でフォーム上をドラッグ&ドロップして表オブジェクトを配置します。

図：ドラッグ&ドロップして配置



次のような表オブジェクト新規作成ダイアログが表示されます。

図：新規作成ダイアログ

左から	項目名
1列目	ITEM001
2列目	ITEM002
3列目	ITEM003
4列目	ITEM004
5列目	ITEM005

ここで最低限必要な情報を設定します。

- ・ 変数名
- ・ 記述
- ・ 列数
- ・ 列名
- ・ ラベルブロックを使用するかどうか

ここで設定する情報は後から変更することが可能です。

例えば、「商品コード」「商品名」「金額」という3つの項目からなる表を作成する場合は、まず[列数]を「3」に変更します。画面下の項目リストがそれに合わせて3項目になります。

図：列数を変更する

列数: ラベル:

左から	項目名
1列目	ITEM001
2列目	ITEM002
3列目	ITEM003

リストの[項目名]は初期状態では「ITEM001」のような表示になっています。クリックすると編集可能な状態になるので、それぞれ「商品コード」「商品名」「金額」と入力して変更します。

図：項目名を入力

左から	項目名
1列目	商品コード
2列目	商品名
3列目	金額

[変数名]や[記述]は他の変数オブジェクトと同じものなので、必要があれば適切なものに変更してください。

[OK] ボタンをクリックすると、設定した情報に基づいて表オブジェクトがフォーム上に表示されます。

図：表オブジェクトが表示される

商品コード	商品名	金額
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

[項目名のインポート] ボタンから CSV ファイルをインポートすることで項目名を設定することもできます。

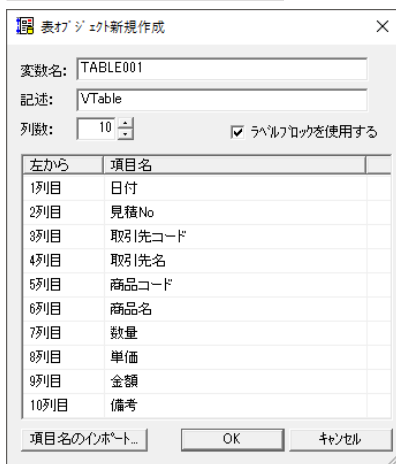
図：[項目名のインポート] ボタン

項目名のインポート...

[項目名のインポート] ボタンを押すとファイル選択ダイアログが表示されます。ここで選択した CSV ファイルの 1 行目に含まれているカンマで区切られた項目を読み込み、新規作成ダイアログの項目名に反映します。以下はインポートする CSV の 1 行目例です。

日付, 見積 No, 取引先コード, 取引先名, 商品コード, 商品名, 数量, 単価, 金額, 備考

図：項目名のインポート結果



CSV ファイルをエクスプローラから項目名リストにドラッグアンドドロップすることでも項目名のインポートをすることができます。

項目名のインポートに利用できる CSV ファイルには以下の制限があります。

- ・ 取り込める最大項目数 : 50 項目
- ・ 1 項目あたりの最大文字列長 : 255 バイト
- ・ 1 行の最大文字列長 : 12800 バイト
- ・ 文字コード : SJIS のみ
- ・ 区切り文字 : 「,」 (カンマ) のみ
- ・ 制御文字 : 「"」 (ダブルクォーテーション) のみ

不要な項目を選択して [Delete] キーを押すことで項目を削除することができます。項目を選択するには「~列目」と表示されている箇所をクリックします。項目を削除した場合、残りの項目の列番号が繰り上がります。

図：1項目「日付」を削除

Table Object New Creation

Table Name: TABLE001

Record: VTable

Columns: 9 Use Label Lock

Left	Item Name
1	見積No
2	取引先コード
3	取引先名
4	商品コード
5	商品名
6	数量
7	単価
8	金額
9	備考

Import Item Name... OK Cancel

2-2. 表を追加する

2つ目以降の表オブジェクトを追加する場合、フォーム上のどの位置に配置しても必ず最後に追加した表の下に配置されます。

※表オブジェクトは15まで追加可能です。

※表オブジェクト機能では、複数の表を縦に並べて順番に出力していくことは可能ですが、複数の表を横に並べて出力することはできません。

図：表を追加

商品コード	商品名	金額
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

店舗コード	店舗名
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX

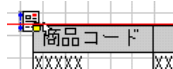
複数の表をフォーム上に配置すると「複合表」と呼ばれる帳票パターンになります。複合表については「27. 複合表」をご参照ください。

3. 選択・プロパティ

3-1. 表オブジェクトを選択する

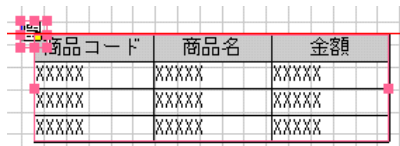
表オブジェクトにマウスカーソルを合わせるとオブジェクトの左上にアイコンが表示されます。これは「プロパティボタン」といい、表オブジェクト全体を選択、設定するために使用します。

図：プロパティボタン



プロパティボタンをクリックすると表オブジェクト全体が選択状態になります。

図：選択状態



3-2. プロパティダイアログを表示する

表オブジェクトが選択状態のとき、プロパティボタンをダブルクリックするか、右クリックして表示されるコンテキストメニューから「プロパティ」を選択すると「プロパティダイアログ」が表示されます。

図：プロパティダイアログ



このダイアログは表オブジェクト全体の設定を管理するための画面です。[変数名]と[記述]は他の変数オブジェクトと同様の項目です。必要があれば自由に変更することができます。ただし、[変数名]はそのフォーム上で一意のものでなくてはなりません。

プロパティダイアログは、

- ・セル
- ・キー項目
- ・デザイン
- ・形態
- ・位置

の5つの画面で構成されています。

設定項目の内容については各機能の解説をご参照ください。

4. 表オブジェクトの構成要素

4-1. ブロック

表オブジェクトはそれ自体がさらにいくつかの部品に分かれています。その部品を「ブロック」といい、例えば入力データ 1 件分の出力にはレコードブロック、集計行の出力には集計ブロックが使用されます。つまり、ブロックは出力のタイミングでまとめられた「行のかたまり」のことです。

図：ブロック

社員検索リスト（一般用）		
社員番号	名前	所属
A1046001	横原 一郎	役員
A1046002	大池 信幸	役員
A1046005	小山 徹也	役員
A1046009	洲巻 雅義	役員
A1046011	鹿渡 篤	役員
A1047002	山田 竜章	総務

ラベルブロック

レコードブロック

表オブジェクトは以下の 4 つのブロックにより構成されています。

- ・タイトルブロック : 表のタイトルを出力するためのブロック
- ・ラベルブロック : ラベルを出力するためのブロック
- ・レコードブロック : 入力データ 1 件分を出力するためのブロック
- ・集計ブロック : 集計値を出力するためのブロック

表オブジェクトでは、これらを組み合わせて 1 つの表を構成します。

図：ブロックを組み合わせる

社員検索リスト（一般用）		
社員番号	名前	所属
A1046001	横原 一郎	役員
A1046002	大池 信幸	役員
A1046005	小山 徹也	役員
A1046009	洲巻 雅義	役員
A1046011	鹿渡 篤	役員
A1047002	山田 竜章	総務

ラベルブロック

レコードブロック

レコードブロック

レコードブロック

レコードブロック

レコードブロック

レコードブロック

レコードブロック

ブロックはこのようにそれぞれ意味を持っているので、ブロックの種類によって設定できる内容も変わってきます。また、全てのブロックを使用する必要はありません。表を出力するために最低限必要なものはレコードブロックだけです。

レコードブロックは表としての最も基本的な要素です。レコードブロックは入力データ 1 件に対して割り当てられるブロックで、帳票上には入力データの件数分だけレコードブロックが繰り返し出力されることになります。

図：レコードブロックが繰り返される

社員番号	名前	所属	
A1046001	橋本 一郎	役員	代表取
A1046002	大池 信幸	役員	常務取
A1046005	小山 敬也	役員	専務取
A1046009	瀬野 雅麿	役員	取締役
A1046011	藤澤 篤	役員	取締役
A1047002	山田 竜彦	総務	部長
A1047004	山口 正弘	人事	部長

そのためFormエディタの画面上でも繰り返し出力されるイメージがつかめるようにレコードブロックのみ3ブロック表示されています。

図：レコードブロックは3つ表示される

社員番号	名前	所属	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXX

これは表としてのイメージを画面上で把握しやすくするために、3つのブロックが表示されていても全て同じものを表しています。3つのうちの1つを選択すると他の2つのブロックも選択状態になり、変更があればそれも全て他の2つに反映されます。

4-2. 行

ブロックは、最低で1つ、最大で5つの「行」で構成されます。

図：行

10110	パート A7	0	02,000	109,000
10205	0A#t7	20	39,800	796,000
10205	0A#t7		49,800	249,000
10301	事務机	10	59,800	598,000
10302	事務机	10	36,800	368,000
10310	事務机	5	32,800	164,000
10	事務机	5	32,800	164,000
			合計	26,510,000
			税込み合計	27835500

1行の高さは1つのフォーム内では全てのブロックで共通のものが使用されます。そのため、例えば、レコードブロックの1行の高さとラベルブロックの1行の高さを別のものにすることはできません（レコードブロックとラベルブロックの「行数」を別に設定することは可能です）。

行の高さを設定するには、Formエディタのメニュー[ファイル]-[フォーム設定]で表示される[フォーム設定]ダイアログで、「表オブジェクト」タブにある[行間隔]を変更します。[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトに反映されます。

図：フォーム設定画面で行間隔を変更

フォーム設定

ステータス | 用紙サイズ | 編集モード | テンプレート

lpi/cpi | 表オブジェクト | Salesforce

行間隔: 12,000 小数点一桁

ガイド

1ページ目の開始位置 290,000

2ページ目以降の開始位置 290,000

最終ページフッタ位置 818,000

終端位置 818,000

データが0件の場合はその表を表示しない

データが0件の場合は警告する

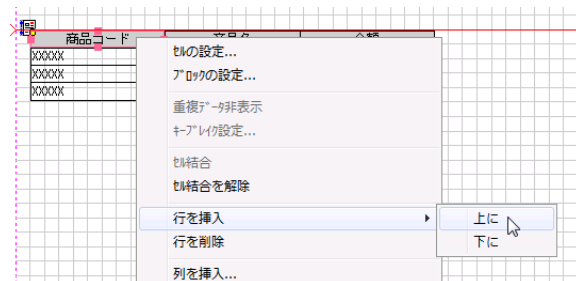
計算処理において0除算が発生した場合は警告する

OK キャンセル

1 ページ内に最大何件のデータが出力されるかは、この [行間隔] と後述するガイド線との関係によって決まります。ページとデータの扱いについては「14. 改ページ」をご参照ください。

また、ブロックに対して行を追加するには、ブロックのいずれかのセルを選択状態にして右クリックします。表示されたコンテキストメニューから [行を挿入] - [上に] (もしくは [下に]) を選択します。

図：コンテキストメニュー



選択していたセルを含む行がコピーされてその行の上に (もしくは下に) 追加されます。

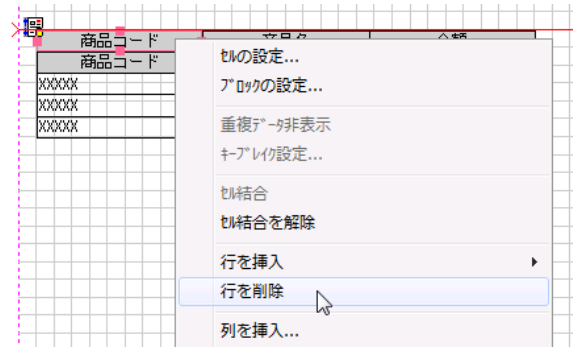
図：行が追加される

商品コード	商品名	金額
商品コード	商品名	金額
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

追加された行は最初に選択した行と同じブロックに追加されます。行は1つのブロックにつき5行まで増やすことができます。

逆に行を削除するには、削除したい行のいずれかのセルを選択状態にし、右クリックで表示されるコンテキストメニューから「行を削除」を選択します。

図：コンテキストメニュー



行を全て削除するとそのブロック自体が削除されます。ただし、レコードブロックだけは必ず最低1行は必要となるため、削除することはできません。

4-3. セル

図：セル

社員番号	名前	所属
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

A box labeled "セル" (Cell) has arrows pointing to individual cells within the table above.

「ブロック」はさらに複数の「セル」で構成されます。セルは表オブジェクトの構成要素における最小単位で、各データはこのセルに対してマッピングされ出力されます。

セルをクリックすると選択状態になります。

図：選択状態

[Ctrl] キーを押しながらクリックすると、複数のセルを選択状態にすることができます。

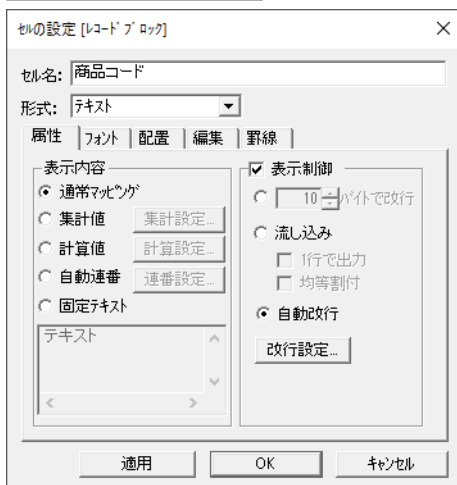
図：複数選択

セルを選択した状態で、

- ・そのセルをダブルクリック
- ・右クリックして表示されたコンテキストメニューから「セルの設定」を選択

のいずれかの操作を行うと「セルの設定」ダイアログが表示されます。

図：セルの設定ダイアログ



セルの設定ダイアログでは、そのセルに関する詳細な設定を行うことができます。ここでの設定内容は、[形式]に指定されたものによって異なります。詳細は各機能説明をご参照ください。

- ・テキスト：「8. テキスト」
- ・イメージ：「9. イメージ」
- ・バーコード：「10. バーコード」

[セル名]は、そのセルの名前です。セルはそれぞれ一意の名前を持っており、この名前は自由に変更することができます。ただし、セル名はその表オブジェクト内で一意のものでなくてはなりません。

セルは設定内容に応じて表示が変わります。

図：セルの表示

商品コード	商品名	金額	商品イメージ
XXXXX	XXXXX	XXXXX	IMAGE
BARCODE			IMAGE
XXXXX	XXXXX	XXXXX	IMAGE
BARCODE			IMAGE
XXXXX	XXXXX	XXXXX	IMAGE
BARCODE			IMAGE
	SUM	AVG	CNT
			CAL

マッピングデータ

“XXXX” と表示されます。

集計値

“SUM” “AVG” “CNT” のいずれかが表示されます。

計算値

“CAL” と表示されます。

連番

“AUTO” と表示されます。

固定テキスト

設定された文字列が表示されます。

イメージ

黄色い領域で表示されます。

バーコード

バーコードイメージが表示されます。

その表オブジェクトが保持しているセルの一覧はプロパティダイアログの「セル」タブで確認することができます。プロパティダイアログを表示するには、プロパティボタンを選択してダブルクリックします。

図：セル一覧

セル名	形式	フォント	値
商品コード	テキスト	MS ゴシック	データ
商品名	テキスト	MS ゴシック	データ
金額	テキスト	MS ゴシック	データ

[領域] からセル一覧を確認したいブロックを選択すると、リストにそのブロックのセル一覧が表示されます。リスト上でセルを選択して [編集] ボタンをクリックすると「セルの設定」ダイアログが表示されて内容を変更することができます。

定義可能なセルの数には上限があります。1つのFormファイルに対して定義可能な変数オブジェクト数は999個です。表オブジェクトは内部にいくつかの変数オブジェクトを保持しています。当然、999個の制限を超える場合は表オブジェクトを定義することはできません。1つの表オブジェクトが保持する変数オブジェクト数は表の定義（ブロック数、セル数等）によって増減します。その時点でフォームに定義されている変数オブジェクト数は、Formエディタのステータスバーの右端の表示で確認することができます。

図：変数オブジェクト数

倍率:幅	オブジェクト数:固定[0]	変数[17]
------	---------------	--------

4-4. 列

1つの表オブジェクトに含まれる全ての行はブロックの種類に関係なく同一数のセルを保持します。つまり、表オブジェクト全体で見ればセルが格子状に並んでいることになります。

図：セルは格子状に並ぶ

社員番号	名前	所属
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX

セルを横方向にまとめた単位が「行」となりますが、同様に全てのブロックのセルを縦方向にまとめた単位を「列」として扱います。一つの表オブジェクトには50列まで定義することが可能です。

図：列

社員番号	名前	所属
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX

列に対する追加や削除といった操作は特定のブロックだけでなく、その表オブジェクトの全てのブロックに影響を与えることになります。

列を追加するには、列を追加したい部分のセルを選択状態にして右クリックします。表示されたコンテキストメニューから「列を挿入」を選択すると「列挿入」ダイアログが表示されます。

図：列挿入ダイアログ

列挿入 ×

追加先: 左に 右に

項目名:

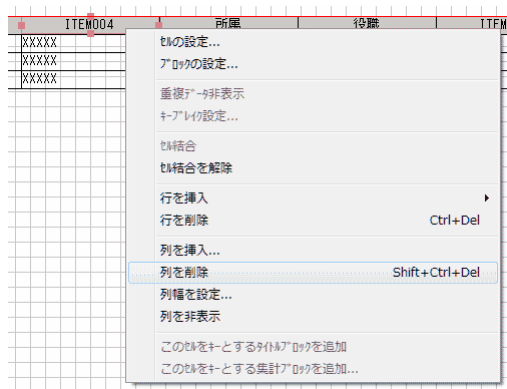
[追加先]から列を追加したい場所を選択します。[左に]を選択すると、選択しているセルの列の左側に新しい列が追加され、[右に]を選択すると、選択しているセルの列の右側に新しい列が追加されます。[項目名]に入力されたテキストが新たに追加される列のラベルに表示されます。新しく追加された列の書式や罫線情報は、列の隣にある列の設定が使用されます。列が追加されるとその表の全てのブロックに1列分のセルが追加されます。

図：列を追加

社員番号	名前	ITEM004	所属
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

逆に列を削除するには、削除したい列のいずれかのセルを選択状態にして右クリックします。表示されたコンテキストメニューから [列を削除] を選択します。

図：コンテキストメニュー

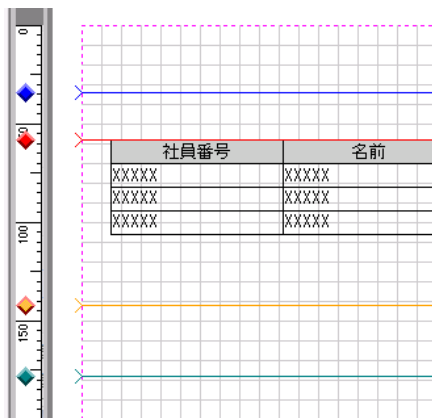


[列を非表示]については、「35. 非表示」をご覧ください。

4-5. ガイド線

表オブジェクトの出力範囲や改ページのタイミングを決めるためにはガイド線を使用します。ガイド線はFormエディタ上に表示される以下の4色の横線で、表オブジェクトが存在するときだけ画面上に表示されます。

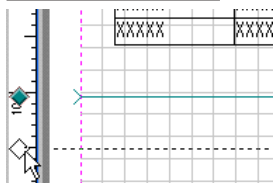
図：ガイド線



- ・ 1 ページ目の開始位置 (赤)
- ・ 2 ページ目以降の開始位置 (青)
- ・ 最終ページ フッタ位置 (黄)
- ・ 終端位置 (緑)

これらの線は、表の出力位置を制御するための補助線なので、実際の帳票上にこれらのガイド線が出力されることはありません。それぞれのガイド線は画面左側のルーラー上にあるひし形つまみ (アンカー) を上下にドラッグすることで移動できます。

図：ガイド線アンカー



また、メニューの [ファイル]-[フォーム設定] から表示される [フォーム設定] ダイアログで「表オブジェクト」タブの [ガイド線] の各項目の設定値を変更することでガイド線の位置を指定することができます。

図：フォーム設定ダイアログ

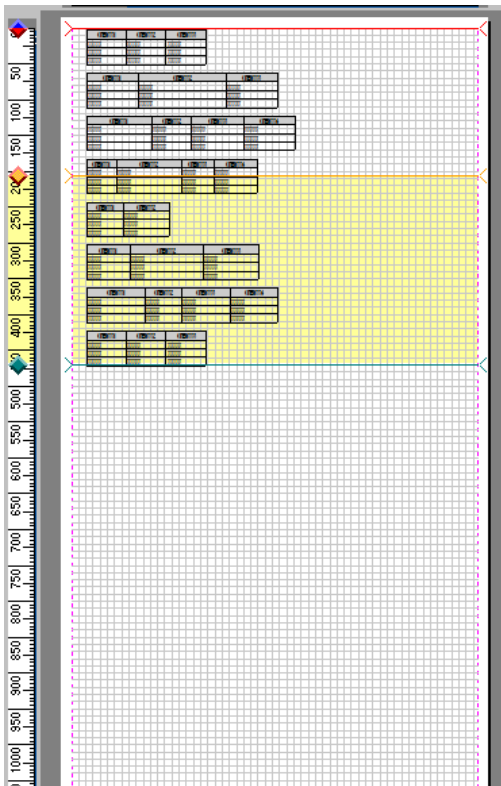
ガイド線を使用した表の出力位置の制御については「14. 改ページ」をご覧ください。

Formエディタ上での表オブジェクトは、必ず1ページ目の開始位置ガイド線と終端位置ガイド線の間（表オブジェクト領域）に収まるように表示されます。通常、表オブジェクトを1つだけしか使用しない帳票では特に問題はないのですが、複数の表オブジェクトを扱う帳票の場合、この領域に入りきれないケースが出てきます。そのようなときに、擬似的に表オブジェクト領域を拡張して表示する機能を「表伸張モード」といいます。

図：表伸張モード

擬似的に拡張している部分は背景色が薄い黄色で示される領域です。

図：フォーム全体が伸張表示される



フォーム全体を表示してみると黄色い領域の分だけフォームが縦に伸びているのが分かります。しかし、これはあくまでも擬似的に伸ばして表示しているだけなので実際に出力される帳票の用紙サイズが伸びているわけではありません。また、この黄色い拡張部分には表以外のオブジェクトを配置することはできません。

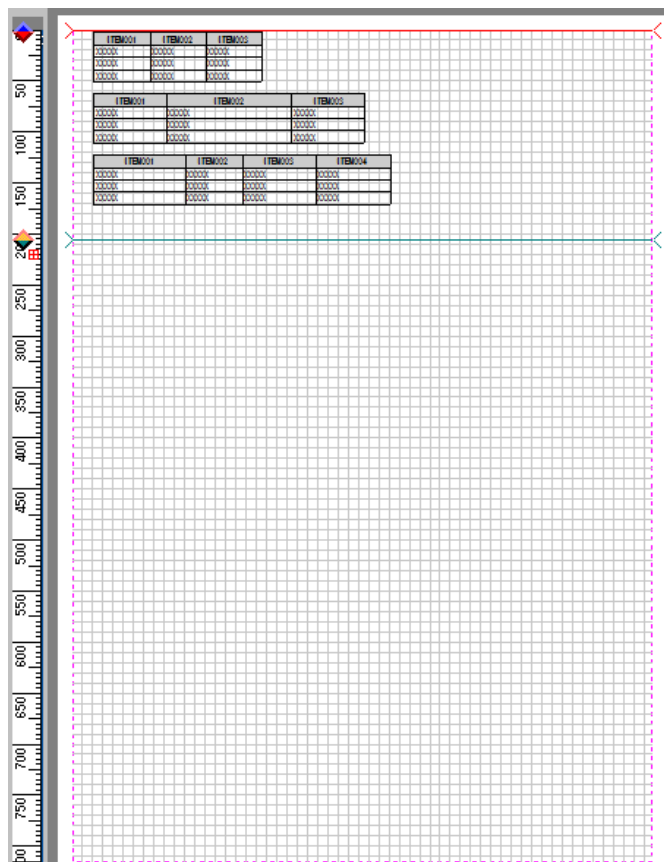
表伸張モードは初期状態では有効になっていますが、この機能を無効にすることもできます。表伸張モードの有効・無効の切り替えはFormエディタのツールバーにある「表伸張モード」アイコンをクリックすることで行います。

図：ツールバー



表伸張モードを無効にすると、用紙上で表が出力される領域に収まりきらない表オブジェクトは画面上に表示されなくなります。ただしこれは画面の表示上で隠れているだけなので、実際の帳票上には全ての表オブジェクトが出力されます。

図：表伸張モードを解除



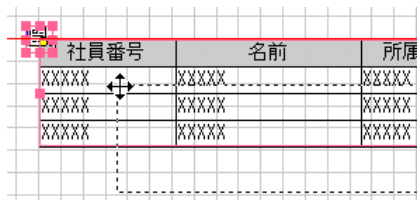
表示されていない部分を表示させたい場合は、表伸張モードを有効にしてください。

5. 移動・サイズ変更

5-1. 表オブジェクトを移動する

表オブジェクトが選択状態になっているときにプロパティボタンをドラッグ&ドロップすると、表オブジェクトを移動することができます。

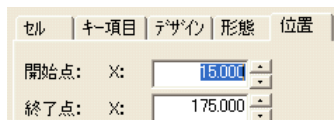
図：移動



ただし上下に移動できるのは1番上の表オブジェクトを選択しているときのみです。2番目以降の表オブジェクトは上下に移動することはできません。そのかわり、表オブジェクト同士の間隔は行数単位で指定することができます。詳しくは「27. 複合表」をご参照ください。

また、プロパティダイアログの「位置」タブではオブジェクトの座標を直接入力して移動することができます。

図：プロパティダイアログ



5-2. 表オブジェクトのサイズを変更する

表オブジェクトを選択した状態で、マウスマウスカーソルを左右のアンカーに合わせるとサイズ変更用のつまみが表示されます。このつまみをドラッグすると表オブジェクトのサイズを変更することができます。全体のサイズが変更されると、それに合わせて表の各セルのサイズもそれぞれ均等に変更されます。

図：サイズ変更



また、プロパティダイアログの「位置」タブではオブジェクトの座標を直接入力して表全体のサイズを変更することができます。

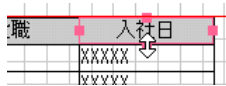
図：プロパティダイアログ

セル	キー項目	デザイン	形態	位置
開始点:	X:	<input type="text" value="15.000"/>		
終了点:	X:	<input type="text" value="175.000"/>		

5-3. セルのサイズを変更する

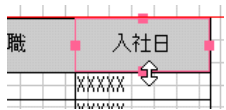
セルが選択状態のとき、選択矩形の上下左右の各辺にサイズ変更用のつまみが表示されます。このつまみをドラッグするとセルのサイズを変更することができます。

図：選択状態



セルを縦にサイズ変更するとその行全体のサイズを変更することができます。

図：セルを縦に伸ばす



セルを縦に伸ばす場合には、そのセルが属しているブロックの高さが10行分を超えるようなサイズ変更を行うことはできませんのでご注意ください。

図：セルを縦に伸ばすときの制限



ドラッグにより行の高さを変更した場合、その行に属するセルは、設定した行数分だけのセルが縦に結合した状態になります。よって、セル結合を解除すると1行分の高さのセルに分割されます。

セルを横にサイズ変更するとその列全体のサイズを変更することができます。

図：横にサイズ変更

所属	役職	入社年月日
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX

このとき、[Shift] キーを押さずにサイズ変更した場合は、選択セルの列のみがサイズ変更されます。[Shift] キーを押しながらサイズ変更した場合は、選択セルのサイズ変更に合わせて隣の列のセル幅が変更されます。

図：Shift を押さずにサイズ変更した場合

所属	役職	入社年月日
XXXXX	XXXXX	XXX
XXXXX	XXXXX	XXX
XXXXX	XXXXX	XXX

図：Shift を押しながらサイズ変更した場合

所属	役職	入社年月日
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX

また、セルを選択した状態で右クリックし、コンテキストメニューから「列幅を設定」を選択すると「列幅設定」ダイアログが表示されます。

図：列幅設定ダイアログ

列幅設定 ×

列幅: ↑ ↓

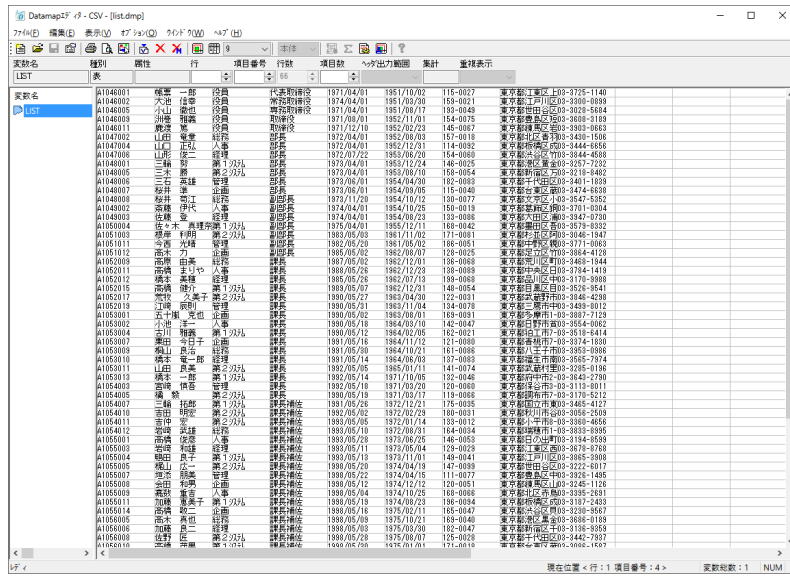
この画面上で列幅を数値で入力して変更することもできます。

6. データのマッピング

6-1. CSV データマップ

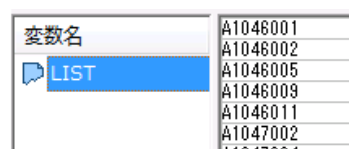
CSVのデータを表オブジェクトにマッピングするには CSV 用の Datamap エディタを使用します。

図：CSV Datamap エディタ



表オブジェクトを定義した Form ファイルを読み込むと変数名リストに表オブジェクト名が表示されるので、これをクリックして選択状態にします。

図：選択状態



マッピングウィンドウに表示されている CSV データの、表のデータとして使用したい部分の最初の 1 行をドラッグして選択します。

図：マッピング領域をドラッグ



ポインタが "OK?" 表示になるのでクリックすると、その行以降の領域が全てマッピングされます。

図：マッピング確定

変数名(N)	種別(T)	属性(Z)	行(L)	項目番号(D)	行款(P)	項目数(N)	ヘッダ出力範囲(H)	集計(S)	重複表示(R)
LIST	表		1	1	66	9			
変数名	A1046001	横森 一郎	役員	代表取締役	1871/04/01	1871/04/01	115-0027		
	A1046002	大池 隆幸	役員	常務取締役	1874/04/01	1871/03/30	159-0021		
	A1046005	小山 隆也	役員	専務取締役	1871/04/01	1871/08/17	193-0049		
	A1046009	洲巻 雅彦	役員	取締役	1871/09/01	1962/11/01	154-0075		
	A1046011	藤達 隆	役員	取締役	1871/12/10	1952/02/23	145-0067		
	A1047002	山田 竜彦	総務	部長	1872/04/01	1952/08/03	157-0018		
	A1047004	山口 正弘	人事	部長	1872/04/01	1962/12/31	114-0092		
	A1047005	山形 隆二	経理	部長	1872/07/22	1953/06/20	154-0060		
	A1048001	三橋 崇	第1分社	部長	1873/04/01	1953/12/24	146-0025		
	A1048005	三木 勝	第2分社	部長	1873/04/01	1953/08/10	158-0054		

「選択した行以降」という形式でマッピング範囲を指定するので、ファイルの先頭に何行かのヘッダ部分が存在しているようなファイルでも問題なく扱うことができます。

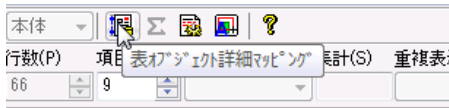
図：ヘッダ付きのCSVに対してマッピング

変数名(N)	種別(T)	属性(Z)	行(L)	項目番号(D)	行款(P)	項目数(N)	ヘッダ出力範囲(H)	集計(S)	重複表示(R)
LIST	表		6	1	66	9			
変数名	帳票商事株式会社								
	115-0027								
	東京都江東区								
	93-3725-1140								
	ID	氏名	別称	役職	入社年月日	生年月日	郵便番号	住所	電話番号
	A1046001	横森 一郎	役員	代表取締役	1871/04/01	1871/04/01	115-0027	東京都江東区上03-3725-1140	
	A1046002	大池 隆幸	役員	常務取締役	1874/04/01	1871/03/30	159-0021	東京都江川区03-3500-0899	
	A1046005	小山 隆也	役員	専務取締役	1871/04/01	1871/08/17	193-0049	東京都世田谷区03-3028-5684	
	A1046009	洲巻 雅彦	役員	取締役	1871/09/01	1962/11/01	154-0075	東京都豊島区03-3608-3189	
	A1046011	藤達 隆	役員	取締役	1871/12/10	1952/02/23	145-0067	東京都練馬区03-3608-0663	
	A1047002	山田 竜彦	総務	部長	1872/04/01	1952/08/03	157-0018	東京都北区03-3430-1508	
	A1047004	山口 正弘	人事	部長	1872/04/01	1962/12/31	114-0092	東京都板橋区03-3444-6656	
	A1047005	山形 隆二	経理	部長	1872/07/22	1953/06/20	154-0060	東京都台東区03-3844-4588	
	A1048001	三橋 崇	第1分社	部長	1873/04/01	1953/12/24	146-0025	東京都渋谷区03-3257-7292	
	A1048005	三木 勝	第2分社	部長	1873/04/01	1953/08/10	158-0054	東京都新宿区03-3218-8482	
	A1048006	三石 竜雄	管理	部長	1873/06/01	1954/04/30	182-0083	東京都千代田区03-3401-1838	
	A1049007	張辻 孝	総務	部長	1873/09/01	1954/09/05	115-0042	東京都台東区03-3474-8638	

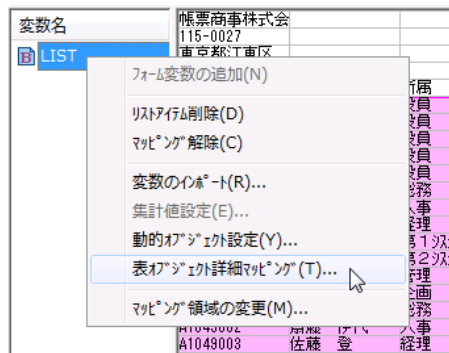
表オブジェクトのセルがCSVのどの位置にマッピングされているかを確認するためには「表オブジェクト詳細マッピング」ダイアログを表示させます。「表オブジェクト詳細マッピング」ダイアログを表示させるためには変数名リストの表オブジェクト名を選択した状態で、以下のいずれかの操作を行います。

- ・メニューの [編集]-[表オブジェクト詳細マッピング] を選択
- ・ツールバーの [表オブジェクト詳細マッピング] アイコンをクリック
- ・変数名リストの表オブジェクト名を右クリックして [表オブジェクト詳細マッピング]

図：ツールバー



図：コンテキストメニュー



図：表オブジェクト詳細マッピングダイアログ



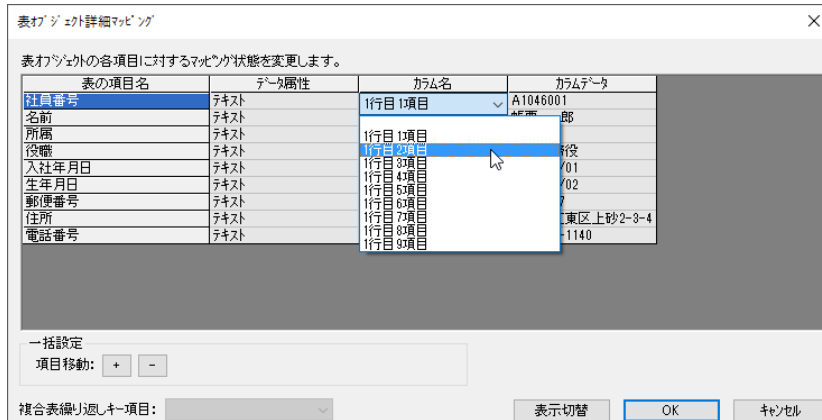
[表の項目名] には表オブジェクトの各セル名が表示されます。また、それぞれのセルに対するマッピング情報は [カラム名] に表示されます。

図：マッピング

表の項目名	データ属性	カラム名	カラムデータ
社員番号	テキスト	1行目 1項目	A1046001
名前	テキスト	1行目 2項目	帳票 一郎
所属	テキスト	1行目 3項目	役員

[カラム名] の初期状態は、マッピングウィンドウでマッピングした領域の先頭から順に割り当てられます。[カラム名] 欄をクリックすると選択候補がリスト表示され、マッピングした範囲内で入れ替えたり変更することができます。

図：カラム名選択



[カラム名] が指定されると [カラムデータ] にサンプルデータが表示されます。

図：カラムデータ表示

表の項目名	データ属性	カラム名	カラムデータ
社員番号	テキスト	1行目 2項目	帳票 一郎
名前	テキスト	1行目 2項目	帳票 一郎
所属	テキスト	1行目 3項目	役員

[OK] ボタンをクリックすると変更が確定されます。

<< 注意 >>

1つのセルにマッピング可能なテキストデータの長さは10240バイトまでです。

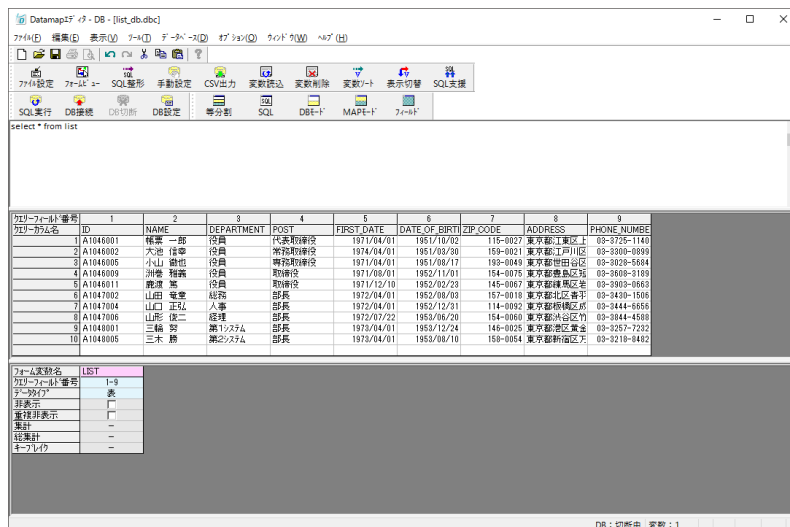
<< 注意 >>

[データマップ設定] で指定できる [マッピング領域] の [行数] は、表オブジェクトの出力行数とは関係がありません。表オブジェクトの出力制御は、Formエディタで設定できる表オブジェクトの行間隔とガイド線の位置によって決まります。「14. 改ページ」で詳しく解説しているのでそちらをご覧ください。

6-2. DB データマップ

DBのデータを表オブジェクトにマッピングするにはDB用のDatamapエディタを使用します。

図：DB Datamap エディタ



表オブジェクトを定義したFormファイルを読み込むとフィールドビューの変数名リストに表オブジェクト名が表示されます。

図：表オブジェクトが表示される

フォーム変数名	LIST
フィールド番号	設定なし
フィールド名	表
非表示	<input type="checkbox"/>
重複非表示	<input type="checkbox"/>
集計	-
総集計	-
キーブレイク	-

表オブジェクトにマッピング操作を行うためには、以下のいずれかの操作を行います。

- ・ リクエストビューのカラムからフィールドビューの表オブジェクトにドラッグ & ドロップする
- ・ フィールドビューの表オブジェクトの [フォーム変数名] をクリックする

以下のような表オブジェクトマッピングダイアログが表示されるので、ここでマッピングを定義します。

図：表オブジェクトマッピングダイアログ

[クエリフィールド番号] を選択し、マッピング範囲を指定します。

図：マッピング範囲を指定

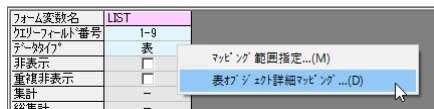
[OK] ボタンをクリックするとマッピングが完了します。

図：マッピング完了

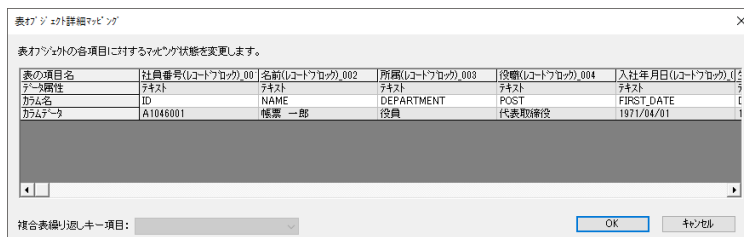
フォーム変数名	LIST
クエリフィールド番号	1-9
テーブル名	表
非表示	<input type="checkbox"/>
重複非表示	<input type="checkbox"/>
集計	-
総集計	-
キーレイク	-

表オブジェクトのどのセルとデータベースのどのカラムがマッピングされているかを確認するためには「表オブジェクト詳細マッピング」ダイアログを表示させます。「表オブジェクト詳細マッピング」ダイアログを表示させるためには、フィールドビューの表オブジェクト名を右クリックして表示されるコンテキストメニューから「表オブジェクト詳細マッピング」を選択します。

図：コンテキストメニュー



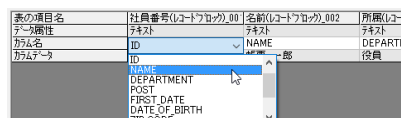
図：表オブジェクト詳細マッピングダイアログ



「表の項目名」には表オブジェクトの各セル名が表示されます。また、それぞれのセルに対するマッピング情報は「カラム名」に表示されます。

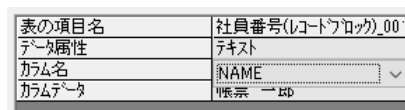
「カラム名」の初期状態は、表オブジェクトマッピングダイアログで設定したクエリフィールドの先頭から順に割り当てられます。「カラム名」欄をクリックすると選択候補がリスト表示され、表オブジェクトマッピングダイアログで設定した範囲内で入れ替えたり変更することができます。

図：カラム名選択



「カラム名」が指定されると「カラムデータ」にサンプルデータが表示されます。

図：カラムデータ表示



[OK] ボタンをクリックすると変更が確定されます。

<< 注意 >>

[ファイル設定]で指定できる[ページ行数]は、表オブジェクトの出力行数とは関係がありません。表オブジェクトの出力制御は、Formエディタで設定できる表オブジェクトの行間隔とガイド線の位置によって決まります。「14. 改ページ」で詳しく解説しているのでそちらをご覧ください。

6-3. ffc ファイルの共有制限

表オブジェクト固有の帳票資源ファイルとして、Formファイル作成時、作業フォルダの「form」フォルダに拡張子が「.ffc」のファイルが生成されます。これは表オブジェクトに関する情報が格納される資源ファイルです。表オブジェクトがそのFormファイル上に定義されていなければ、ffcファイルは生成されません。

このファイルはランタイムによる帳票出力に必要な資源ファイルとなるので、他の資源ファイルと同様、サーバ上の実行環境に転送する必要があります。転送モードは「ASCIIモード」で転送してください。資源ファイルの転送についての詳細はマネージャのメニュー[ヘルプ]-[オンラインマニュアル]から「3. 機能リファレンス」-「3.9 ユーティリティ」-「資源ファイルのアップロード」をご覧ください。

ffcファイルには、表オブジェクトの設定とマッピングの設定の情報が保存されています。FormファイルとDatamapファイルはffcファイルにより一意に関連付けられます。そのため、1つの表オブジェクトに対して複数のDatamapファイルを利用することはできません。

例えば、表オブジェクトを定義したFormファイルを使用してCSVのDatamapファイルを作成後、同じFormファイルを使用してDBのDatamapファイルを作成した場合、ffcファイルにはDBのDatamapファイルのマッピング情報が保存されています。CSVのDatamapファイルは利用することができませんのでご注意ください。

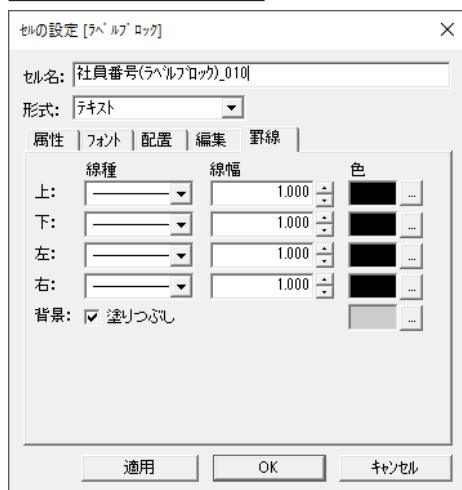
7. 罫線・背景色の設定

罫線や背景色はセル単位で変更することができます。例えば、合計金額の欄だけ太枠にして強調させる、といったことが可能です。罫線や背景色を変更するには、以下のいずれかの操作を行い「セルの設定」ダイアログを表示させます。

- ・セルをダブルクリック
- ・セルを選択して右クリックし、コンテキストメニューから「セルの設定」を選択

「罫線」タブをクリックし「罫線」の設定画面を表示させます。

図：セルの設定ダイアログ



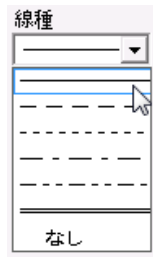
この画面ではそのセルの上下左右の各罫線の「罫線」、「罫幅」、「色」と、セルの「背景色」を設定することができます。

7-1. 罫線種

罫線の種類を指定するには「罫線種」のリストから罫線種を選択します。指定できる罫線種は以下の7種類です。

- ・実線
- ・破線
- ・点線
- ・一点鎖線
- ・二点鎖線
- ・二重線
- ・なし

図：線種変更



[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも線種が反映されます。

図：線種が反映される

社員番号	
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX

「二重線」を指定する場合、1pt 程度の線幅だと細すぎて二重線と判別できない可能性があります。二重線の場合は若干 [線幅] の値を大きめにとることをお勧めします。ちなみに 3pt を指定するとちょうど 1pt の線が 2 本描画されます。具体的には、以下のように線幅で指定された値を 3 等分しています。

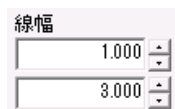
図：二重線



7-2. 線幅

線の幅を指定するには [線幅] の値を変更します。

図：線幅変更



[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも線幅が反映されます。

図：線幅が反映される

社員番号	
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX

7-3. 線の色

線の色を指定するには [色] のボタンをクリックして色を選択します。

図：線の色変更



[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも線の色が反映されます。

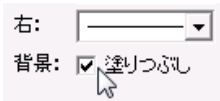
図：線の色が反映される

社員番号	
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX

7-4. 背景色

背景色を指定するには、まず [塗りつぶし] のチェックボックスにチェックを入れます。

図：塗りつぶしをチェック



右側の色選択ボタンが有効になるので、そこから背景色を選択します。

図：背景色選択



[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも背景色が反映されます。

図：背景色が反映される

社員番号	
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX

7-5. 罫線の描画優先順位

ブロック間で重なり合った部分の罫線は、そのまま重なり合って描画されるわけではなくどちらか一方だけが描画されます。例えば、レコードブロックと集計ブロックが接している部分では、レコードブロックの罫線は描画されず集計ブロックの罫線が描画されます。

図：集計ブロックの罫線が描画される

10個 (5個)	15	1200	18000
10個 (10個)	10	500	5000
10個 (合わせ)	2	7500	15000
10個 (中種)	2	6000	12000
	50	120	6000
		日付別集計	397800
10個 (8個)	10	630	6300

このように各ブロックにはそれぞれ優先順位が存在しており、それによって適切な罫線が選択されて描画されます。具体的には、以下のような優先順位で描画が行われます。

1. ラベルブロック
2. ラベルブロックの上のタイトルブロック (キータイトル)
3. ラベルブロックの上のタイトルブロック (表のタイトル)
4. 集計ブロック (総集計)
5. 集計ブロック (キー集計)
6. ラベルブロックの下のタイトルブロック (キータイトル)
7. レコードブロック

図：ブロックの種類

XXXXX										: ラベルブロックの上のタイトルブロック (表のタイトル)
XXXXX										: ラベルブロックの上のタイトルブロック (キータイトル)
ITEM001	ITEM002	ITEM003	ITEM004	ITEM005						: ラベルブロック
XXXXX										: ラベルブロックの下のタイトルブロック (キータイトル)
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX						: レコードブロック
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX						: レコードブロック
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX						: レコードブロック
					キー集計	SUM				: 集計ブロック (キー集計)
					総集計	SUM				: 集計ブロック (総集計)

また、レコードブロック同士の境界線では、より下にあるレコードブロックの上罫線が描画されます。

図：レコードブロックの罫線

	線種	線幅
上:	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value="1.000"/>
下:	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value="2.000"/>

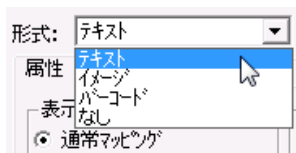
3-7-6	03-3360-4656
1-6-23	03-3833-8995
町平山733	03-3194-8599
西砂3-15-46	03-3678-8768
区杉本9-8-85	03-3865-3908

8. テキスト

8-1. セルにテキストデータを出力する

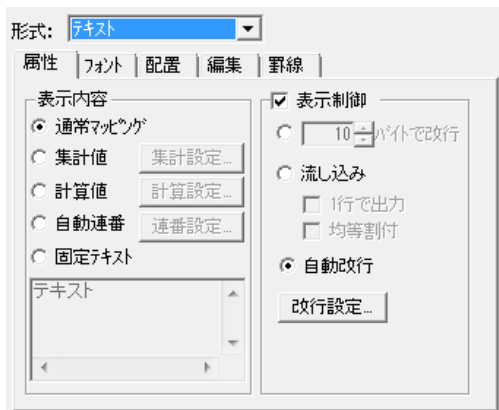
セルにテキストデータを出力するには「セルの設定」ダイアログで [形式] を [テキスト] にします。

図：形式をテキストにする



「属性」タブの内容が以下のようなテキスト設定用の内容に変わります。

図：属性



[表示内容] では、そのセルにどのようなデータを出力するかを指定します。[集計値] や [計算値]、[自動連番] についてはそれぞれ以下の項目をご参照ください。

- ・集計値 : 「20. 集計」
- ・計算値 : 「21. 計算」
- ・自動連番 : 「22. 自動連番」

[表示制御] ではセルの領域から溢れるテキストデータをどのように出力するのか定義します。

8-2. マッピングデータを表示する

セルに入力データをマッピングして出力する場合は、[表示内容] を [通常マッピング] にします。本設定では、ブロックによって出力する内容が変わります。通常マッピングに設定したセルには、Form エディタ上で「XXXXX」と表示されます。

8-3. 流し込み

「流し込み」はテキスト変数の「流し込み」と同等の機能です。テキストデータの長さにあわせて、データがセルの中に収まるようにフォントサイズや改行を調整します。

図：流し込み

高原 由美
高橋 まりや
橋本 美穂
高橋 健介
荒牧 久美子
江崎 辰則
五十嵐 克也

流し込み機能を有効にするためには、[表示制御]のチェックボックスにチェックを入れ、[流し込み]を選択します。

図：流し込みを指定

この設定を解除したい場合は[表示制御]のチェックを外します。

図：表示制御解除

流し込みが指定されていないセルでは、セルの幅を超えるような長さのテキストデータを出力する場合、そのままセルをはみ出して出力されます。

図：セルをはみ出る

高原 由美
高橋 まりや
橋本 美穂
高橋 健介
荒牧 久美子
江崎 辰則
五十嵐 克也

[行間隔固定]や[1行で出力]、[均等割付]といった機能はテキスト変数のものと同じです。詳しくはマネージャのメニュー[ヘルプ]-[オンラインマニュアル]から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「固定テキスト/テキスト変数」をご覧ください。

<< 注意 >>

流し込み機能を有効にすると、テキストデータの末尾の半角スペース（連続入力したものも含みます）は削除されて出力されます。

8-4. バイト数による自動改行

「流し込み」の場合は、セルのサイズは固定で、その中にテキストデータを押し込むかたちで出力しますが、逆にフォントサイズは変更せずに、テキストデータの長さにあわせてセルのサイズの方を変更するという機能が「バイト数による自動改行」機能です。

図：バイト数による自動改行

164,000		
796,000	2004年4月1日から2006年	データを途中で折り返す
	12月31までの価格	
249,000		セルを自動的に伸ばす
598,000	なし	
368,000		

バイト数による自動改行機能を有効にするためには、[表示制御]のチェックボックスにチェックを入れ、[～バイトで改行]を選択します。「～バイト」の部分の入力エリアに改行させたいバイト数を入力します。

<< 注意 >>

文字数ではなくバイト数での指定なので注意してください。

図：バイト数による自動改行を設定

表示制御

バイトで改行

バイト数による自動改行を指定するとデータの長さによってセルのサイズも動的に大きくなります。

また、「1バイトで改行」と指定した場合、ひらがなや漢字のような2バイトの文字は出力されません。「abc あいう xyz」というデータは「a」「b」「c」と3行出力されますが、残りの「あいう xyz」は出力されません。同様に「あいう abc」であれば空欄で出力されますので注意してください。

8-5. 自動改行

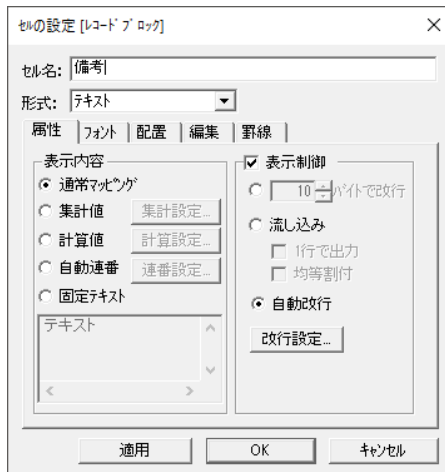
「自動改行」は、テキストデータがセルに収まらない場合、領域幅に合わせて自動的に改行を挿入し、折り返し出力する機能です。その際、「流し込み」機能とは異なり、フォントサイズは変更せずに、「行」が追加されます。

図：自動改行

368,000
164,000
796,000
2004年4月1日から2006年12月31までの価格
249,000
598,000

自動改行を設定するためには、[表示制御]のチェックボックスにチェックを入れ、[自動改行]を選択します。テキストのセルは初期状態で自動改行の指定がされています。

図：自動改行を設定



[自動改行]機能を使用する場合、以下の制限があります。

- ・ [自動改行]が設定できるのは、[表示内容]が[通常マッピング]の場合のみです。
- ・ ラベルブロックのセルには[自動改行]を設定できません。
- ・ 縦方向に結合されたセルを[自動改行]に設定した場合、[配置]タブ内の[位置あわせ][縦]は「上」に固定されます。縦方向の出力位置を変更したい場合は[補正值]で調整してください。

8-6. 改行設定

[表示制御]が[流し込み]または[自動改行]に設定されている場合、テキスト変数と同様に改行位置に関する詳細な設定ができます。

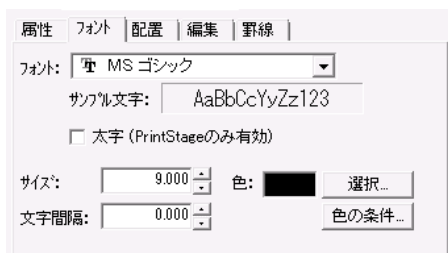
改行設定するためには、[表示制御]内の[改行設定]ボタンをクリックし、[改行設定]ダイアログを起動してください。

設定の詳細は、マネージャのメニュー[ヘルプ]-[オンラインマニュアル]から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「固定テキスト/テキスト変数」-「9. 改行設定」をご覧ください。

8-7. フォント

フォントの指定は、「フォント」タブで行います。

図：フォント



フォントの設定はテキスト変数オブジェクトなどと同じです。[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも設定したフォントが反映されます。

図：フォントが反映される

ID	氏名	所属		
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX		XX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX		XX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX		XX

8-8. 配置

「配置」タブでテキストの縦横の配置を指定することができます。配置の設定はテキスト変数その他のものと同じです。初期状態では「左寄せ・真中」の設定がされています。

図：配置



[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも設定が反映されます。

図：設定が反映される

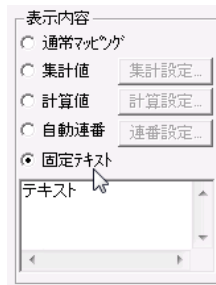
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX

[補正值]については「11. 補正值」をご参照ください。

8-9. 固定のテキストを表示する

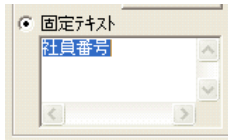
セルに固定のテキストを表示させるには、「属性」タブの[表示内容]を[固定テキスト]にします。

図：固定テキストを選択



テキストが入力できるようになるので、表示させたいテキストを入力します。

図：テキスト入力



[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも表示が反映され、入力したテキストが表示されます。

図：テキストが表示される

社員番号	
XXXXX	X?
XXXXX	X?

固定テキストの場合も[流し込み]の設定が有効になりますが、Formエディタ上での表示には反映されません。もちろん実際に出力される帳票上には設定が反映されます。また、自動改行機能は固定テキストには使用できません。

<< 注意 >>

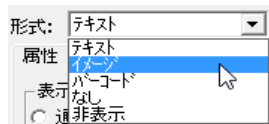
1つのセルに表示可能な固定テキストの長さは10240バイトまでです。

9. イメージ

9-1. セルにイメージデータを出力する

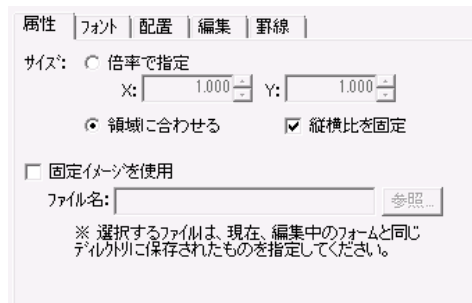
セルにイメージデータを出力するには、「セルの設定」ダイアログで [形式] を [イメージ] にします。

図：形式



「属性」タブの内容が以下のようなイメージ設定用の内容に変わります。

図：属性







[OK] ボタンをクリックすると画面上のセルがイメージ用の表示に変わります。

図：セルの表示が変わる



Datamap エディタでも、テキストデータのセルと同じようにマッピングを行います。イメージのセルに対してマッピングするデータは、イメージ変数と同様にファイル名を文字列で指定します。パスの指定は、実行時の相対パスか絶対パスでの指定となります。

図：イメージを出力した帳票

ライトプラン 59,000円～84,000円	
サービスプラン 98,000円～132,000円	
スペシャルプラン 143,000円～189,000円	
フリープラン 154,000円～198,000円	

9-2. サイズ指定

イメージのサイズ指定には2種類の方法があります。

[倍率で指定]を選択するとイメージの元のサイズに指定した倍率を適用してサイズ調整します。

図：サイズ指定画面

属性 | フォント | 配置 | 編集 | 罫線

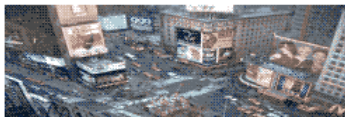
サイズ: 倍率で指定

X: Y:

領域に合わせる 縦横比を固定

図：倍率で指定 (2.000 : 1.000) した場合

イン
～224,000円



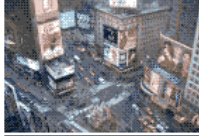
プラン
～97,000円



[領域に合わせる]を選択すると、セルのサイズに合わせてイメージを拡大・縮小します。[縦横比を固定]のチェックを入れておくと縦と横のサイズが小さい方に合わせて調整されます。

図：領域に合わせた場合

プラン
0円～224,000円



ヤルプラン
円～97,000円



9-3. 位置合わせ

「配置」タブにある [位置合わせ] で画像のセル内での配置を指定できます。

図：配置

属性	フォント	配置	編集	罫線
位置合わせ:		<input type="text" value="居"/>		
補正値:	上	<input type="text" value="1.000"/>	下	<input type="text" value="1.000"/>
	左	<input type="text" value="1.000"/>	右	<input type="text" value="1.000"/>

イメージ変数や固定イメージで [表示位置] として指定する内容と同じです。

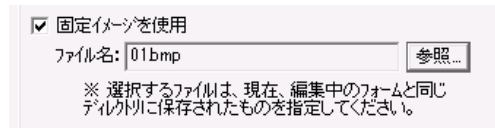
図：配置が出力に反映される



9-4. 固定のイメージを表示する

「属性」タブの「固定イメージを使用」をチェックすると画面上でファイル名が指定できるようになり、固定イメージとして使用するようになります。

図：固定イメージを使用



The screenshot shows a settings panel with the following elements:

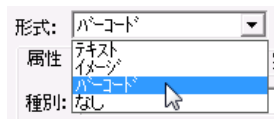
- A checked checkbox labeled "固定イメージを使用" (Use Fixed Image).
- A text input field labeled "ファイル名:" (File Name) containing the text "01bmp".
- A button labeled "参照..." (Reference...) next to the input field.
- A note below the input field: "※ 選択するファイルは、現在、編集中のフォームと同じファイル外りに保存されたものを指定してください。" (Please specify a file saved outside the current form being edited).

ただし、通常の固定イメージオブジェクトとは異なり、Form エディタの画面上には画像イメージは表示されません。

10. バーコード

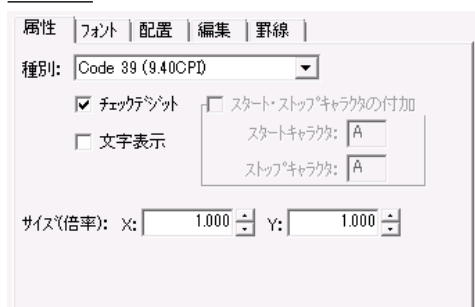
セルにバーコードを出力するには「セルの設定」ダイアログで [形式] を [バーコード] にします。

図：形式



「属性」タブの内容が以下のようなバーコード設定用の内容に変わります。

図：属性



[OK] ボタンをクリックすると画面上のセルがバーコード用の表示に変わります。

図：セルの表示



バーコードの設定はバーコード変数や固定バーコードと同じです。

図：バーコードが出力される



<< 注意 >>

固定のバーコードを表オブジェクト上には出力することはできません。

11. 補正值

補正值とは、セルの外枠に対して実際にデータを出力する位置をずらすための設定です。つまり、セルの外枠とデータとの間の余白です。

図：セルの補正值：左 (10pt)

←XXXXXX	XXXX
XXXXXX	XXXX

セルの外枠に対してそのままデータを出力すると、枠線とデータが重なり不自然な表になる可能性が高いため、表オブジェクトの初期状態では上下左右に 1pt ずつの補正值があらかじめ設定されています。

図：補正值が設定されていない場合

XXXXXX	
XXXXXX	
XXXXXX	

テキストの縦横の配置や流し込みなどは、全てこの補正值が適用された枠の中で機能します。

補正值の指定は「セルの設定」ダイアログの「配置」タブにある [補正值] で行います。

図：配置

補正值:	上	<input type="text" value="1.000"/>	下	<input type="text" value="1.000"/>
	左	<input type="text" value="1.000"/>	右	<input type="text" value="1.000"/>

補正值の設定は Form エディタの画面上での表示にも反映されます。

図：補正值の設定が反映される

XXXXXX	
XXXXXX	
XXXXXX	

また、この補正值にはマイナスの値も指定することができるため、表オブジェクトの外枠から飛び出すようなデザインの帳票を作成したい場合にも利用することができます。

図：飛び出させることも可能

XXXXXX	
XXXXXX	
XXXXXX	

12. セルの結合

12-1. 隣り合ったセルを結合する

セルは同一のブロック内でかつ隣り合えば、結合して一つのセルにすることができます。セルを結合するには、結合したいセルを全て選択状態にします。

図：選択状態

ITEM001	ITEM002	ITEM003	ITEM004	ITEM005
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

その状態で右クリックし、コンテキストメニューから [セル結合] を選択します。

図：セル結合を選択

ITEM001	ITEM002	ITEM003	ITEM004	ITEM005
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

選択されたセルが結合されます。

図：結合

ITEM001	ITEM002	ITEM003	ITEM004	ITEM005
XXXXXX			XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX			XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX			XXXXXX	XXXXXX

選択したセル群が全体で矩形になっていればそれらのセルはそのまま結合できます。

図：矩形結合

ITEM001	ITEM002	ITEM003	ITEM004	ITEM005
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

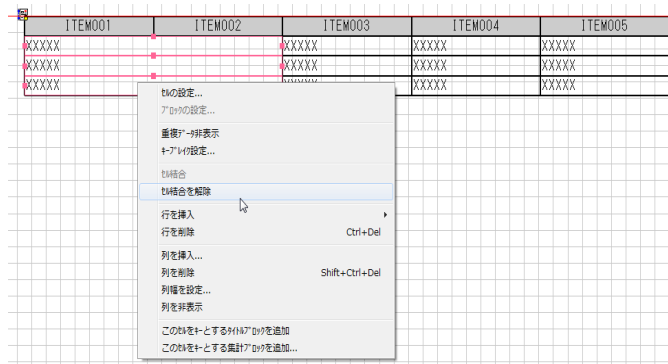
結合後のセルの罫線や書式等は、結合する前に一番左上にあったセルのものが使用されます。

選択したセルの中に既に結合されたセルが含まれる場合、さらに他のセルと結合することはできません。一度結合を解除してから再度対象となるセルを選択して結合してください。

12-2. セルの結合を解除する

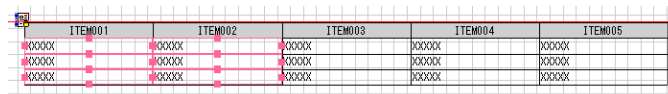
結合されたセルは再度分解することができます。結合セルを選択状態にして右クリックし、コンテキストメニューから [セル結合を解除] を選択します。

図：結合セルを選択し解除を選択



結合していたセルが分解されます。

図：分解

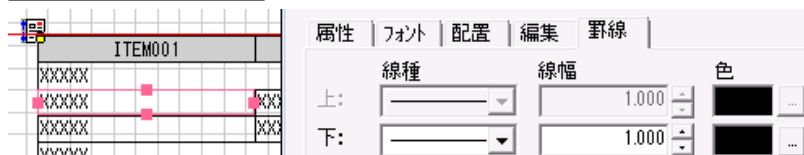


分解後の各セルの罫線や書式等は、結合されていたセルのものが全てのセルに適用されます。

12-3. 結合セルに対する罫線編集

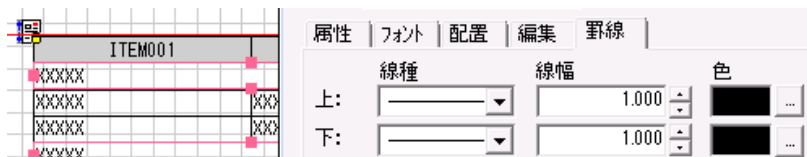
セルが結合されていると、隣接するセルの罫線編集が不可能になります。罫線の一部だけを変えることができないためです。

図：罫線編集できない状態



逆に結合セル側からの罫線編集は可能です。

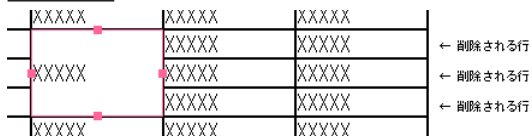
図：結合セルの罫線編集は可能



12-4. 結合セルに対する行と列の削除

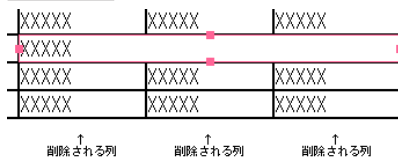
縦に結合されているセルに対して「行の削除」を実行した場合、そのセルが含まれるすべての行が削除対象となります。

図：行削除



同様に、横に結合されているセルに対して「列の削除」を実行した場合、そのセルが含まれるすべての列が削除対象となります。

図：列削除



13. ラベルブロック

13-1. ラベルブロックの概要

ラベルブロックは全てのページの先頭に必ず出力される特殊ブロックです。そのため、主に表の項目名（列名）を表示させるカラムヘッダとして用います。

図：ラベルブロック

社員番号	名前
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX

← ラベルブロック

13-2. ラベルブロックの追加・削除

ラベルブロックの有無は表オブジェクトの新規作成時に選択できます。

図：新規作成ダイアログ

表オブジェクト新規作成

変数名: TABLE000

記述: VTable

列数: 5

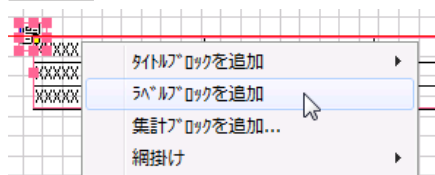
ラベルブロックを使用する

初期状態では [ラベルブロックを使用する] になっているので、そのまま表を作成すればラベルブロックがある表が作成されます。

ラベルブロックを削除する場合はラベルブロックの行を選択して、右クリックで表示されるコンテキストメニューから [行を削除] を実行してラベルブロックの全ての行を削除していきま

す。一度削除したラベルブロックを改めて表示させる場合は、プロパティボタンを右クリックして表示されるコンテキストメニューから [ラベルブロックを追加] を選択してください。

図：追加



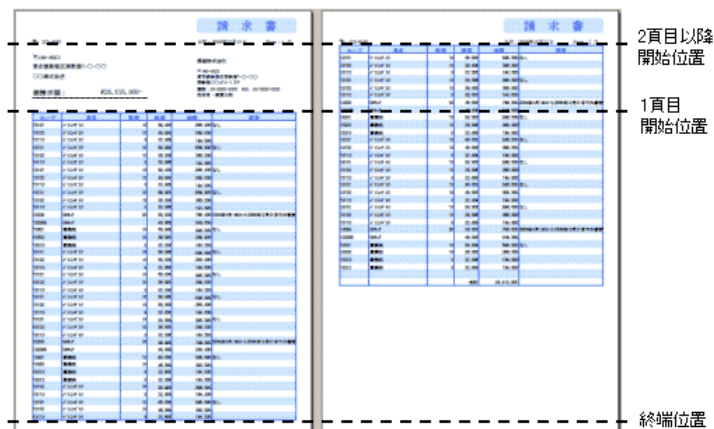
14. 改ページ

14-1. ガイド線

表オブジェクトの改ページは、ガイド線によって制御されます。

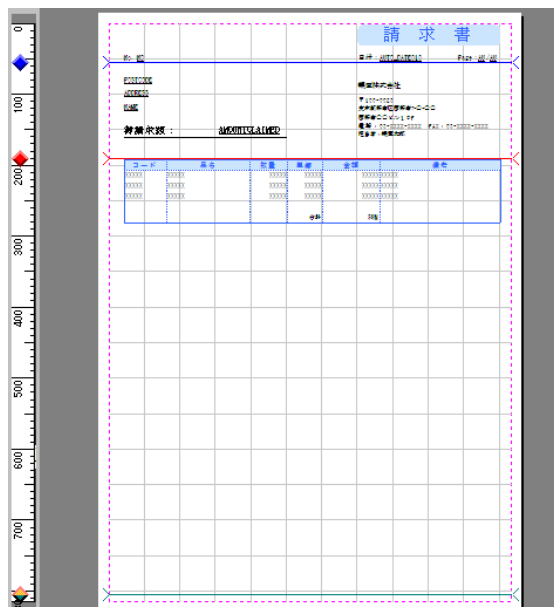
表オブジェクトは「1 ページ目の開始位置」から出力され、「終端位置」に到達した時点で改ページされます。次のページからは「2 ページ目以降の開始位置」から出力され、「終端位置」もしくは「最終ページフッタ位置」まで到達すると改ページします。

図：改ページ



「1 ページ目の開始位置」は Form エディタ の画面上では、赤いガイド線として表現されます。同様に「2 ページ目以降の開始位置」は青いガイド線、「終端位置」は緑のガイド線、「最終ページフッタ位置」は黄のガイド線で表現されます。

図：ガイド線



14-2. 行間隔

ページ内での出力範囲はガイド線の組み合わせによって定義されますが、その領域内でデータをどれだけ出力できるかは、「行間隔」というパラメータで指定します。「行間隔」はそのフォーム内共通のパラメータで、表オブジェクトにおける「行」の高さを表します。

図：行間隔



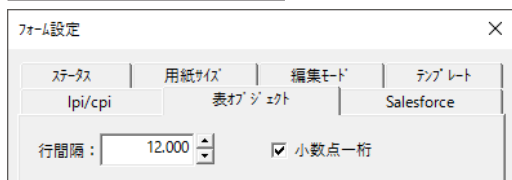
つまり、行の高さを変更したいときは、この「行間隔」を変えることになります。

<< 注意 >>

「行間隔」は Form ファイル内の全ての表オブジェクトで共通の設定となります。

行間隔の指定は、Form エディタのメニューから [ファイル]-[フォーム設定] で表示される「フォーム設定」ダイアログの「表オブジェクト」タブで [行間隔] の値を変更することで行います。

図：フォーム設定ダイアログ



値を変更し [OK] ボタンをクリックすると、Form エディタ上の表オブジェクトの表示に反映されます。

また、ガイド線の間隔はこの「行間隔」の倍数となるように制御されます。

14-3. 2 ページ目以降の開始位置を変える

初期状態では「1 ページ目の開始位置」と「2 ページ目以降の開始位置」は同じ位置になっています。「明細帳票」タイプの帳票のように 1 ページ目のみのタイトル部分を作りたい場合は、この「1 ページ目の開始位置」と「2 ページ目以降の開始位置」を調整してください。

図：2 ページ目以降の開始位置を移動



この状態で出力すると以下のように出力されます。

図：出力結果

品名	数量	単価	金額	税率
10001	10	100.000	1000.000	
10002	10	200.000	2000.000	
10003	10	300.000	3000.000	
10004	10	400.000	4000.000	
10005	10	500.000	5000.000	
10006	10	600.000	6000.000	
10007	10	700.000	7000.000	
10008	10	800.000	8000.000	
10009	10	900.000	9000.000	
10010	10	1000.000	10000.000	
10011	10	1100.000	11000.000	
10012	10	1200.000	12000.000	
10013	10	1300.000	13000.000	
10014	10	1400.000	14000.000	
10015	10	1500.000	15000.000	
10016	10	1600.000	16000.000	
10017	10	1700.000	17000.000	
10018	10	1800.000	18000.000	
10019	10	1900.000	19000.000	
10020	10	2000.000	20000.000	
10021	10	2100.000	21000.000	
10022	10	2200.000	22000.000	
10023	10	2300.000	23000.000	
10024	10	2400.000	24000.000	
10025	10	2500.000	25000.000	
10026	10	2600.000	26000.000	
10027	10	2700.000	27000.000	
10028	10	2800.000	28000.000	
10029	10	2900.000	29000.000	
10030	10	3000.000	30000.000	
10031	10	3100.000	31000.000	
10032	10	3200.000	32000.000	
10033	10	3300.000	33000.000	
10034	10	3400.000	34000.000	
10035	10	3500.000	35000.000	
10036	10	3600.000	36000.000	
10037	10	3700.000	37000.000	
10038	10	3800.000	38000.000	
10039	10	3900.000	39000.000	
10040	10	4000.000	40000.000	
10041	10	4100.000	41000.000	
10042	10	4200.000	42000.000	
10043	10	4300.000	43000.000	
10044	10	4400.000	44000.000	
10045	10	4500.000	45000.000	
10046	10	4600.000	46000.000	
10047	10	4700.000	47000.000	
10048	10	4800.000	48000.000	
10049	10	4900.000	49000.000	
10050	10	5000.000	50000.000	
10051	10	5100.000	51000.000	
10052	10	5200.000	52000.000	
10053	10	5300.000	53000.000	
10054	10	5400.000	54000.000	
10055	10	5500.000	55000.000	
10056	10	5600.000	56000.000	
10057	10	5700.000	57000.000	
10058	10	5800.000	58000.000	
10059	10	5900.000	59000.000	
10060	10	6000.000	60000.000	
10061	10	6100.000	61000.000	
10062	10	6200.000	62000.000	
10063	10	6300.000	63000.000	
10064	10	6400.000	64000.000	
10065	10	6500.000	65000.000	
10066	10	6600.000	66000.000	
10067	10	6700.000	67000.000	
10068	10	6800.000	68000.000	
10069	10	6900.000	69000.000	
10070	10	7000.000	70000.000	
10071	10	7100.000	71000.000	
10072	10	7200.000	72000.000	
10073	10	7300.000	73000.000	
10074	10	7400.000	74000.000	
10075	10	7500.000	75000.000	
10076	10	7600.000	76000.000	
10077	10	7700.000	77000.000	
10078	10	7800.000	78000.000	
10079	10	7900.000	79000.000	
10080	10	8000.000	80000.000	
10081	10	8100.000	81000.000	
10082	10	8200.000	82000.000	
10083	10	8300.000	83000.000	
10084	10	8400.000	84000.000	
10085	10	8500.000	85000.000	
10086	10	8600.000	86000.000	
10087	10	8700.000	87000.000	
10088	10	8800.000	88000.000	
10089	10	8900.000	89000.000	
10090	10	9000.000	90000.000	
10091	10	9100.000	91000.000	
10092	10	9200.000	92000.000	
10093	10	9300.000	93000.000	
10094	10	9400.000	94000.000	
10095	10	9500.000	95000.000	
10096	10	9600.000	96000.000	
10097	10	9700.000	97000.000	
10098	10	9800.000	98000.000	
10099	10	9900.000	99000.000	
10100	10	10000.000	100000.000	
10101	10	10100.000	101000.000	
10102	10	10200.000	102000.000	
10103	10	10300.000	103000.000	
10104	10	10400.000	104000.000	
10105	10	10500.000	105000.000	
10106	10	10600.000	106000.000	
10107	10	10700.000	107000.000	
10108	10	10800.000	108000.000	
10109	10	10900.000	109000.000	
10110	10	11000.000	110000.000	
10111	10	11100.000	111000.000	
10112	10	11200.000	112000.000	
10113	10	11300.000	113000.000	
10114	10	11400.000	114000.000	
10115	10	11500.000	115000.000	
10116	10	11600.000	116000.000	
10117	10	11700.000	117000.000	
10118	10	11800.000	118000.000	
10119	10	11900.000	119000.000	
10120	10	12000.000	120000.000	
10121	10	12100.000	121000.000	
10122	10	12200.000	122000.000	
10123	10	12300.000	123000.000	
10124	10	12400.000	124000.000	
10125	10	12500.000	125000.000	
10126	10	12600.000	126000.000	
10127	10	12700.000	127000.000	
10128	10	12800.000	128000.000	
10129	10	12900.000	129000.000	
10130	10	13000.000	130000.000	
10131	10	13100.000	131000.000	
10132	10	13200.000	132000.000	
10133	10	13300.000	133000.000	
10134	10	13400.000	134000.000	
10135	10	13500.000	135000.000	
10136	10	13600.000	136000.000	
10137	10	13700.000	137000.000	
10138	10	13800.000	138000.000	
10139	10	13900.000	139000.000	
10140	10	14000.000	140000.000	
10141	10	14100.000	141000.000	
10142	10	14200.000	142000.000	
10143	10	14300.000	143000.000	
10144	10	14400.000	144000.000	
10145	10	14500.000	145000.000	
10146	10	14600.000	146000.000	
10147	10	14700.000	147000.000	
10148	10	14800.000	148000.000	
10149	10	14900.000	149000.000	
10150	10	15000.000	150000.000	
10151	10	15100.000	151000.000	
10152	10	15200.000	152000.000	
10153	10	15300.000	153000.000	
10154	10	15400.000	154000.000	
10155	10	15500.000	155000.000	
10156	10	15600.000	156000.000	
10157	10	15700.000	157000.000	
10158	10	15800.000	158000.000	
10159	10	15900.000	159000.000	
10160	10	16000.000	160000.000	
10161	10	16100.000	161000.000	
10162	10	16200.000	162000.000	
10163	10	16300.000	163000.000	
10164	10	16400.000	164000.000	
10165	10	16500.000	165000.000	
10166	10	16600.000	166000.000	
10167	10	16700.000	167000.000	
10168	10	16800.000	168000.000	
10169	10	16900.000	169000.000	
10170	10	17000.000	170000.000	
10171	10	17100.000	171000.000	
10172	10	17200.000	172000.000	
10173	10	17300.000	173000.000	
10174	10	17400.000	174000.000	
10175	10	17500.000	175000.000	
10176	10	17600.000	176000.000	
10177	10	17700.000	177000.000	
10178	10	17800.000	178000.000	
10179	10	17900.000	179000.000	
10180	10	18000.000	180000.000	
10181	10	18100.000	181000.000	
10182	10	18200.000	182000.000	
10183	10	18300.000	183000.000	
10184	10	18400.000	184000.000	
10185	10	18500.000	185000.000	
10186	10	18600.000	186000.000	
10187	10	18700.000	187000.000	
10188	10	18800.000	188000.000	
10189	10	18900.000	189000.000	
10190	10	19000.000	190000.000	
10191	10	19100.000	191000.000	
10192	10	19200.000	192000.000	
10193	10	19300.000	193000.000	
10194	10	19400.000	194000.000	
10195	10	19500.000	195000.000	
10196	10	19600.000	196000.000	
10197	10	19700.000	197000.000	
10198	10	19800.000	198000.000	
10199	10	19900.000	199000.000	
10200	10	20000.000	200000.000	
10201	10	20100.000	201000.000	
10202	10	20200.000	202000.000	
10203	10	20300.000	203000.000	
10204	10	20400.000	204000.000	
10205	10	20500.000	205000.000	
10206	10	20600.000	206000.000	
10207	10	20700.000	207000.000	
10208	10	20800.000	208000.000	
10209	10	20900.000	209000.000	
10210	10	21000.000	210000.000	
10211	10	21100.000	211000.000	
10212	10	21200.000	212000.000	
10213	10	21300.000	213000.000	
10214	10	21400.000	214000.000	
10215	10	21500.000	215000.000	
10216	10	21600.000	216000.000	
10217	10	21700.000	217000.000	
10218	10	21800.000	218000.000	
10219	10	21900.000	219000.000	
10220	10	22000.000	220000.000	

図：最終ページに固定文言

10	59,800	598,000	
10	36,800	368,000	
5	32,800	164,000	
	合計	30,432,000	

<お問い合わせ先>
 〒160-0023
 東京都新宿区西新宿7-〇-〇〇
 西新宿〇〇ビル10F
 電話：03-XXXX-XXXX FAX：03-XXXX-XXXX
 担当者：帳票太郎

このような固定文言が表の明細領域に入り込むような位置・サイズである場合、データ量によっては次の図のように明細部分と重なってしまうことがあります。

図：明細と重なる

5	32,800	164,000	
10	59,800	598,000	
10	36,800	368,000	
5	32,800	164,000	
	合計	3,562,000	0023

<お問い合わせ先>
 〒160-0023
 東京都新宿区西新宿7-〇-〇〇
 西新宿〇〇ビル10F
 電話：03-XXXX-XXXX FAX：03-XXXX-XXXX
 担当者：帳票太郎

「最終ページフッタ位置」を固定文言の上部に指定すると、最終ページで表の明細行と固定文言が重ならないようにページの切り替えが自動的に調整されるようになります。

図：最終ページフッタ位置

5	32,800	164,000	
10	59,800	598,000	
10	36,800	368,000	
5	32,800	164,000	
	合計	3,562,000	0023

図：最終ページが調整される

The image shows a screenshot of a '請求書' (Invoice) form. The form is divided into two main sections. The left section contains a table with columns for '品名' (Item Name), '数量' (Quantity), '単価' (Unit Price), and '金額' (Amount). The table lists various items, including '電気料金' (Electricity), '水道料金' (Water), and 'ガス料金' (Gas). The right section contains the '請求書' (Invoice) header and footer information, including the company name '株式会社' and the address '〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1'. A red dashed line is drawn across the bottom of the table, and a callout box points to it with the text '重ならないようにページ調整される' (Page adjustment is made so they don't overlap).

No.	品名	数量	単価	金額
0001	電気料金	1	100,000	100,000
0002	水道料金	1	50,000	50,000
0003	ガス料金	1	50,000	50,000
0004	電気料金	1	100,000	100,000
0005	水道料金	1	50,000	50,000
0006	ガス料金	1	50,000	50,000
0007	電気料金	1	100,000	100,000
0008	水道料金	1	50,000	50,000
0009	ガス料金	1	50,000	50,000
0010	電気料金	1	100,000	100,000
0011	水道料金	1	50,000	50,000
0012	ガス料金	1	50,000	50,000
0013	電気料金	1	100,000	100,000
0014	水道料金	1	50,000	50,000
0015	ガス料金	1	50,000	50,000
0016	電気料金	1	100,000	100,000
0017	水道料金	1	50,000	50,000
0018	ガス料金	1	50,000	50,000
0019	電気料金	1	100,000	100,000
0020	水道料金	1	50,000	50,000
0021	ガス料金	1	50,000	50,000
0022	電気料金	1	100,000	100,000
0023	水道料金	1	50,000	50,000
0024	ガス料金	1	50,000	50,000
0025	電気料金	1	100,000	100,000
0026	水道料金	1	50,000	50,000
0027	ガス料金	1	50,000	50,000
0028	電気料金	1	100,000	100,000
0029	水道料金	1	50,000	50,000
0030	ガス料金	1	50,000	50,000
0031	電気料金	1	100,000	100,000
0032	水道料金	1	50,000	50,000
0033	ガス料金	1	50,000	50,000
0034	電気料金	1	100,000	100,000
0035	水道料金	1	50,000	50,000
0036	ガス料金	1	50,000	50,000
0037	電気料金	1	100,000	100,000
0038	水道料金	1	50,000	50,000
0039	ガス料金	1	50,000	50,000
0040	電気料金	1	100,000	100,000
0041	水道料金	1	50,000	50,000
0042	ガス料金	1	50,000	50,000
0043	電気料金	1	100,000	100,000
0044	水道料金	1	50,000	50,000
0045	ガス料金	1	50,000	50,000
0046	電気料金	1	100,000	100,000
0047	水道料金	1	50,000	50,000
0048	ガス料金	1	50,000	50,000
0049	電気料金	1	100,000	100,000
0050	水道料金	1	50,000	50,000
0051	ガス料金	1	50,000	50,000
0052	電気料金	1	100,000	100,000
0053	水道料金	1	50,000	50,000
0054	ガス料金	1	50,000	50,000
0055	電気料金	1	100,000	100,000
0056	水道料金	1	50,000	50,000
0057	ガス料金	1	50,000	50,000
0058	電気料金	1	100,000	100,000
0059	水道料金	1	50,000	50,000
0060	ガス料金	1	50,000	50,000
0061	電気料金	1	100,000	100,000
0062	水道料金	1	50,000	50,000
0063	ガス料金	1	50,000	50,000
0064	電気料金	1	100,000	100,000
0065	水道料金	1	50,000	50,000
0066	ガス料金	1	50,000	50,000
0067	電気料金	1	100,000	100,000
0068	水道料金	1	50,000	50,000
0069	ガス料金	1	50,000	50,000
0070	電気料金	1	100,000	100,000
0071	水道料金	1	50,000	50,000
0072	ガス料金	1	50,000	50,000
0073	電気料金	1	100,000	100,000
0074	水道料金	1	50,000	50,000
0075	ガス料金	1	50,000	50,000
0076	電気料金	1	100,000	100,000
0077	水道料金	1	50,000	50,000
0078	ガス料金	1	50,000	50,000
0079	電気料金	1	100,000	100,000
0080	水道料金	1	50,000	50,000
0081	ガス料金	1	50,000	50,000
0082	電気料金	1	100,000	100,000
0083	水道料金	1	50,000	50,000
0084	ガス料金	1	50,000	50,000
0085	電気料金	1	100,000	100,000
0086	水道料金	1	50,000	50,000
0087	ガス料金	1	50,000	50,000
0088	電気料金	1	100,000	100,000
0089	水道料金	1	50,000	50,000
0090	ガス料金	1	50,000	50,000
0091	電気料金	1	100,000	100,000
0092	水道料金	1	50,000	50,000
0093	ガス料金	1	50,000	50,000
0094	電気料金	1	100,000	100,000
0095	水道料金	1	50,000	50,000
0096	ガス料金	1	50,000	50,000
0097	電気料金	1	100,000	100,000
0098	水道料金	1	50,000	50,000
0099	ガス料金	1	50,000	50,000
0100	電気料金	1	100,000	100,000
0101	水道料金	1	50,000	50,000
0102	ガス料金	1	50,000	50,000
0103	電気料金	1	100,000	100,000
0104	水道料金	1	50,000	50,000
0105	ガス料金	1	50,000	50,000
0106	電気料金	1	100,000	100,000
0107	水道料金	1	50,000	50,000
0108	ガス料金	1	50,000	50,000
0109	電気料金	1	100,000	100,000
0110	水道料金	1	50,000	50,000
0111	ガス料金	1	50,000	50,000
0112	電気料金	1	100,000	100,000
0113	水道料金	1	50,000	50,000
0114	ガス料金	1	50,000	50,000
0115	電気料金	1	100,000	100,000
0116	水道料金	1	50,000	50,000
0117	ガス料金	1	50,000	50,000
0118	電気料金	1	100,000	100,000
0119	水道料金	1	50,000	50,000
0120	ガス料金	1	50,000	50,000
0121	電気料金	1	100,000	100,000
0122	水道料金	1	50,000	50,000
0123	ガス料金	1	50,000	50,000
0124	電気料金	1	100,000	100,000
0125	水道料金	1	50,000	50,000
0126	ガス料金	1	50,000	50,000
0127	電気料金	1	100,000	100,000
0128	水道料金	1	50,000	50,000
0129	ガス料金	1	50,000	50,000
0130	電気料金	1	100,000	100,000
0131	水道料金	1	50,000	50,000
0132	ガス料金	1	50,000	50,000
0133	電気料金	1	100,000	100,000
0134	水道料金	1	50,000	50,000
0135	ガス料金	1	50,000	50,000
0136	電気料金	1	100,000	100,000
0137	水道料金	1	50,000	50,000
0138	ガス料金	1	50,000	50,000
0139	電気料金	1	100,000	100,000
0140	水道料金	1	50,000	50,000
0141	ガス料金	1	50,000	50,000
0142	電気料金	1	100,000	100,000
0143	水道料金	1	50,000	50,000
0144	ガス料金	1	50,000	50,000
0145	電気料金	1	100,000	100,000
0146	水道料金	1	50,000	50,000
0147	ガス料金	1	50,000	50,000
0148	電気料金	1	100,000	100,000
0149	水道料金	1	50,000	50,000
0150	ガス料金	1	50,000	50,000
0151	電気料金	1	100,000	100,000
0152	水道料金	1	50,000	50,000
0153	ガス料金	1	50,000	50,000
0154	電気料金	1	100,000	100,000
0155	水道料金	1	50,000	50,000
0156	ガス料金	1	50,000	50,000
0157	電気料金	1	100,000	100,000
0158	水道料金	1	50,000	50,000
0159	ガス料金	1	50,000	50,000
0160	電気料金	1	100,000	100,000
0161	水道料金	1	50,000	50,000
0162	ガス料金	1	50,000	50,000
0163	電気料金	1	100,000	100,000
0164	水道料金	1	50,000	50,000
0165	ガス料金	1	50,000	50,000
0166	電気料金	1	100,000	100,000
0167	水道料金	1	50,000	50,000
0168	ガス料金	1	50,000	50,000
0169	電気料金	1	100,000	100,000
0170	水道料金	1	50,000	50,000
0171	ガス料金	1	50,000	50,000
0172	電気料金	1	100,000	100,000
0173	水道料金	1	50,000	50,000
0174	ガス料金	1	50,000	50,000
0175	電気料金	1	100,000	100,000
0176	水道料金	1	50,000	50,000
0177	ガス料金	1	50,000	50,000
0178	電気料金	1	100,000	100,000
0179	水道料金	1	50,000	50,000
0180	ガス料金	1	50,000	50,000
0181	電気料金	1	100,000	100,000
0182	水道料金	1	50,000	50,000
0183	ガス料金	1	50,000	50,000
0184	電気料金	1	100,000	100,000
0185	水道料金	1	50,000	50,000
0186	ガス料金	1	50,000	50,000
0187	電気料金	1	100,000	100,000
0188	水道料金	1	50,000	50,000
0189	ガス料金	1	50,000	50,000
0190	電気料金	1	100,000	100,000
0191	水道料金	1	50,000	50,000
0192	ガス料金	1	50,000	50,000
0193	電気料金	1	100,000	100,000
0194	水道料金	1	50,000	50,000
0195	ガス料金	1	50,000	50,000
0196	電気料金	1	100,000	100,000
0197	水道料金	1	50,000	50,000
0198	ガス料金	1	50,000	50,000
0199	電気料金	1	100,000	100,000
0200	水道料金	1	50,000	50,000
0201	ガス料金	1	50,000	50,000
0202	電気料金	1	100,000	100,000
0203	水道料金	1	50,000	50,000
0204	ガス料金	1	50,000	50,000
0205	電気料金	1	100,000	100,000
0206	水道料金	1	50,000	50,000
0207	ガス料金	1	50,000	50,000
0208	電気料金	1	100,000	100,000
0209	水道料金	1	50,000	50,000
0210	ガス料金	1	50,000	50,000
0211	電気料金	1	100,000	100,000
0212	水道料金	1	50,000	50,000
0213	ガス料金	1	50,000	50,000
0214	電気料金	1	100,000	100,000
0215	水道料金	1	50,000	50,000
0216	ガス料金	1	50,000	50,000
0217	電気料金	1	100,000	100,000
0218	水道料金	1	50,000	50,000
0219	ガス料金	1	50,000	50,000
0220	電気料金	1	100,000	100,000
0221	水道料金	1	50,000	50,000
0222	ガス料金	1	50,000	50,000
0223	電気料金	1	100,000	100,000
0224	水道料金	1	50,000	50,000
0225	ガス料金	1	50,000	50,000
0226	電気料金	1	100,000	100,000
0227	水道料金	1	50,000	50,000
0228	ガス料金	1	50,000	50,000
0229	電気料金	1	100,000	100,000
0230	水道料金	1	50,000	50,000
0231	ガス料金	1	50,000	50,000
0232	電気料金	1	100,000	100,000
0233	水道料金	1	50,000	50,000
0234	ガス料金	1	50,000	50,000
0235	電気料金	1	100,000	100,000
0236	水道料金	1	50,000	50,000
0237	ガス料金	1	50,000	50,000
0238	電気料金	1	100,000	100,000
0239	水道料金	1	50,000	50,000
0240	ガス料金	1	50,000	50,000
0241	電気料金	1	100,000	100,000
0242	水道料金	1	50,000	50,000
0243	ガス料金	1	50,000	50,000
0244	電気料金	1	100,000	100,000
0245	水道料金	1	50,000	50,000
0246				

15. キー項目

15-1. キー項目の概要

「キー項目」はデータを集計したり繰り返しの単位とする項目です。表オブジェクトは入力データの構造を解釈して表を整形したりデータを集計したりすることができます。そのために必要な情報の一つが「キー項目」です。例えば、「月ごとに集計して表を出力したい」という場合、「月」というデータがキー項目になります。

図：キー項目

取引先名	商品コード	商品名	数量	単価	金額	
カフェ・クローバー	SET-CAK-0002	プチガトーアソルティ (8個)	10	630	6300	
	SET-CAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)	35	900	31500	
	SET-CAK-0006	マドレーヌセット (5個)	20	500	10000	
	SIN-CAK-0003	ガトービレネー (S)	10	1000	10000	
	SIN-CAK-0004	ガトービレネー (M)	10	1600	16000	
	SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)	20	1200	24000	
	SET-DES-0023	カスタードミツプディング (10個)	1	500	500	
	SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ	3	7500	22500	
	SIN-FRU-0005	特選マスカロン (中球)	5	6000	30000	
	SIN-FRU-0102	フィロピン茶マンゴー	50	250	12500	
ストロベリーージュ	SET-CAK-0001	タルトアンサンブル (10個)	20	1500	30000	
	SET-CAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)	40	900	36000	
	SET-CAK-0006	マドレーヌセット (5個)	35	500	17500	
	SIN-CAK-0003	ガトービレネー (S)	10	1000	10000	
	SIN-CAK-0005	ガトービレネー (L)	10	2200	22000	
	SIN-CAK-0034	マンゴーレアチーズケーキ (M)	30	1800	54000	
	SET-DES-0007	クレーミープリン (5個)	15	600	9000	
	SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)	15	1200	18000	
	SET-DES-0023	カスタードミツプディング (10個)	10	500	5000	
	SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ	2	7500	15000	
	SIN-FRU-0005	特選マスカロン (中球)	2	6000	12000	
	SIN-FRU-0113	特選深みかん	50	120	6000	
	日付別集計				397800	

キー項目は、表オブジェクトに対して集計設定や表示設定していく中である程度自動的に設定・追加されていきます。例えば「16. 重複データ非表示」で説明している重複データの非表示を設定すると、そのセルは自動的にキー項目になります。キー項目になるとそのセルには鍵のマーク（キーマーク）が表示されます。

図：キーマーク

取引先名	商品コード	商
XXX	XXXXX	X;
	XXXXX	X;
	XXXXX	X;

表オブジェクトが保持しているキー項目を確認するには、表オブジェクトのプロパティダイアログで「キー項目」タブを表示します。ここに全てのキー項目が一覧表示されています。

図：キー項目一覧

セル	キー項目	デザイン	形態	位置	
種別:	レポートブロック内に存在するキー			キーレイアウト設定...	
順位	キー項目	重複非...	タイトル...	集計...	罫線
1	日付	○	-	○	-
2	見種No	○	-	-	○
3	取引先コード	○	-	-	○
4	取引先名	○	-	-	○

一つの表オブジェクトの中に存在するキー項目には優先順位があります。例えば、「年」「月」という2つのキー項目ではおそらく「月」よりも「年」の方が優先順位の高いキー項目でしょう。

このとき、「月」だけで見れば同じ「4月」というデータであっても「年」が「2006年」と「2007年」で異なっていれば「月」もそこで異なるものとして扱うべきです。

ID	年	月
1	2006	3
2	2006	4
3	2006	4
4	2006	4
5	2007	4
6	2007	4
7	2007	5

例えばこのようなデータがあった場合、データは次のように区切られるはずですが、

ID	年	月
1	2006	3
2	2006	4
3	2006	4
4	2006	4
5	2007	4
6	2007	4
7	2007	5

「ID」が「04」と「05」のデータの間には、「月」だけで見ると区切りは存在しませんが、「年」で区切られるため「年」よりも優先順位が低い「月」のデータもここで区切られるものと見なされます。

これがキー項目の最も基本的な概念になります。この考え方を基にしてデータの集計や整形が行われます。

また、一つの表オブジェクトには10個までキー項目を定義することができます。

15-2. キー項目の優先順位を入れ替える

キー項目の優先順位が逆になると、場合によっては集計結果が変わってしまいます。そこでキー項目の優先順位を管理する必要があります。その表オブジェクトが保持しているキー項目は、表オブジェクトのプロパティダイアログの「キー項目」タブの画面で一覧表示されています。

図：キー項目一覧



このリストに表示されている順番がそのままキー項目の優先順位になります。優先順位を変更したいキー項目を選択し、[↑]もしくは[↓]ボタンによってキー項目の優先順位を入れ替えることができます。

図：キー項目を入れ替える



基本的には、キー項目は登録された順番に優先順位が割り当てられていきます。

15-3. キー項目の指定を解除する

一度キー項目となったセルをキー項目から解除するには、キー項目としての要件を全て解除する必要があります。キー項目としての要件とは主に以下に示すものです。

- ・キーブレイク設定がされている
- ・キータイトル行が設定されている
- ・キー集計行が設定されている

これらの設定を全て解除するとそのセルはキー項目ではなくなります。逆にこれらのうちの一つでも設定がされていれば、そのセルはキー項目となります。

15-4. キーブレイク設定を起動する

「キー項目」タブでキー項目を選択し、ダブルクリックもしくは[キーブレイク設定]ボタンを押すと、[キーブレイク設定]ダイアログを起動できます。キーブレイク設定については「19. キーブレイク」をご参照ください。

16. 重複データ非表示

16-1. 重複データ非表示の設定

キー項目のデータは、キー項目という性質上、基本的に同じデータが繰り返されるものです。

図：キー項目のデータ

取引先名	商品コード	商品名
カフェ・クローバー	SET-CAK-0002	プチガトーア
カフェ・クローバー	SET-CAK-0005	フィナンシェ
カフェ・クローバー	SET-CAK-0006	マドレーヌセ
カフェ・クローバー	SIN-CAK-0003	ガトーピレネ
カフェ・クローバー	SIN-CAK-0004	ガトーピレネ
カフェ・クローバー	SET-DES-0015	ジャージュブ
カフェ・クローバー	SET-DES-0023	カスタードミ
カフェ・クローバー	SET-FRU-0001	季節のフルー
カフェ・クローバー	SIN-FRU-0005	特選マスクメ
カフェ・クローバー	SIN-FRU-0102	フィリピン産
ストロベリーージュ	SET-CAK-0001	タルトアンサ
ストロベリーージュ	SET-CAK-0005	フィナンシェ
ストロベリーージュ	SET-CAK-0006	マドレーヌセ
ストロベリーージュ	SIN-CAK-0003	ガトーピレネ
ストロベリーージュ	SIN-CAK-0005	ガトーピレネ
ストロベリーージュ	SIN-CAK-0034	マンゴーレア

この繰り返されているデータをまとめて一つにして表示する機能を「重複データ非表示」機能といいます。

図：重複データ非表示の対象

取引先名	商品コード	商品名
カフェ・クローバー	SET-CAK-0002	プチガトーア
カフェ・クローバー	SET-CAK-0005	フィナンシェ
カフェ・クローバー	SET-CAK-0006	マドレーヌセ
カフェ・クローバー	SIN-CAK-0003	ガトーピレネ
カフェ・クローバー	SIN-CAK-0004	ガトーピレネ
カフェ・クローバー	SET-DES-0015	ジャージュブ
カフェ・クローバー	SET-DES-0023	カスタードミ
カフェ・クローバー	SET-FRU-0001	季節のフルー
カフェ・クローバー	SIN-FRU-0005	特選マスクメ
カフェ・クローバー	SIN-FRU-0102	フィリピン産
ストロベリーージュ	SET-CAK-0001	タルトアンサ
ストロベリーージュ	SET-CAK-0005	フィナンシェ
ストロベリーージュ	SET-CAK-0006	マドレーヌセ
ストロベリーージュ	SIN-CAK-0003	ガトーピレネ
ストロベリーージュ	SIN-CAK-0005	ガトーピレネ
ストロベリーージュ	SIN-CAK-0034	マンゴーレア

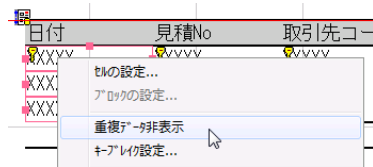
重複データ非表示を設定するためには、まずレコードブロックの中で設定したいセルを選択します。

図：セルを選択

取引先名	商品コード	商品名
XXXXX	XXXXXX	X)
XXXXXX	XXXXXX	X)
XXXXXX	XXXXXX	X)

右クリックして表示されたコンテキストメニューから「重複データ非表示」を選択してチェックを入れます。

図：重複データ非表示



Formエディタ上では、そのセルが重複データ非表示状態になります。同時にキーブレイク罫線が設定され、セルの罫線（上）の線種が“なし”に設定されます。キーブレイク罫線については、「19. キーブレイク」をご参照ください。

下図は取引先名を重複データ非表示に設定した表の例です。

図：重複データ非表示を設定した状態

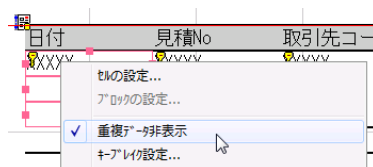
取引先名	商品コード	商品名	
カフェ・クローバー	SET-CAK-0002	プチガトーア	
	SET-CAK-0005	フィナンシェ	
	SET-CAK-0006	マドレーヌセ	
	SIN-CAK-0003	ガトービレネ	
	SIN-CAK-0004	ガトービレネ	
	SET-DES-0015	ジャージー	
SET-DES-0023	カスタドミソ		
	SET-FRU-0001	季節のフルー	
SIN-FRU-0005	特選マスクメ		
	SIN-FRU-0102	フィリピン産	
	ストロベリールージュ	SET-CAK-0001	タルトアンサ
		SET-CAK-0005	フィナンシェ
SET-CAK-0006	マドレーヌセ		
	SIN-CAK-0003	ガトービレネ	
	SIN-CAK-0005	ガトービレネ	
	SIN-CAK-0034	マンゴーレア	

重複するデータが複数ページにまたがる場合は、改ページ後の1行目にはデータが出力されません。

16-2. 重複データ非表示の解除

重複データ非表示に設定したセルを元に戻すには、まずそのセルを選択し、再び右クリックします。表示されたコンテキストメニューから「重複データ非表示」をもう一度選択しチェックを外します。

図：重複データ非表示のチェックを外す



重複データ非表示が解除されます。ただし、セルの罫線情報は消えているため、個別に設定する必要があります。

図：重複データ非表示が解除される

取引先名	商品コード
XXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX

16-3. 複数項目の重複データ非表示

レコード行に重複データ非表示が設定された項目が複数あった場合、より優先順位が高いキー項目の重複データが区切られると、他のキー項目のデータも影響を受けてデータが区切られます。

図：キーブレイクが連鎖する

店コード	店名	仕入先コード	仕入先名
10	フレンドストアー 本店	120	埼玉食品(株)
10	フレンドストアー 本店	121	(株)岡田屋
		121	(株)岡田屋
20	フレンドストアー 立川店	121	(株)岡田屋
		141	(株)デリセゾン

上位キーのブレイクにより
下位キーでもブレイク

そのため、キー項目の優先順位次第で出力結果が異なる内容になります。

なお、これは「キーブレイク」という機能の一種です。キーブレイク機能については、「19. キーブレイク」をご参照ください。

17. 表タイトルブロック

17-1. 表タイトルブロックの概要

表の一番最初に見出しのテキストを配置したい場合はタイトルブロックを使用します。

図：表の見出し

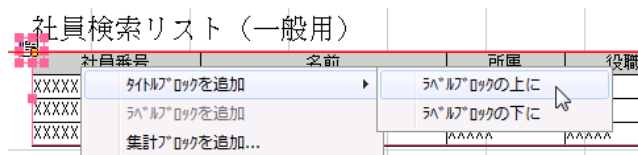
◆流動性預金		
種別	口座番号	お預り
普通預金	1234567	¥78
普通預金	2345678	¥1,234
普通預金	3456789	¥32
普通預金	4567890	¥43
普通預金	5678901	¥50
普通預金	6789012	¥23

表の一番最初だけに出力されるタイトルブロックを便宜上「表タイトルブロック」と呼ぶことにします。

17-2. ラベルブロックの上に出力する

表タイトルブロックを追加するには、表オブジェクト左上のプロパティボタンを選択し、右クリックして表示されたコンテキストメニューから、[タイトルブロックを追加]-[ラベルブロックの上に]を選択します。

図：コンテキストメニュー



ラベルブロックの上にタイトルブロックが1行分追加されます。

図：タイトルブロックが追加される

社員検索リスト (一般用)	
社員番号	名前
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX
.....

※ 最初の行の「社員番号」列に「表タイトルブロック」が追加されています。

ラベルブロックの上に追加されるタイトルブロックは、その表オブジェクトの出力で最初のページに一度だけ出力されます。

図：最初のページにだけ出力される

社員検索リスト（一般用）

最初のページのみ出力

表タイトル

社員番号	姓	名	所属	役職	入社年月日	退社年月日	勤務地	勤務時間	備考	印刷番号
S000001	鈴木	太郎	総務部	課長	1981/03/20	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1001	001-001-0001
S000002	田中	花子	総務部	課長	1975/05/10	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1002	001-001-0002
S000003	佐藤	一郎	総務部	課長	1980/08/15	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1003	001-001-0003
S000004	山田	次郎	総務部	課長	1978/11/20	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1004	001-001-0004
S000005	中村	三郎	総務部	課長	1982/01/10	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1005	001-001-0005
S000006	高橋	四郎	総務部	課長	1979/04/05	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1006	001-001-0006
S000007	渡辺	五郎	総務部	課長	1983/07/20	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1007	001-001-0007
S000008	小林	六郎	総務部	課長	1980/10/10	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1008	001-001-0008
S000009	吉田	七郎	総務部	課長	1977/12/15	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1009	001-001-0009
S000010	松本	八郎	総務部	課長	1981/05/05	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1010	001-001-0010
S000011	山崎	九郎	総務部	課長	1976/09/20	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1011	001-001-0011
S000012	佐々木	十郎	総務部	課長	1984/02/10	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1012	001-001-0012
S000013	高木	十一郎	総務部	課長	1978/06/15	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1013	001-001-0013
S000014	石川	十二郎	総務部	課長	1982/11/05	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1014	001-001-0014
S000015	森田	十三郎	総務部	課長	1979/03/25	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1015	001-001-0015
S000016	山本	十四郎	総務部	課長	1983/08/10	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1016	001-001-0016
S000017	田村	十五郎	総務部	課長	1977/10/20	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1017	001-001-0017
S000018	佐藤	十六郎	総務部	課長	1981/04/05	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1018	001-001-0018
S000019	高橋	十七郎	総務部	課長	1976/07/15	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1019	001-001-0019
S000020	渡辺	十八郎	総務部	課長	1984/01/10	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1020	001-001-0020

社員検索リスト（一般用）

社員番号	姓	名	所属	役職	入社年月日	退社年月日	勤務地	勤務時間	備考	印刷番号
S000021	鈴木	太郎	総務部	課長	1980/05/20	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1021	001-001-0021
S000022	田中	花子	総務部	課長	1975/08/10	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1022	001-001-0022
S000023	佐藤	一郎	総務部	課長	1982/11/20	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1023	001-001-0023
S000024	山田	次郎	総務部	課長	1978/04/05	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1024	001-001-0024
S000025	中村	三郎	総務部	課長	1981/07/15	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1025	001-001-0025
S000026	高橋	四郎	総務部	課長	1976/10/20	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1026	001-001-0026
S000027	渡辺	五郎	総務部	課長	1983/01/10	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1027	001-001-0027
S000028	小林	六郎	総務部	課長	1979/04/20	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1028	001-001-0028
S000029	吉田	七郎	総務部	課長	1982/07/05	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1029	001-001-0029
S000030	松本	八郎	総務部	課長	1977/10/15	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1030	001-001-0030
S000031	山崎	九郎	総務部	課長	1981/03/20	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1031	001-001-0031
S000032	佐々木	十郎	総務部	課長	1976/06/10	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1032	001-001-0032
S000033	高木	十一郎	総務部	課長	1984/09/05	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1033	001-001-0033
S000034	石川	十二郎	総務部	課長	1978/12/15	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1034	001-001-0034
S000035	森田	十三郎	総務部	課長	1982/05/10	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1035	001-001-0035
S000036	山本	十四郎	総務部	課長	1977/08/20	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1036	001-001-0036
S000037	田村	十五郎	総務部	課長	1981/11/05	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1037	001-001-0037
S000038	佐藤	十六郎	総務部	課長	1976/04/15	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1038	001-001-0038
S000039	高橋	十七郎	総務部	課長	1983/07/20	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1039	001-001-0039
S000040	渡辺	十八郎	総務部	課長	1979/10/10	1999/03/31	東京都港区	09:00-18:00	課長補佐 1001-1040	001-001-0040

このブロックは、初期状態では全てのセルが結合された罫線がない一つのセルとして追加されます。もちろん必要であれば、結合を解除したり罫線を設定したりして表示を変更することが可能です。

すでに表タイトルブロックが存在するときにさらにタイトルブロックを追加すると、最初からキー項目に設定されたセルを持つブロックが最初のタイトルブロックの下に追加されます。

図：2つ目のタイトルブロックを追加

XXXXXX	
XXXXXX	
社員番号	
XXXXXX	XXXXXX
vvvvvv	vvvvvv

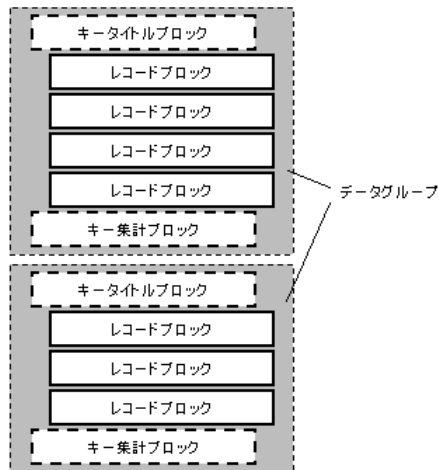
ラベルブロックの上のブロックにキー項目が存在すると、その帳票は「繰り返し表」という出力パターンになります。通常の表と繰り返し表とでは出力の結果が大きく変わってくるので注意してください。「繰り返し表」については「26. 繰り返し表」をご参照ください。

18. キータイトルブロック

18-1. キータイトルブロックの概要

キー項目によってまとめられる一連のデータグループに対するヘッダとして機能するものが「ラベルブロックの下のタイトルブロック」です。これを便宜上「キータイトルブロック」と呼ぶことにします。

図：キータイトル



キータイトルブロックは、そのブロックに関連付けられたキー項目がどこに存在するかによって、以下の2種類に分けられます。

- ・ブロック自体がキー項目のセルを持つキータイトルブロック
- ・レコードブロックのキー項目に関連付けられたキータイトルブロック

18-2. ブロック自体がキー項目のセルを持つブロック

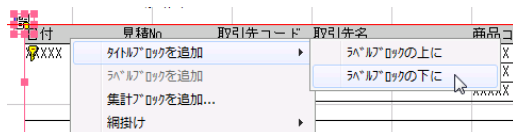
次の図の表には、そのブロック内のセルの値（分類）をキーとするキータイトルブロック（矢印が指すブロック）が存在します。

図：ブロック自体がキー項目のセルを持つブロック

商品番号	商品名	個数	単価	金額
<< 分類 >> 912145				
SET-CAK-0002	プチガトーアソルティ (8個)	10	630	6300
SET-CAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)	35	900	31500
SET-CAK-0006	マドレーヌセット (5個)	20	500	10000
SIN-CAK-0003	ガトービレネー (S)	10	1000	10000
SIN-CAK-0004	ガトービレネー (M)	10	1600	16000
SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)	20	1200	24000
SET-DES-0023	カスタードミンブディング (10個)	1	500	500
SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ	3	7500	22500
SIN-FRU-0005	特選マスクメロン (中球)	5	6000	30000
<< 分類 >> 912146				
SET-CAK-0001	タルトアンサンブル (10個)	20	1500	30000
SET-CAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)	40	900	36000
SET-CAK-0006	マドレーヌセット (5個)	35	500	17500
SIN-CAK-0003	ガトービレネー (S)	10	1000	10000
SIN-CAK-0005	ガトービレネー (L)	10	2200	22000
SIN-CAK-0034	マンゴーレアチーズケーキ (M)	30	1800	54000
SET-DES-0007	クリーミープリン (5個)	15	600	9000
SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)	15	1200	18000

このように、「ブロック自体がキー項目のセルを持つキータイトルブロック」を追加するには、表オブジェクト左上のプロパティボタンを選択し、右クリックして表示されたコンテキストメニューから、[タイトルブロックを追加]-[ラベルブロックの下に]を選択します。

図：コンテキストメニュー



ラベルブロックの下にキー項目のセルを持つタイトルブロックが1行分追加されます。

図：キータイトルブロックが追加される

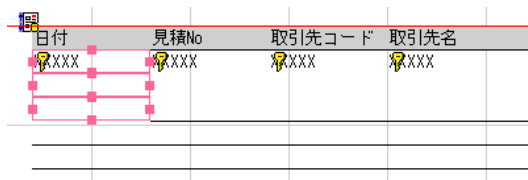
日付	見積No	取引先コード	取引先名	商品コード	商品名
🔑XXX					
🔑XXX	🔑XXX	🔑XXX	🔑XXX	XXXXX	XXXXX
				XXXXX	XXXXX
				XX	XXXXX

キータイトルブロック

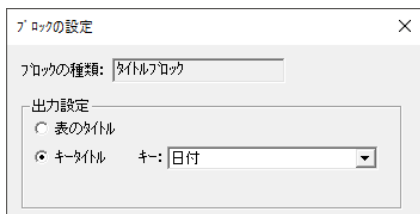
18-3. キー項目に関連付けられたブロック

「レコードブロックのキー項目に関連付けられたキータイトルブロック」を追加するには、まずレコードブロックのキー項目となるセルを選択します。

図：セルを選択



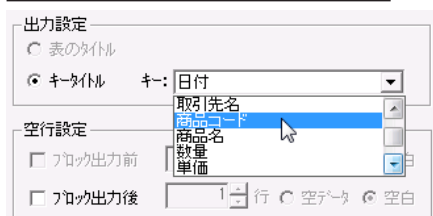
図：ブロックの設定ダイアログ



ここでまず [出力設定] の部分で [キータイトル] が選択されていることが確認できます。その右側に表示されているものがそのキータイトルブロックが関連付けられているキー項目になります。

この関連付けられたキー項目はプルダウンリストで選択可能で、プルダウンリストから別の項目を選択するとそのキータイトルブロックの関連付けがその項目に変更されます。

図：プルダウンリストで関連付けを変更



18-5. ラベルブロックのようにキータイトルブロックを出力する

ラベルブロックはページが切り替わる度に毎ページ先頭に出力されます。これと同じようにキータイトルブロックも毎ページ先頭に出力させることが可能です。

キータイトルブロックをラベルブロックのように出力するためには、表オブジェクトのプロパティダイアログの「形態」タブにある [キータイトルをページ先頭にも出力] をチェックします。

図：プロパティダイアログ



この設定を行うことでキータイトルブロックがラベルブロックとともに毎ページ先頭に出力されるようになります。

19. キーブレイク

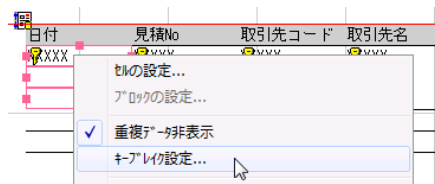
19-1. キーブレイクの概要

キー項目のデータが違うデータに切り替わったタイミングで任意の処理を行わせる機能を「キーブレイク」機能と呼びます。例えば「年」が「2006年」から「2007年」に切り替わったら赤い罫線を引いたり、改ページすることができます。キーブレイクはキー項目ごとに個別に設定することができます。

キーブレイクはレコードブロックとキータイトルブロックのキー項目のセルに対して設定することができます。キー項目ではないセルに対してキーブレイクの設定を行うとそのセルはキー項目になります。

キーブレイクの設定は、キーブレイクを設定したいキー項目のセルを選択し、右クリックして表示されたコンテキストメニューから「キーブレイク設定」を選択します。

図：コンテキストメニュー



「キーブレイク設定」ダイアログが表示されます。

図：キーブレイク設定ダイアログ



この画面でキーブレイクに関する設定をまとめて行うことができます。

図：キーブレイク罫線をチェック

[線種] や [線幅]、線の [色] が編集可能になります。

この設定により、キーブレイクごとに任意の罫線が描画されます。このとき、キーブレイク罫線と描画が重なる罫線は表示されず、キーブレイク罫線のみが表示されます。

図：出カイメージ

日付	取引先名	商品コード	商品名	
2006/11/6	カフェ・クローバー	SET-GAK-0002	プチガトーアソルティ (8個)	
		SET-GAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)	
		SET-GAK-0006	マドレーヌセット (5個)	
		SIN-GAK-0003	ガトービレネー (S)	
		SIN-GAK-0004	ガトービレネー (M)	
		SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)	
		SET-DES-0023	カスタードミソブディング (10個)	
		SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ	
		SIN-FRU-0005	特選マスクメロン (中球)	
		SIN-FRU-0107	フィナンシェマングー	
		ストロベリールージュ	SET-GAK-0001	タルタンサンプル (10個)
		SET-GAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)	
		SET-GAK-0006	マドレーヌセット (5個)	
		SIN-GAK-0003	ガトービレネー (S)	
SIN-GAK-0005	ガトービレネー (L)			
SIN-GAK-0034	マンゴーレアチーズケーキ (M)			
SET-DES-0007	クリーミープリン (5個)			
SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)			
SET-DES-0023	カスタードミソブディング (10個)			
SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ			
SIN-FRU-0005	特選マスクメロン (中球)			
SIN-FRU-0113	季節みかん			
2006/11/7	カフェ・クローバー	SET-GAK-0002	プチガトーアソルティ (8個)	
		SET-GAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)	

また、複数のキー項目にキーブレイク罫線が設定されていて、キーブレイク罫線同士が重なる場合は、最も優先順位の高いキー項目のキーブレイク罫線だけが表示されます。

キーの優先順位は、表オブジェクトのプロパティダイアログ - [キー項目] タブで確認、変更することができます。

19-4. 改行

キーブレイクごとに何も無い空の行を何行か出力したい場合は、「キーブレイク設定」ダイアログで [キーブレイクで改行] をチェックします。

図：キーブレイクで改行をチェック

行数と改行のタイプが編集可能になります。

この設定により、キーブレイクごとに空の行が出力されるようになります。

図：まとめ送りを適用

	特選マスクメロン (中球)	30.00
	フィリピン産マンゴー	12.50
	特選マスクメロン (中球)	30.00
	フィリピン産マンゴー	12.50

取引先	商品名	金額
ストロベリールージュ	タルトアンサンブル (10個)	30.00
	フィナンシェオショコラ (5個)	36.00
	マドレーヌセット (5個)	17.50
	ガトービレネー (S)	10.00
	ガトービレネー (L)	22.00
	マンゴーレアチーズケーキ (個)	54.00
	クリーミープリン (5個)	9.00
	ジャージーブディング (5個)	18.00
	カスタードミソブディング (10個)	5.00

この機能を有効にするためには、「キーブレイク設定」ダイアログで [キーごとのまとめ送り] をチェックします。

図：キーごとのまとめ送りをチェック

- 重複データ非表示
- キーごとのまとめ送り
- キーブレイクで改ページ

この設定により、上記のような処理が行われて帳票が出力することができます。

20. 集計

20-1. 集計機能の概要

表オブジェクトではデータを集計して結果を帳票上に出力することができます。表オブジェクトで設定可能な集計方法は以下の3種類です。

- ・ 合計
- ・ 平均
- ・ レコード数

データを集計するタイミングは以下の3種類です。

- ・ 入力データが最後まで達したとき（総集計）
- ・ キーブレイクが発生したとき（キー集計）
- ・ 改ページが発生したとき（ページ集計）

「総集計」はデータ全体を集計する最も基本的な集計パターンです。

図：総集計

ガトービレネー (S)	10000
ガトービレネー (L)	22000
マンゴーレアチーズケーキ (M)	54000
クリーミープリン (5個)	9000
ジャージーブディング (5個)	18000
カスタードミソブディング (10個)	5000
季節のフルーツ盛り合わせ	15000
特選マスクメロン (中球)	12000
愛媛産みかん	6000
総集計	795600

「キー集計」はキーブレイクごとに集計します。例えば、取引先ごとや日付別の集計を行うことができます。

図：キー集計

	フィリピン産マンゴー	12000
ストロベリールージュ	タルトアンサンブル (10個)	30000
	フィナンシェオショコラ (5個)	36000
	マドレーヌセット (5個)	17500
	ガトービレネー (S)	10000
	ガトービレネー (L)	22000
	マンゴーレアチーズケーキ (M)	54000
	クリーミープリン (5個)	9000
	ジャージーブディング (5個)	18000
	カスタードミソブディング (10個)	5000
	季節のフルーツ盛り合わせ	15000
	特選マスクメロン (中球)	12000
	愛媛産みかん	6000
	日付別集計	397800

「ページ集計」はそのページ単位の集計を行います。

図：ページ集計

季節のフルーツ盛り合わせ	22500
特選マスクメロン（中球）	30000
フィリピン産マンゴー	12500
ジュ タルトアンサンブル（10個）	30000
フィナンシェオショコラ（5個）	36000
ページ集計	627100

総集計やキー集計を定義する最も基本的な方法は集計ブロックを定義することです。または、セルの出力設定でセルに対して直接集計値を定義することもできます。

集計機能では 15 桁を超える数値を扱うことはできません。集計処理中に 15 桁を超える値が発生した場合は集計処理を停止し、帳票上の集計項目は空欄で表示されます。

<< 注意 >>

表オブジェクトの集計機能で扱える数値の範囲は、整数部分と小数部分合わせて 15 桁までとなります。集計の処理過程において、扱う値がこの範囲を超える場合、整数部分が 16 桁以上になるとその集計処理は中止されます。また、整数部分と小数部分を合わせて 16 桁を超える場合は、全体が 15 桁に収まるように小数部分が四捨五入されます。このため小数点以下の値を扱う場合、切り上げ切り捨てによる誤差が発生し、意図しない集計結果になる可能性があります。

20-2. 総集計ブロックを追加する

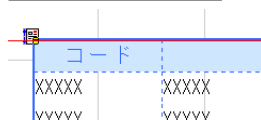
データの最後に全データの合計や平均値等の集計値を表示したい場合は、総集計ブロックを使用します。

図：総集計ブロック

10110	パソコンデスク	5	32,800	164,000
10205	OAチェア	20	39,800	796,000
10205	OAチェア	49,800	249,000	
10301	事務机	10	59,800	598,000
10302	事務机	10	36,800	368,000
10310	事務机	5	32,800	164,000
10312	事務机	5	32,800	164,000
合計				26,510,000

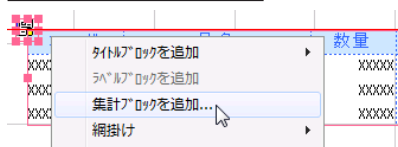
表オブジェクトに総集計ブロックを追加するには、まず表オブジェクトの左上のプロパティボタンをクリックして表オブジェクト全体を選択します。

図：プロパティボタン



右クリックして表示されたコンテキストメニューから [集計ブロックを追加] を選択します。

図：コンテキストメニュー



「集計ブロック追加」ダイアログが表示されます。

図：集計ブロック追加ダイアログ

項目名	集計種別
<input type="checkbox"/> コード	-
<input type="checkbox"/> 品名	-
<input type="checkbox"/> 数量	-
<input type="checkbox"/> 単価	-
<input type="checkbox"/> 金額	-
<input type="checkbox"/> 備考	-

総集計ブロックを追加するには、[出力設定]で[総集計]を選択します。

次に[集計値表示項目]で集計対象となるデータを選択します。例えば、「金額」を集計して「合計金額」を出力する場合には、「金額」の項目にチェックを入れます。

図：項目選択

項目名	集計種別
<input type="checkbox"/> コード	-
<input type="checkbox"/> 品名	-
<input type="checkbox"/> 数量	-
<input type="checkbox"/> 単価	-
<input checked="" type="checkbox"/> 金額	合計
<input type="checkbox"/> 備考	-

「金額」の[集計種別]の項目がアクティブになり、集計種別(合計・平均・レコード数)が選択できるようになります。[OK]ボタンをクリックすると総集計ブロックが追加されます。

図：集計ブロックが追加される

コード	品名	数量	単価	金額	備考
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	
			合計	SUM	

集計値が割り当てられたセルには、以下のテキストが表示されます。

- ・ 合計：“SUM”
- ・ 平均：“AVG”
- ・ レコード数：“CNT”

集計値の表示になっているセルがどのデータ項目の集計値として設定されているかを確認するには、そのセルをダブルクリックして「セルの設定」ダイアログを表示させ、[表示内容]の[集計設定]ボタンをクリックすると「集計設定」ダイアログが表示されるので、そこで確認することができます。

図：集計設定ダイアログ

20-3. キー集計ブロックを追加する

「顧客別合計」「仕入先計」「月別平均」といったような、キーブレイクごとの集計を出力したい場合は、キー集計ブロックを使用します。

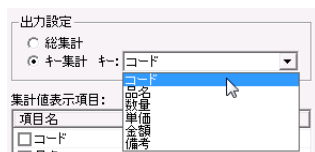
図：キー集計ブロック

仕入先名	商品名	今月仕入金額
埼玉食品(株)	生鮮食品	53,804
	果実	77,950
	パン	29,843
	デザート	49,399
	乳製品	92,267
仕入先計		303,263
(株)岡田屋	生鮮食品	44,048
	果実	77,337
	パン	29,174
	デザート	49,639
	乳製品	36,539
仕入先計		236,737
(株)アリスエフ	生鮮食品	97,263
	果実	95,988

キー集計ブロックを追加するには、総集計ブロックと同様に、プロパティボタンのコンテキストメニューから [集計ブロックを追加] を選択して「集計ブロック追加」ダイアログを表示させます。

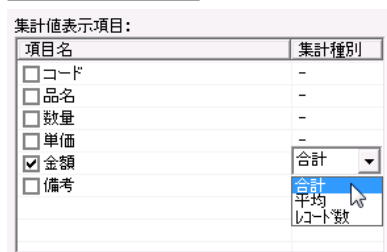
次に、[出力設定] で [キー集計] を選択します。[キー] のリストから、その集計ブロックが関連付けられる（そのキー項目のデータがキーブレイクしたときにその集計ブロックが出力される）キー項目を選択します。例えば「顧客別の合計金額」を集計する表を作りたい場合は、[キー] に [顧客] の項目を指定します。

図：キー項目を選択



[キー] を指定したら、あとは総集計ブロックの追加と同様に、[集計値表示項目] から集計対象となるデータを選択し集計種別を指定します。

図：集計を定義する



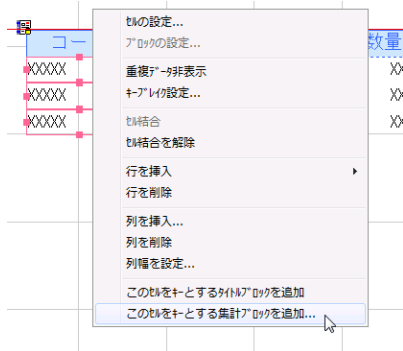
[OK] ボタンをクリックするとキー集計ブロックが追加されます。

図：キー集計ブロックが追加される

コード	品名	数量	単価	金額	備考
XXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXXXXXXXX	
XXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXXXXXXXX	
XXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXXXXXXXX	
			合計	SUM	

キー項目とするセルがレコードブロックにある場合、そのセルを選択して右クリックし、表示されたコンテキストメニューから [このセルをキーとする集計ブロックを追加] を選択しても同様の操作を行うことができます。

図：コンテキストメニュー



図：集計ブロック追加ダイアログ

集計ブロック追加

出力設定

総集計

キー集計 キー:

集計値表示項目:

項目名	集計種別
<input type="checkbox"/> コード	-
<input type="checkbox"/> 品名	-
<input type="checkbox"/> 数量	-
<input type="checkbox"/> 単価	-
<input type="checkbox"/> 金額	-
<input type="checkbox"/> 備考	-

OK キャンセル

この場合は [キー] が固定となり選択することはできません。

20-4. セルに集計設定を割り当てる

集計値は集計ブロックに限らずほぼ全てのテキスト形式のセルに表示させることができます。任意のセルに集計値を表示させるには、集計値を表示させたいセルをダブルクリックして「セルの設定」ダイアログを表示させます。

図：セルの設定ダイアログ

[表示内容] を [集計値] に変更します。

図：集計値を選択

[集計設定] ボタンが有効になるのでクリックすると「集計設定」ダイアログが表示されます。

図：集計設定ダイアログ

[集計対象項目] から集計したいデータを選択し、[出力設定] と [集計種別] をそれぞれ選択します。[出力設定] の「総集計」と「ページ集計」は常に選択可能ですが、「キー集計」に関しては「キー集計に設定された集計ブロック」と「キータイトルに設定されたタイトルブロック」内のセルでのみ選択可能となります。

[OK] ボタンをクリックするとそのセルが集計値に変更されます。

図：セルが集計値に変更される

SUM	
品名	金額
	XXXXXX
	YYYYYY

集計値が割り当てられたセルには、集計の種類によって以下のテキストが表示されます。

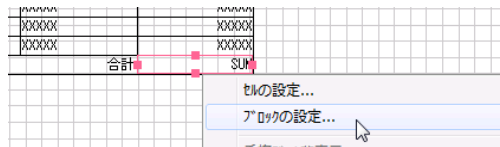
- ・ 合計：“SUM”
- ・ 平均：“AVG”
- ・ レコード数：“CNT”

表のセルではなく表の外部のテキスト変数に集計値を表示させたい場合は「28 表連携オブジェクト」をご覧ください。

20-5. 集計ブロックの集計タイミングを変更する

集計ブロックは、総集計ブロックとして出力するかキー集計ブロックとして出力するかを選択することができます。集計タイミングを変更するには、その集計ブロックのセルをどれか1つ選択して右クリックし、表示されたコンテキストメニューから「ブロックの設定」を選択します。

図：コンテキストメニュー



「ブロックの設定」ダイアログが表示されます。「ブロックの種類」には「集計ブロック」と表示されています。

図：ブロックの設定ダイアログ



「出力設定」の部分が集計ブロックの設定となっています。「総集計」か「キー集計」を選択し、「キー集計」の場合はさらに「キー」を選択します。ただし、すでに存在している集計タイミングの集計ブロックには変更することはできません。つまり、総集計行がすでに定義されている状態で何かのキー集計行を総集計行に変更するといったことはできません。

[OK] ボタンをクリックすると集計ブロックの設定が変更されます。

20-6. 集計対象項目を変更する

集計値として設定されたセルを別のデータの集計値に変更したい場合は、まず、そのセルをダブルクリックして「セルの設定」ダイアログを表示させます。

図：セルの設定ダイアログ

[表示内容] の [集計設定] ボタンをクリックすると「集計設定」ダイアログが表示されます。

図：集計設定ダイアログ

[集計対象項目] がそのセルに出力される集計項目なので、これを変更することでそのセルに出力される集計値を別の項目に変更することができます。同様に [出力設定] を変更すればキー集計行に総集計値を出力させることもできます。[集計種別] を変更すれば、合計値として定義されたセルを平均値に変更することもできます。

図：セルが平均値に変更される

XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX
	合計	AVG

20-7. 集計行をページ内に収める

集計ブロックがページの領域（終端位置ガイド線）から1行だけ溢れる場合、その集計ブロック全体が次のページに送られてしまいます。

図：集計ブロックが次のページに送られる

10110	バ'ワコデ'ス'	5	32,800	164,000
10101	バ'ワコデ'ス'	10	59,800	598,000
10102	バ'ワコデ'ス'	10	36,800	368,000
合計				1,130,000

No.	日付: 20			
コード	品名	数量	単価	金額
合計				15,052,000

このとき、1行程度のオーバーであれば次のページには送らずにそのページ内に強引に押し込んで出力させることができます。

図：集計ブロックをページ内に押し込む

10102	バ'ワコデ'ス'	10	36,800	368,000
10110	バ'ワコデ'ス'	5	32,800	164,000
10101	バ'ワコデ'ス'	10	59,800	598,000
10102	バ'ワコデ'ス'	10	36,800	368,000
合計				1,518,000

この機能を有効にするためには、まず、表オブジェクトの左上にあるプロパティボタンをダブルクリックして表オブジェクトのプロパティダイアログを表示させます。そして「形態」タブにある「集計行押し込み」のチェックボックスにチェックを入れます。

図：集計行押し込みにチェックを入れる

セル	キー項目	デザイン	形態	位置
<input type="checkbox"/> 表の行数固定	<input type="checkbox"/> 繰り返し表			
<input checked="" type="checkbox"/> 集計行押し込み	キー: コード(レコードブロック)_001			
<input type="checkbox"/> 空データのレコードをスキップ	表の間隔: 1行			

必要な設定は以上です。この設定により前述したように集計ブロックが1行だけ溢れる場合はそのページ内に出力されるようになります。

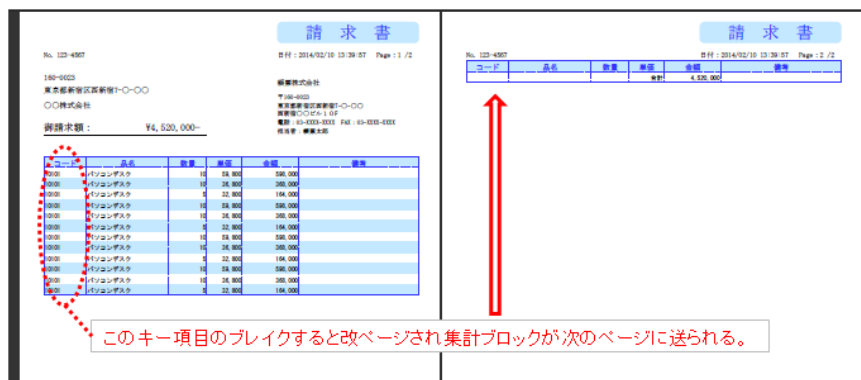
この設定は集計ブロックのみに有効な設定です。また、この設定は全ての集計ブロックに共通のもので、集計ブロックごとに設定の有効・無効を指定することはできません。

20-8. 集計行をページ内に収める（キーブレイク改ページ）

「キーブレイクで改ページ」が設定されたキー項目が存在すると、以下の集計ブロックは次のページに送られてしまいます。

- ・ 総集計ブロック
- ・ 優先順位の低いキーがキーブレイクした際の優先順位の高いキーの集計ブロック（優先順位については、「15. キー項目」をご覧ください。）

図：集計ブロックが次のページに送られる



このとき、集計ブロックを次のページに送らず、そのページ内のレコードブロックに続けて出力する事ができます。

この設定を行うには、集計ブロックの右クリックメニューからブロック設定を選択し、ブロック設定ダイアログを表示させます。出力設定の「キーブレイク改ページの前に出力」のチェックボックスにチェックを入れます。

図：ブロック設定 - 「キーブレイク改ページの前に出力」



「キーブレイク改ページの前に出力」設定を行った結果は次の様になります。

図：出力結果

請求書

No. 123-4567 日付: 2014/12/10 13:28:07 Page: 1 / 2

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-0-00 〇〇株式会社
御請求額: ¥4,520,000-

領票株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-0-00 〇〇株式会社
東京都目黒区1-0-1 〇〇 電話: 03-XXXX-XXXX FAX: 03-XXXX-XXXX
代表者: 横澤太郎

コード	品名	数量	単価	金額	備考
10101	パソコンデスク	10	18,000	180,000	
10102	パソコンデスク	10	36,000	360,000	
10110	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
10101	パソコンデスク	10	18,000	180,000	
10102	パソコンデスク	10	36,000	360,000	
10101	パソコンデスク	10	18,000	180,000	
10102	パソコンデスク	10	36,000	360,000	
10110	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
10101	パソコンデスク	10	18,000	180,000	
10102	パソコンデスク	10	36,000	360,000	
10101	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
			合計	4,520,000	

20-9. 表の外部に集計値を表示する

表連携機能を使用すると、表オブジェクトの外部にあるテキスト変数に表の集計値を表示させることができます。

図：表の外部に集計値を表示

No. 123-4567 日付: 2008年12月11

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-0-00 〇〇株式会社
御請求額: ¥15,052,000-

領票株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-0-00 〇〇株式会社
東京都目黒区1-0-1 〇〇 F 電話: 03-XXXX-XXXX
担当: 横澤太郎

コード	品名	数量	単価	金額	備考
10101	パソコンデスク	10	59,800	598,000	なし
10102	パソコンデスク	10	36,000	360,000	
10110	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
10101	パソコンデスク	10	59,800	598,000	なし
10102	パソコンデスク	10	36,000	360,000	

表連携機能については、「28. 表連携オブジェクト」をご参照ください。

テキスト変数の「表連携」タブで [表示内容] を [集計値] にすると、その表連携オブジェクトに集計値を出力することができます。

図：表連携タブ

テキスト変数

オブジェクト番号: 011 記述: VText

変数名: AMOUNTCLAIMED

属性 | 配置 | 編集 | 重ね合わせ | 位置 | 表連携 | 非表示 | 小数点一桁

表連携出力設定 表オブジェクト名: DETAILS

出力設定

1ページ目のみ

繰り返し帳票のヘッダ キーにする

最終ページのみ 重複非表示

全ページ キーごと

表示内容

通常マウス

集計値 集計設定...

計算値 計算設定...

適用 OK キャンセル

なお、集計値に設定しても表連携オブジェクトの場合は画面表記が「SUM」「AVG」「CNT」とはならないので注意してください。

20-10. 集計値が表示されないときは

集計値を設定したのに正しく出力されない場合は、以下の原因が考えられます。

集計対象データが数値ではない

数値以外のデータ（例えば「ABC」という文字列）は基本的に「0」として扱います。集計値が「0」になるような場合は、集計対象となっている項目が別の項目になってしまっていないか確認してください。

値が 15 桁を超えた

Create!Form では 15 桁を超える数値を扱うことができません。そのため、集計処理中に 15 桁を超えるような場合はその項目の集計処理を停止し警告を返します。その場合、帳票上の集計項目は空欄で表示されます。

20-11. 空データの扱い

集計対象項目に設定したセルの入力データに空データ（NULL）が含まれる場合、集計設定により扱いが異なります。

合計

空データ（NULL）を 0 として集計します。

平均

[空データを集計する] にチェックを入れた場合、空データ（NULL）を 0 として集計します。
[空データを集計する] にチェックを入れない場合、空データ（NULL）は集計から除外されます。

図：[空データを集計する] 設定

レコード数

[集計対象項目] にセルを選択した場合、空データ（NULL）はカウントされません。
[集計対象項目] が空の場合、空データ（NULL）もカウントされます。

図：[集計対象項目]が空の場合

集計設定

表オブジェクト名: TABLE000

集計対象項目:

出力設定

総集計 ページ集計 キー集計

集計種別

合計 平均 コート数

空データを集計する

OK キャンセル

21. 計算

21-1. 計算機能の概要

表オブジェクトでは、マッピングされたデータや集計値を用いて簡単な四則演算を行い、その計算結果を帳票上に表示することができます。例えば、合計金額の横に税込みの合計金額を表示させる、といったことが表オブジェクト上に計算式を設定するだけで実現できます。

図：計算

10	36,800	368,000
5	32,800	164,000
5	32,800	164,000
	合計	26,510,000
	税込み合計	27,835,500

計算式では四則演算が使用できます。複数の項目を組み合わせた多項式や括弧を用いた計算式が定義できます。

計算式の中で利用可能なデータは以下の3つです。

- ・レコードブロックにマッピングされたデータ
- ・集計値
- ・固定の実数値

<< 注意 >>

表オブジェクトの計算機能で扱える数値の範囲は、整数部分と小数部分合わせて15桁までとなります。計算の処理過程において、扱う値がこの範囲を超える場合、整数部分が16桁以上になるとその計算処理は中止されます。また、整数部分と小数部分を合わせて16桁を超える場合は、全体が15桁に収まるように小数部分が四捨五入されます。このため小数点以下の値を扱う場合、切り上げ切り捨てによる誤差が発生し、意図しない計算結果になる可能性があります。

21-2. 計算式を設定する

計算式はセルの表示設定で指定します。まず、計算式を指定したいセルをダブルクリックし「セルの設定」ダイアログを表示させます。

図：セルの設定ダイアログ

[表示内容] を [計算値] に変更します。

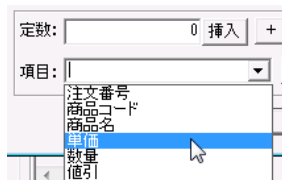
図：計算値を選択

[計算設定] ボタンをクリックすると「計算設定」ダイアログが表示されます。

図：計算設定ダイアログ

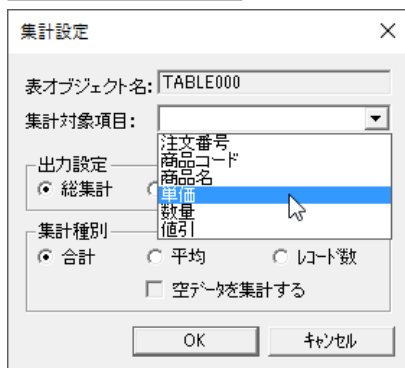
この画面で計算式を編集することができます。[式] の欄に編集している計算式が表示されます。レコードブロックの項目を計算式に使う場合は、[項目] のリストから選択します。

図：項目選択



集計値を計算式に使う場合は、[集計値] ボタンをクリックします。「集計設定」ダイアログが表示されるので、計算に使用したい集計値の設定を行います。

図：集計設定ダイアログ



計算式中に表の集計値を追加すると、次の表のとおり表示されます。

図：計算式中の集計値表示

	総集計	ページ集計	キー集計
合計	SUM_G[表名][セル名]	SUM_P[表名][セル名]	SUM_K[表名][セル名]
平均	AVG_G[表名][セル名]	AVG_P[表名][セル名]	AVG_K[表名][セル名]
平均 (空データを集計するがON)	AVG_NVLO_G[表名][セル名]	AVG_NVLO_P[表名][セル名]	AVG_NVLO_K[表名][セル名]
レコード数	CNT_G[表名][セル名]	CNT_P[表名][セル名]	CNT_K[表名][セル名]

※表中の“表名”は表オブジェクト名、“セル名”は集計対象項目を指します。

図：式を編集 - 集計値



「+」「-」「*」「/」をクリックするとそれぞれの演算子が計算式に追加されます。

図：式を編集 - 演算子

式 SUM_G[DETAILES][金額] + |

固定の数値を入力する場合は、[定数] の欄に値を入力して [挿入] ボタンをクリックします。

図：式を編集 - 定数

式 SUM_G[DETAILES][金額] + (1.05) |

式を修正する場合は、[式] 欄の修正したい場所にカーソルを移動して [Back] ボタンをクリックします。

図：式を編集 - 削除

式 SUM_G[DETAILES][金額];1.05) |

値や演算子の追加は [式] 欄のカーソルがある位置に対して行われます。

図：式を編集 - カーソル位置の編集

式 SUM_G[DETAILES][金額]*;1.05) |

[()] ボタンをクリックすると括弧を用いた計算式を定義することも可能です。

図：式を編集 - 括弧

式 (数量 * 単価) - 値引 |

定義した式を消去して最初からやり直したい場合は、[C] ボタンをクリックすると計算式が消去されます。

図：消去

式

定数: 0 挿入 + - * / ()

項目: 値引 集計値... Back C

21-3. 不正な値での計算

計算式に不正な値が指定されると以下のように処理を行います。

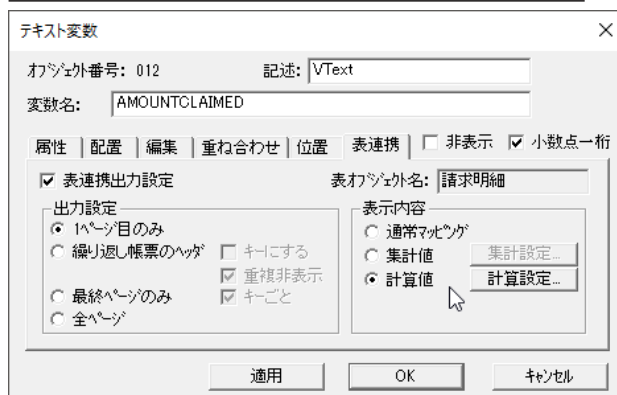
- ・ 計算式で指定された項目の入力データに文字データのような数値ではないデータが存在する場合、エラーになり帳票出力処理自体を停止します。
- ・ 計算機能では、15桁を超えるデータを扱うことはできません。計算処理中に15桁を超える値が発生した場合は計算処理を停止し、帳票上には空欄を表示します。
- ・ 計算処理中に「0」で除算が行われた場合は計算処理を停止し、帳票上には「NaN」と表示します。

21-4. 表の外部に計算値を表示する

表連携機能を使用すると、表の計算値を表オブジェクト外部のテキスト変数に出力することができます。表連携機能の詳細は「28. 表連携オブジェクト」をご参照ください。

テキスト変数のプロパティダイアログ-「表連携」タブで「表示内容」を「計算値」に設定すると、そのテキスト変数には表の計算値が出力されます。「計算設定」ボタンをクリックすると「計算設定」ダイアログが起動しますので、「21-2. 計算式を設定する」と同様に計算式を設定してください。

図：テキスト変数のプロパティダイアログ - 「表連携」タブ



1つの帳票内に複数の表オブジェクトを使用する場合には、それぞれの表の集計値を計算式に含めることも可能です。

21-5. 計算値が表示されないときは

計算値を設定したのに正しく出力されない場合は、以下の原因が考えられます。

計算対象データが数値ではない

数値以外のデータ（例えば「ABC」という文字列）が指定された場合、エラーとなり帳票出力処理を停止します。計算対象となっている項目が別の項目になってしまっていないか確認してください。

値が 15 桁を超えた

Create! Formでは15桁を超える数値を扱うことができません。そのため、計算処理中に15桁を超えるような場合はその項目の計算処理を停止し警告コードを返します。帳票上の計算項目は空欄で表示されます。

ゼロ除算が発生した

計算処理中に「0」による除算が行われた場合、次項の設定によっては、計算処理を停止し警告コードを返します。帳票上の計算項目は「NaN」と表示されます。

21-6. ゼロ除算が発生した際の警告設定

計算処理中に「0」による除算が行われた場合、計算処理を停止し警告コードを返すかどうかの設定を行う事ができます。

設定は、Formエディタのメニューで[ファイル]から[フォーム設定]を実行し、表示された「フォーム設定」ダイアログの「表オブジェクト」タブにある[計算処理において0除算が発生した場合は警告する]チェックボックスにて行います。

図：フォーム設定

フォーム設定

ステータス	用紙サイズ	編集モード	テンプレート
	lpi/cpi	表オブジェクト	Salesforce

行間隔: 12,000 小数点一桁

ガイド

1ページ目の開始位置	50.140
2ページ目以降の開始位置	50.140
最終ページフッタ位置	566.140
終端位置	566.140

データが0件の場合はその表を表示しない
 データが0件の場合は警告する
 計算処理において0除算が発生した場合は警告する

OK キャンセル

[計算処理において0除算が発生した場合は警告する]にチェックを入れると、計算処理を停止し警告コードを返します。(フォームを新規作成した際はこちらが初期設定されています。) チェックを外すと、警告は発生せず処理が継続されます。

ただし、[計算処理において0除算が発生した場合は警告する]の設定に関わらず、帳票上の計算項目は「NaN」と表示されます。

また、これらの設定はフォーム全体に対して行うものであり、表オブジェクト個別に設定することはできません。

22. 自動連番

22-1. 自動連番機能の概要

表オブジェクトでは各明細行に行番号を表示することができます。

図：行番号

No	メーカー/型番	
1	A B C事務機	SSデスクシ
	SS-KD1270G	
2	A B C事務機	SSデスクシ
	SS-RD1470G	
3	A B C事務機	SSデスクシ
	SS-OT1670G	
4	A B C事務機	SSデスクシ
	SS-SW4570G	

このように自動的に番号を表示する機能が自動連番機能です。

自動連番には以下の4つの出力パターンがあります。

- ・ 通常の連番
- ・ 改ページごとに1にリセットされる連番
- ・ 特定のキー項目のキーブレイクで1にリセットされる連番
- ・ 特定のキー項目のキーブレイクごとに値が増加する連番

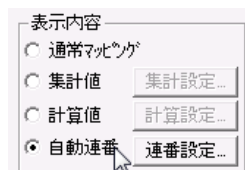
22-2. 自動連番を設定する

自動連番はセルの表示設定で定義します。まず、番号を表示させたいセルをダブルクリックし「セルの設定」ダイアログを表示させます。

図：セルの設定ダイアログ

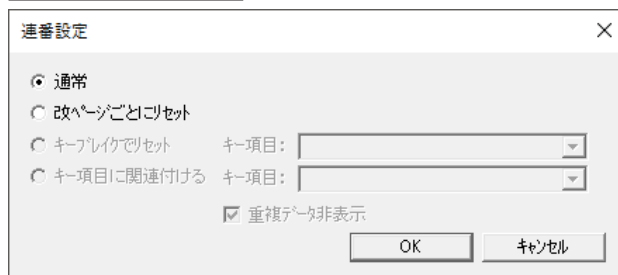
[表示内容] を [自動連番] に変更します。

図：自動連番を選択



[連番設定] ボタンをクリックすると「連番設定」ダイアログが表示されます。

図：連番設定ダイアログ



この画面では自動連番の出力パターンを指定することができます。

22-3. 通常連番

連番設定で [通常] を指定すると、そのセルには連番が出力されます。
この場合の連番は最後までリセットされることなく1ずつ増加していきます。

図：通常連番

ITEM001	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	

22-4. 改ページごとにリセット

連番設定で「改ページごとにリセット」を指定すると、そのセルにはページごとに1にリセットされる連番が出力されます。

図：改ページごとにリセット

	32
	33
	34
	35
	36
	37
	38
	39

ITEM005	
1	
2	
3	
4	
5	
6	

22-5. キーブレイクでリセット

連番設定で「キーブレイクでリセット」を指定して「キー項目」の選択リストから関連付けるキー項目を選択すると、そのセルにはキーブレイクごとに1にリセットされる連番が出力されます。

図：キーブレイクでリセット

ITEM002	
1	東京
2	
3	
4	
5	
6	
7	
1	大阪
2	
3	
4	
5	

22-6. キー項目に関連付ける

連番設定で「キー項目に関連付ける」を指定して「キー項目」の選択リストから関連付けるキー項目を選択すると、そのセルにはキーブレイクごとに1ずつ増加する連番が出力されます。

図：キー項目に関連付ける

	ITEM002
1	東京
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
2	大阪
2	
2	
2	
2	

[重複データを非表示] を設定すると、キーブレイクごとの先頭行のみに連番が出力されます。この際、セルの罫線「上」は自動的に「なし」に設定されます。罫線を出力したい場合は、セルのプロパティ「罫線」から「上」線を改めて設定して下さい。

図：キー項目に関連付ける

	ITEM002
1	東京
2	大阪

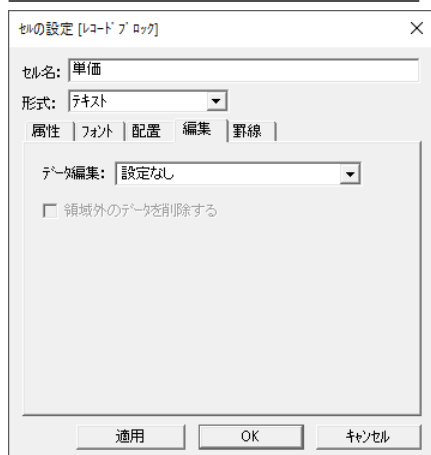
23. データ編集

数値を3桁ごとにカンマで区切って表示したいような場合は「データ編集」機能を使用します。表オブジェクトで使用可能なデータ編集機能はテキスト変数オブジェクトに対して使用できるデータ編集機能と同じものです。データ編集の設定は、以下のいずれかの操作を行い「セルの設定」ダイアログを表示させます。

- ・セルをダブルクリック
- ・セルを選択して右クリックし、コンテキストメニューから「セルの設定」を選択

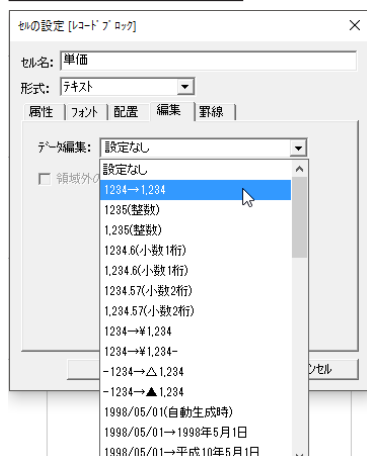
セルの設定ダイアログで「編集」タブをクリックします。

図：セルの設定ダイアログ - 「編集」タブ



データ編集はマッピングするセルか集計値、計算値が指定された項目に設定することができます。各セルにある「編集」タブの「データ編集」項目をクリックすると、選択可能な編集コマンドがプルダウンメニューで表示されます。ここから適用したい編集コマンドを選択します。3桁ごとのカンマ区切りであれば、「1234 → 1,234」等を選択します。

図：編集コマンドの選択



この設定により、その項目にデータ編集処理が適用されて帳票上に出力されるようになります。

図：出力結果

合計	26,510,000
税込み合計	27,835,500

その他、データ編集機能に関する詳細はマネージャのメニュー [ヘルプ] - [オンラインマニュアル] から 「3. 機能リファレンス」 - 「3.4 集計値の表示とデータ編集」 - 「データ編集」 をご覧ください。

24. 網掛け

24-1. 網掛け機能の概要

行の背景色を一定の間隔で塗りつぶす機能が「網掛け」機能です。

図：網掛け

コード	品名	数量	単価
10101	パソコンデスク	10	59,800
10102	パソコンデスク	10	36,800
10110	パソコンデスク	5	32,800
10101	パソコンデスク	10	59,800
10102	パソコンデスク	10	36,800
10110	パソコンデスク	5	32,800
10101	パソコンデスク	10	59,800
10102	パソコンデスク	10	36,800
10110	パソコンデスク	5	32,800
10101	パソコンデスク	10	59,800
10102	パソコンデスク	10	36,800
10110	パソコンデスク	5	32,800
10205	OAチェア	20	39,800
10205	OAチェア	20	39,800

24-2. 網掛けを有効にする

網掛けを設定するためには、表オブジェクトのプロパティダイアログにある「デザイン」タブで「網掛け」のチェックボックスにチェックを入れます。

図：網掛けをチェック

セル	キー項目	デザイン	形態
<input checked="" type="checkbox"/>	網掛け		
	網掛け行数:	<input type="text" value="1"/>	行

この設定により網掛けされた表が出力されるようになります。

24-3. 網掛けの間隔を設定する

初期状態では網掛けは1行おきに適用されます。

図：初期状態の網掛け

コード	品名	数量	単価
10101	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	59.8
10102	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	36.8
10110	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	5	32.8
10101	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	59.8
10102	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	36.8
10110	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	5	32.8
10101	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	59.8
10102	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	36.8
10110	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	5	32.8
10101	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	59.8

この間隔は任意に変更することができます。

図：網掛け設定画面

セル | キー項目 | デザイン | 形態 | 位置 |

網掛け

網掛け行数: 行 間隔: 行 色: ...

先頭行を網掛けにする コード単位で網掛けにする

網掛けの間隔は、網掛け設定の以下の項目で変更できます。

網掛け行数

背景を塗りつぶす行数

間隔

塗りつぶされる行と次の塗りつぶされる行の間の行数

先頭行を網掛けにする

塗りつぶす行から開始するかどうか

図：網掛けの間隔 (2行の場合)

コード	品名	数量	単価
10101	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	59.8
10102	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	36.8
10110	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	5	32.8
10101	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	59.8
10102	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	36.8
10110	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	5	32.8
10101	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	59.8
10102	ﾊﾞﾝｺﾝﾃﾞｽｸ	10	36.8

[先頭行を網掛けにする]のチェックを外すと、[間隔]で指定された行数の次の行から網掛けが適用されるようになります。

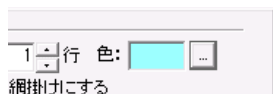
図：先頭行を網掛けにしない場合

コード	品名	数量	単価
10101	パソコンデスク	10	59.
10102	パソコンデスク	10	36.
10110	パソコンデスク	5	32.
10101	パソコンデスク	10	59.
10102	パソコンデスク	10	36.
10110	パソコンデスク	5	32.
10101	パソコンデスク	10	59.
10102	パソコンデスク	10	36.

24-4. 網掛けの色を設定する

網掛けで使用される背景色を変更するには、網掛け設定の [色] のボタンをクリックして使用する色を選択します。

図：網掛けの色ボタン



24-5. レコード単位で網掛けにする

自動改行を設定した場合、入力データの内容によって改行が発生し、1レコードとして出力される行数が異なります。

同一レコード内で網掛けの背景色をそろえたい場合は、[レコード単位で網掛けにする] にチェックを入れてください。

図：レコード単位網掛け設定画面



図：レコード単位網掛けを設定した場合

コード	品名	数量	単価	金額	備考
10401	パソコンデスク	10	59,800	598,000	
10402	パソコンデスク	10	36,800	368,000	
10410	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
11301	事務机	10	59,800	598,000	
11302	事務机	10	36,800	368,000	
11310	事務机	5	32,800	164,000	2004年4月1日から2006年12月31までの価格。付属品：鉛筆立て、スタンドライト
13205	OAチェア	20	39,800	796,000	
10501	事務机両キャビネット	10	59,800	598,000	
10502	事務机両キャビネット	10	36,800	368,000	
20101	キャビネット	10	59,800	598,000	

[レコード単位で網掛けにする] にチェックを入れた場合、[網掛け行数] と [間隔] に設定する数値は、見かけ上の行数ではなく、入力データのレコード行数となります。

24-6. 集計ブロックにも網掛けを適用する

網掛けの設定は基本的にはレコードブロックの行にのみ適用され、集計ブロックやキータイトルブロックの行には適用されません。

図：集計行は網掛けが適用されない

10	36,800	368,000
5	32,800	164,000
5	32,800	164,000
	合計	26,510,000
	税込み合計	27,835,500

集計ブロックやキータイトルブロックの「ブロックの設定」ダイアログにある〔網掛け対象〕のチェックボックスにチェックを入れるとそのブロックの行も網掛けの適用対象となります。

図：集計ブロックの網掛け対象をチェック

ブロックの設定 ×

ブロックの種類: 集計ブロック

出力設定

総集計

キー集計 キー: 注文番号

キーレイアウト改ページの前に出力

空行設定

ブロック出力前 1 行 空データ 空白

ブロック出力後 1 行 空データ 空白

表の行数固定

最終レコードに続けて出力

表の終端位置に出力

網掛け対象

OK キャンセル

図：設定後の出力イメージ

10	36,800	368,000
10	36,800	368,000
5	32,800	164,000
5	32,800	164,000
	合計	26,510,000
	税込み合計	27,835,500

この設定はブロックごとに行うことができます。

25. 空行

25-1. 空行機能の概要

集計行の前後に 1 行分の空白を入れたい、といった場合は「空行」を設定をします。

図：集計行の前後を 1 行あける

ソーブアイシク (6個)	15	1200	18000
ドミソブディング (10個)	10	500	5000
フルーツ盛り合わせ	2	7500	15000
スクメロン (中球)	2	6000	12000
みかん	50	120	6000
日付別集計			397800
トアソルティ (8個)	10	630	6300
ンシェオショコラ (5個)	35	900	31500
ニマセット (5個)	20	500	10000
レトナー (4)	10	1000	10000

空行として出力されるものには以下の 2 種類があります。

空データ

データのない罫線だけのレコードブロックを 1 レコード分出力する

空白

何もない完全な空欄を 1 行分出力する

図：空データと空白

ジーブディング (5個)	15	1200	18000
ドミソブディング (10個)	10	500	5000
フルーツ盛り合わせ	2	7500	15000
スクメロン (中球)	2	6000	12000
みかん	50	120	6000
日付別集計			397800
トアソルティ (8個)	10	630	6300
ンシェオショコラ (5個)	35	900	31500
ニマセット (5個)	20	500	10000

← 空レコード

← 空白

この「空行」はレコードブロック以外の全てのブロックに対して設定することができます。また、出力する行数も指定することができます。

図：空レコードを 3 行出力

ジーブディング (5個)	15	1200	18000
ドミソブディング (10個)	10	500	5000
フルーツ盛り合わせ	2	7500	15000
スクメロン (中球)	2	6000	12000
みかん	50	120	6000
日付別集計			397800
トアソルティ (8個)	10	630	6300
ンシェオショコラ (5個)	35	900	31500
ニマセット (5個)	20	500	10000

ただし、空行は次のページに繰り越されません。例えば、集計ブロックに対して 5 行指定された空行が 2 行出力されたところでページの終端に達した場合、残りの 3 行分の空行は出力されず消滅します。次のページの先頭には空行ではなく次のブロックが出力されます。

26. 繰り返し表

26-1. 繰り返し表の概要

「繰り返し表」は表オブジェクトがターゲットとしている帳票出力パターンの一つで、表全体をキー項目でグルーピングして繰り返し出力するタイプの帳票です。表自体にキー項目を割り当てることによって、そのキー項目がキーブレイクするごとに表を切り替えて出力します。例えば、日付ごとの集計表を作成し、全日付の表を一つの帳票に出力する場合が当てはまります。

図：キーブレイク（日付）ごとに繰り返す表

日付	商品コード	商品名	数量	単価	金額	備考
2006/11/6	SET-CAK-0002	プチガトーアソルティ (8個)	10	630	6300	
	SET-CAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)	35	900	31500	
	SET-CAK-0006	マドレーヌセット (5個)	20	500	10000	
	SIN-CAK-0003	ガトービレネー (S)	10	1000	10000	
	SIN-CAK-0004	ガトービレネー (M)	10	1600	16000	
	SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)	20	1200	24000	
	SET-DES-0023	カスタードミソブディング (10個)	1	500	500	
	SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ	3	7500	22500	箱詰めセット
	SIN-FRU-0005	特選マスクメロン (中球)	5	6000	30000	保護ケース付き
	SIN-FRU-0102	フィリピン産マンゴー	50	250	12500	保護ケース付き
		合計			163300	

日付	商品コード	商品名	数量	単価	金額	備考
2006/11/7	SET-CAK-0002	プチガトーアソルティ (8個)	10	630	6300	
	SET-CAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)	35	900	31500	
	SET-CAK-0006	マドレーヌセット (5個)	20	500	10000	
	SIN-CAK-0003	ガトービレネー (S)	10	1000	10000	
	SIN-CAK-0004	ガトービレネー (M)	10	1600	16000	
	SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)	20	1200	24000	
	SET-DES-0023	カスタードミソブディング (10個)	1	500	500	
	SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ	3	7500	22500	かご盛り
	SIN-FRU-0005	特選マスクメロン (中球)	5	6000	30000	保護ケース付き
	SIN-FRU-0102	フィリピン産マンゴー	50	250	12500	保護ケース付き
	SIN-FRU-0005	特選マスクメロン (中球)	5	6000	30000	
	SIN-FRU-0102	フィリピン産マンゴー	50	250	12500	
	SET-CAK-0001	タルトアンサンブル (10個)	20	1500	30000	
	SET-CAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)	40	900	36000	
		合計			271800	

26-2. 繰り返し表のキー項目を指定する

繰り返し表を定義するためには、表を繰り返すための基準となるキー項目を指定する必要があります。

繰り返し表のキー項目を指定するには、まず、表オブジェクトの左上にあるプロパティボタンをダブルクリックして表オブジェクトのプロパティダイアログを表示します。

図：プロパティダイアログ

表

お号外番号: 003 記述: 取引先別見積明細票

変数名: REPEATTABLE

セル | キー項目 | デザイン | 形態 | 位置

表の行数固定

集計行押し込み

空データのレコードをスキップ

レコードのまとめ出力

繰り返し表

キー: 見種No

表の間隔: 2 行

キータイトルをヘッダ先頭にも出力

適用 OK キャンセル

「形態」タブの「繰り返し表」のチェックボックスにチェックを入れます。[キー]から繰り返し表のキー項目にするセルを選択します。

<< 注意 >>

繰り返し表のキーとして選択可能なセルは、レコードブロックとタイトルブロックにあるマッピング可能なセルのみです。

図：キーを選択

セル | キー項目 | デザイン | 形態 | 位置

表の行数固定

集計行押し込み

空データのレコードをスキップ

レコードのまとめ出力

繰り返し表

キー: 見種No

表の間隔: 2 行

キータイトルをヘッダ先頭にも出力

日付

見種No

取引先コード

取引先名

この設定を行うことで、ここで指定されたキー項目でキーブレイクが発生するごとに表が切り替わって出力されます。

また、すでにラベルブロックの上にタイトルブロックがある状態で、もう一つラベルブロックの上のタイトルブロックを追加すると、2つ目に追加したタイトルブロックが自動的に繰り返し表のキー項目になり、その表は繰り返し表になります。

図：2つ目のタイトルブロックを追加

XXXXXX			
●XXXX			
日付	取引先名	商品	
●XXXX	●XXXX	XXXX	
		XXXX	
		XXXX	

表オブジェクトのプロパティダイアログの「形態」タブで確認すると、新規に追加したタイトルブロックのセルが繰り返し表の [キー] に設定されていることが確認できます。

図：キーに設定されている

繰り返し表
 キー: ITEM001(タイトルブロック)_050

26-3. 表の間隔を指定する

繰り返し表のそれぞれの表の間隔は行単位で指定することができます。

図：表の間隔

SET-DES-0007	クリーミープリン (5個)
SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)
SET-DES-0023	カスタードミソブディング (10個)
SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ
SIN-FRU-0005	特選マスクメロン (中球)
SIN-FRU-0113	愛媛産みかん

日付	商品コード	商品名
2006/11/7	SET-CAK-0002	プチガトーアソルティ (8個)
	SET-CAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)
	SET-CAK-0006	マドレーヌセット (5個)
	SIN-CAK-0003	ガトービレネー (S)

← 表の間隔

初期状態では「1行」が指定されていますが、これを変更するには、表オブジェクトのプロパティダイアログの「形態」タブで [繰り返し表] の [表の間隔] を変更します。

図：表の間隔を変更

繰り返し表
 キー: ITEM001(タイトルブロック)_050
 表の間隔: 3 行

この設定により表の間隔が変更されます。

図：出カイメージ

SET-DES-0007	クリーミープリン (5個)
SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)
SET-DES-0023	カスタードミソブディング (10個)
SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ
SIN-FRU-0005	特選マスクメロン (中球)
SIN-FRU-0113	愛媛産みかん

日付	商品コード	商品名
2006/11/7	SET-CAK-0002	プチガトーアソルティ (8個)
	SET-CAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)
	SET-CAK-0006	マドレーヌセット (5個)
	SIN-CAK-0003	ガトービレネー (S)

27. 複合表

27-1. 複合表の概要

表オブジェクトは一つのFormファイルの中で複数定義することができます。複数の表オブジェクトを用いて出力する帳票パターンを「複合表」といいます。

図：複合表

お取引総合レポート						
〒190-0022 東京都新宿区西新宿1-0-00 株式会社〇〇						
お預り資産/お借入れ残高明細		2006/11/9	横浜	お取引先 〇〇株式会社 振替口座 〇〇-〇〇-〇〇〇〇	お預り資産 100,000	
◆お預り資産						
◆流動性預金						
種別	口座番号	お預り残高	お借入れ	借入日	借入方法	借入元
普通預金	1234567	¥100,000			振込	〇〇株式会社
普通預金	7654321	¥50,000			振込	〇〇株式会社
普通預金	9876543	¥20,000			振込	〇〇株式会社
普通預金	3456789	¥80,000			振込	〇〇株式会社
普通預金	2109876	¥30,000			振込	〇〇株式会社
普通預金	8765432	¥100,000			振込	〇〇株式会社
普通預金	6543210	¥50,000			振込	〇〇株式会社
お借入れ	9876543	¥5,000,000			借入	〇〇株式会社
お借入れ	5432109	¥2,000,000			借入	〇〇株式会社
合計		¥1,100,000				
◆定期性預金						
種別	口座番号	お預り残高	お借入れ	借入日	借入方法	借入元
パワフル定期	1234567	¥600,000			借入	〇〇株式会社
パワフル定期	7654321	¥1,000,000			借入	〇〇株式会社
パワフル定期	9876543	¥500,000			借入	〇〇株式会社
パワフル定期	3456789	¥1,500,000			借入	〇〇株式会社
合計		¥3,600,000				
◆外貨定期預金						
種別	口座番号	お預り残高(円換)	お借入れ	借入日	借入方法	借入元
外貨定期預金	1234567	¥1,100,000	USD	0.0091	借入	〇〇株式会社
外貨定期預金	7654321	¥2,000,000	EUR	0.0079	借入	〇〇株式会社
外貨定期預金	9876543	¥300,000	GBP	0.0079	借入	〇〇株式会社
合計		¥4,400,000				
◆投資信託						
ファンド名	評価金額	評価損益	数量	評価単価	注: 〇〇円	
フューチャード	¥10,000,000	1,000,000	100,000	¥100	(17%)	
グローバル・セレクト・ファンド	¥5,000,000	100,000	50,000	¥100	(17%)	
アセット・マネジメント	¥2,000,000	-200,000	50,000	¥400	(17%)	
マダモット・成長ファンド	¥10,000,000	1,000,000	100,000	¥100	(17%)	
成長インテグリティ	¥5,000,000	100,000	50,000	¥100	(17%)	
成長インテグリティ	¥5,000,000	100,000	50,000	¥100	(17%)	
グローバル・アセット	¥10,000,000	1,000,000	100,000	¥100	(17%)	
合計	¥40,000,000	4,000,000	4,000,000	¥100	(17%)	

表オブジェクトが複数ある場合は、まずは最初の表オブジェクトだけを出し、最初の表オブジェクトの出力が終了したら以降に定義した表オブジェクトを順番に出力します。

図：複合表は順番に出力される

お取引総合レポート			
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-〇-〇〇 株式会社〇〇			
お預り資産/お借入れ残高明細		2006/11/8	現在
＜お預り資産＞			
◆定期性預金			
種別	口座・記号番号	お預り金額	
普通預金	1234567	¥700,000	
普通預金	2345678	¥1,200,000	
普通預金	3456789	¥200,000	
普通預金	4567890	¥400,000	
普通預金	5678901	¥300,000	
普通預金	6789012	¥200,000	
普通預金	7890123	¥100,000	
定期預金	8901234	¥1,500,000	
貯蓄預金	9012345	¥3,000,000	
合計		¥6,100,000	
◆定期性預金			
種別	口座・記号番号	お預り金額	
パワフル定期	1234567	¥800,000	
パワフル定期	1234567	¥1,000,000	
パワフル定期	1234567	¥1,500,000	
合計		¥3,300,000	
◆外貨定期預金			
種別	口座・記号番号	お預り金額(円換)	通貨種類
	種別	お預り金額(外貨)	通貨レポート
新設外貨定期預金	1234567	¥1,100,000	USD
	0.0091	10,000	110.01
新設外貨定期預金	1234567	¥2,300,000	EUR
	0.0079	20,000	100.02
合計		¥4,400,000	40,000

表1

表2

表3

27-2. 表オブジェクトを追加する

複合表の帳票を定義するには表オブジェクトを必要なだけ追加します。

2つ目以降の表オブジェクトを追加する場合、フォーム上のどの位置に配置しても必ず最後に追加した表の下に配置されます。

※表オブジェクトは15まで追加可能です。

図：表オブジェクト追加

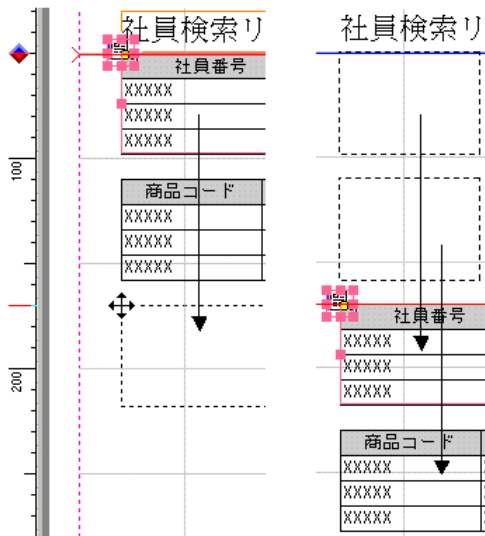
社員検索リスト（一般用）					
社員番号	名前	所属	役職	入社年月日	
XXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	

商品コード	商品名	金額
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

どこに配置しても
前の表オブジェクト
の下に配置される

追加された表オブジェクトは、一番上にある最初の表オブジェクトのすぐ下に配置されます。最初の表オブジェクトを上下に移動するとそれにあわせて下の表オブジェクトも上下に移動します。

図：複合表は一緒に移動する



表オブジェクトを追加していくと、表オブジェクトの有効領域（1 ページ目の開始位置と終端位置の間の領域）を超える場合があります。

このとき、終端位置のガイド線を超えている部分が薄い黄色の背景色で表示されます。これは「表伸張モード」という機能です。表伸張モードについては「4-5. ガイド線」をご覧ください。

27-3. 表と表の間の処理を指定する

表と表の間には任意の行数の間隔、あるいは改ページ処理を設定することができます。表オブジェクトの間隔は初期値として 1 行が設定されます。

図：表間隔

社員番号	名前		
XXXXXX	XXXXXX		XX
XXXXXX	XXXXXX		XX
XXXXXX	XXXXXX		XX

商品コード	商品名	金額	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	

表間隔

この間隔を変更するには、上の表オブジェクトの左上にあるプロパティボタンをダブルクリックし、表オブジェクトのプロパティダイアログを表示させます。

図：位置タブ

「位置」タブにある「表の間隔」を任意の行数に変更します。

図：表の間隔を変更

[OK] ボタンをクリックすると表の間隔が変更され、画面上にも反映されます。

図：画面上に反映される

社員番号	名前
XXXXX	XXXXXX
XXXXX	XXXXXX
XXXXX	XXXXXX

商品コード	商品名	金額
XXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXX	XXXXXX	XXXXXX

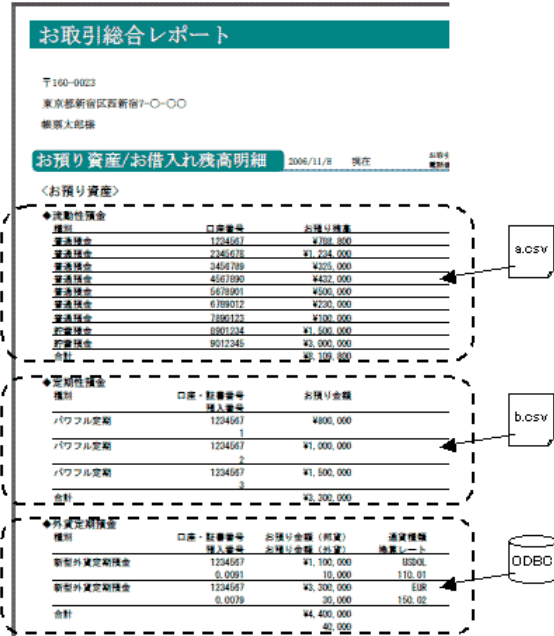
また、表が切り替わるタイミングでページも切り替えたい場合は、表オブジェクトのプロパティダイアログの「位置」タブにある「表間での改ページ」のチェックを有効にします。

図：表間での改ページ

27-4. 表オブジェクトごとにデータをマッピングする

複合表の各表オブジェクトにはマルチデータソース機能を利用してそれぞれ別の入力データをマッピングすることができます。

図：マッピングイメージ



通常のマルチデータソースを用いた帳票と同じようにデータソースごとにデータマップファイルを作成します。手順は通常のマルチデータソースと同じです。マルチデータソース機能については、マネージャのメニュー[ヘルプ]-[オンラインマニュアル]から「3. 機能リファレンス」-「3.5 改ページとフォームの切り替え」-「マルチデータソース」をご覧ください。

ここでは例として2つの表オブジェクトを配置し、データソースとしてCSVとDBを使用する場合について説明します。

図：表が2つ登録されているフォーム

＜お預り資産＞						
◆流動性預金						
種別	口座番号	お預り残高		口座開設日		
XXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX			XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX			XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX			XXXXXX
合計			SUM			
◆定期性預金						
種別	口座・証書番号 預入番号	お預り金額		年利率 預入期間	預入日 満期日	継続方法 税区分
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
合計			SUM			

まず、最初の表オブジェクトに対してCSV ファイルをマッピングします。マネージャ上から Form ファイルと CSV ファイルを選択して CSV データマップの設定を行います。

図：CSV Datamap エディタ

実数名	種別	属性	行	項目番号	行数	項目数	ヘッダ出力範囲	集計	重複表示
RYUJUDOU	表				3	1	66		7
TEIKI									

実数名	ヘッダ情報	郵便番号	住所	社名	流動性預金	種類	口座番号	お預り種高	口座開設日
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	1234567	788800	2000/12/15				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	2345678	1234000	1985/10/25				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	3456789	325000	1999/3/19				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	4567890	432000	2001/2/9				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	5678901	500000	2003/7/20				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	6789012	230000	2003/12/13				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	7890123	100000	2005/6/10				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	貯蓄預金	8901234	1500000	2003/1/30				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	貯蓄預金	9012345	3000000	2006/4/30				

変数名リストには表オブジェクト 2 つと表オブジェクト以外の変数が表示されています。最初の表オブジェクトをマッピングします。

図：最初の表をマッピング

変数名(V)	種別(T)	属性(Z)	行(L)	項目番号(D)	行数(P)	項目数(N)	ヘッダ出力範囲(H)	集計(S)	重複表示(R)
RYUJUDOU	表		3	1	66	7			

変数名	ヘッダ情報	郵便番号	住所	社名	流動性預金	種類	口座番号	お預り種高	口座開設日
RYUJUDOU	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	1234567	788800	2000/12/15				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	2345678	1234000	1985/10/25				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	3456789	325000	1999/3/19				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	4567890	432000	2001/2/9				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	5678901	500000	2003/7/20				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	6789012	230000	2003/12/13				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	普通預金	7890123	100000	2005/6/10				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	貯蓄預金	8901234	1500000	2003/1/30				
180-0023	東京都新宿区西横須大郎様	貯蓄預金	9012345	3000000	2006/4/30				

2 つ目の表オブジェクトをマッピングせずに Datamap ファイルを保存すると、「未定義変数の保存」ダイアログが起動しますので、[未定義変数を破棄する]を選択してください。

続いて 2 つ目の表オブジェクトを DB にマッピングします。

マネージャで以下の操作を行いジョブユニットに Datamap ファイルを追加します。

◆◆ 操作 ◆◆

- マネージャのツールボタン [ジョブ詳細] をクリックし、表示モードを「ジョブ詳細」に切り替えます。
- [ジョブユニット作成] ボタンをクリックします。
- ダイアログ内の [複合表・マルチデータソース] のラジオボタンをクリックし、[データマップファイル名] に "MultiTable_Teiki" と入力します。
- [OK] ボタンをクリックします。

図：ジョブユニットの作成ダイアログ

ジョブユニットに Datamap ファイルが追加されます。

追加された Datamap ファイルに対して、DB 形式として先ほどと同様に 2 つ目の表のデータマッピング作業を行ってください。

図：2 つ目の表をマッピング

カレフォルド番号	1	2	3	
カレフォルド名	籍別	口座・証書番号	お預け金額	年利
	1) パワフル定期	1234567.0	8000000.0	
	2) パワフル定期	1234567.0	10000000.0	
	3) パワフル定期	1234567.0	15000000.0	

フォーム表数	TEIKI
カレフォルド番号	1-10
テーブル名	表
非表示	<input type="checkbox"/>
重複非表示	-
集計	-
キーブレイク	-

Datamap ファイルを保存し、Datamap エディタを終了します。

帳票出力の際は、通常のマルチデータソースと同じようにそれぞれのデータマップに CSV ファイルと DB を割り当てて実行します。

図：データソースを割り当てて実行

図：出力結果

お預り資産/お借入れ残高明細

<お預り資産>

◆流動性預金

種別	口座番号	お預り残高	口座開設日
普通預金	1234567	788,800	2000/12/15
普通預金	2345678	1,234,000	1995/10/25
普通預金	3456789	325,000	1998/3/19
普通預金	4567890	432,000	2001/2/9
普通預金	5678901	500,000	2003/7/20
普通預金	6789012	230,000	2003/12/13
普通預金	7890123	100,000	2005/6/10
貯蓄預金	8901234	1,500,000	2003/1/30
貯蓄預金	9012345	3,000,000	2006/4/30
合計		8,109,800	

◆定期性預金

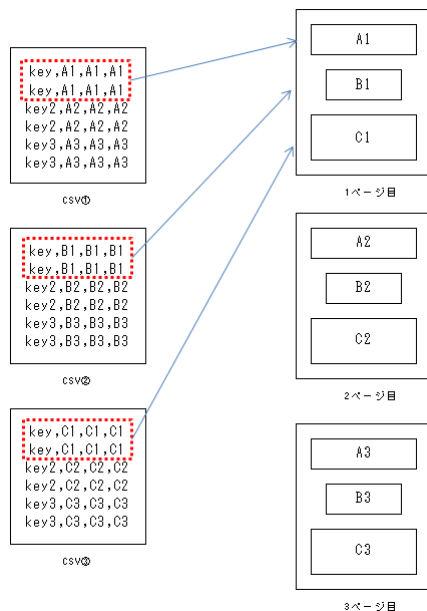
種別	口座・証券番号		お預り金額	年利率	預入日	継続方法
	預入番号	預入期間				
パワフル定期	1234567		800,000	0.0005	2006/8/10	元利継続
	1	3ヶ月				
パワフル定期	1234567		1,000,000	0.0008	2006/9/1	元利継続
	2	1年				
パワフル定期	1234567		1,500,000	0.0008	2006/12/20	元利継続
	3	1年			2007/12/20	分離課税
合計			3,300,000			

27-5. 複合表の繰り返しパターン出力

複合表として定義された表のセット全体を特定のキー項目によって繰り返して出力することができます。

例えば、A、B、Cという3つの表オブジェクトから構成される複合表は、通常「A → B → C」と順番に出力されて終了しますが、これをデータのキー項目によって「A → B → C → A → B → C → …」と順序に繰り返して出力することができます。

図：出力イメージ（1項目目をキー項目とする）



CSV ①～CSV ③の一つ目のキー（key1）のデータを利用して1ページ目が出力されます。

同様に、二つ目のキー（key2）のデータを利用して2ページ目、三つ目のキー（key3）のデータを利用して3ページ目が出力されます。

この出力パターンを実現するためには、各表オブジェクトに「複合表の繰り返しキー項目」を定義する必要があります。

<< 注意 >>

複合表繰り返しキー項目を設定した場合、複合表の繰り返しのタイミングで改ページが発生します。

複合表の繰り返しキー項目は、Datamap ファイルの詳細マッピング画面で設定します。

図：詳細マッピング

表の項目名	データ属性	カラム名
POSTCODE	テキスト(表連携)	※行目1項目
ADDRESS	テキスト(表連携)	※行目2項目
NAME	テキスト(表連携)	※行目3項目
種別(コードブック) 001	テキスト	※行目4項目
口座番号(コードブック) 002	テキスト	※行目5項目
お預り残高(コードブック) 003	テキスト	※行目6項目
口座開設日(コードブック) 004	テキスト	※行目7項目
お預り残高(集計ブック) 012	テキスト(集計)	設定なし

一括設定
項目移動: + -

複合表繰り返しキー項目: [選択リスト]

選択リストの項目: ※行目1項目, ※行目2項目, ※行目3項目, ※行目4項目, ※行目5項目, ※行目6項目, ※行目7項目, ※行目8項目

フォームが複合表の場合は画面左下の「複合表繰り返しキー項目」の選択リストが有効になります。ここで繰り返しのキーとなるデータ項目を選択します。なお、マッピング範囲外のデータも指定することが可能です。

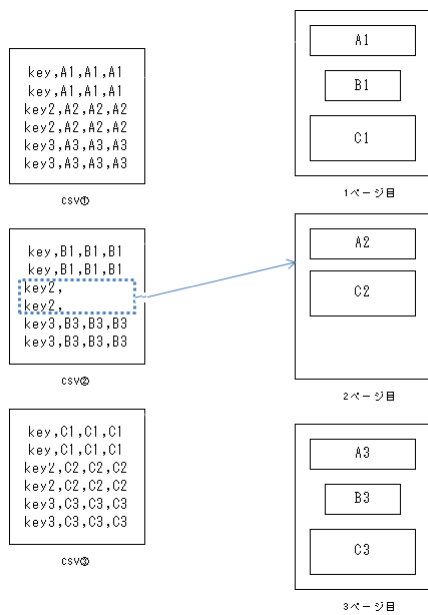
ここで指定した項目のデータの繰り返しパターンに従って表オブジェクトも繰り返し出力されます。

繰り返しキー項目は全ての表オブジェクトに対して個別に設定を行う必要があります。

キー項目のスキップ

「複合表の繰り返しキー項目」に設定したキーのデータが空データ（キーのみのデータ）とすることで、その表オブジェクトを表示しない事が可能です。

図：出カイメージ（キー項目のスキップ）



28. 表連携オブジェクト

28-1. 表連携オブジェクトの概要

以下のオブジェクトは「表連携」を設定することで、表オブジェクトと連動してデータを入力させることができます。

[変数オブジェクト]

- ・テキスト変数
- ・バーコード変数
- ・イメージ変数
- ・ページ変数
- ・二次元コード変数

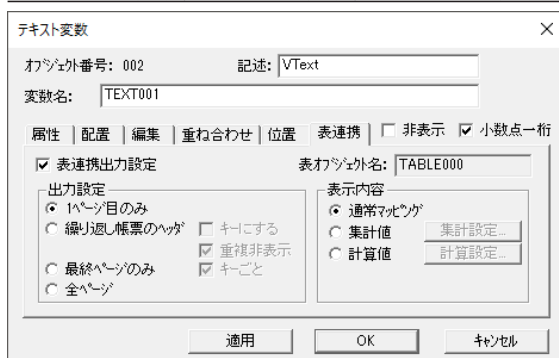
[固定オブジェクト]

- ・テキスト
- ・直線
- ・四角形
- ・楕円
- ・罫線
- ・イメージ

例えば、表の中で集計したデータを別のテキスト変数に出力させたい場合、テキスト変数を表連携出力設定することで実現できます。

オブジェクトを表連携オブジェクトとして設定するには、オブジェクトをダブルクリックして表示されるプロパティダイアログで、「表連携」タブを表示し「表連携出力設定」のチェックボックスにチェックを入れます。

図：テキスト変数 / バーコード変数 / 二次元コード変数のプロパティダイアログ - 「表連携」タブ



「表連携」タブの設定内容はオブジェクトの種類によって異なります。

図：イメージ変数のプロパティダイアログ - 「表連携」タブ

イメージ変数

ウィジェット番号: 003 記述: VImage

変数名: IMAGE000

表示 | 重ね合わせ | 位置 | 表連携 | 透かし | 小数点一桁

表連携出力設定 表ウィジェット名: TABLE000

出力設定

- ページ目のみ
- 繰り返し帳票のヘッダ キーにする
- 最終ページのみ 重複非表示
- 全ページ キーごと

適用 OK キャンセル

図：テキスト / 直線 / 四角形 / 楕円 / 罫線のプロパティダイアログ - 「表連携」タブ

テキスト

ウィジェット番号: 001 記述: Text

入力 | 属性 | 位置 | 表連携 | 透かし | 小数点一桁

表連携出力設定 表ウィジェット名: TABLE000

出力設定

- ページ目のみ
- 繰り返し帳票のヘッダ キーごと
- 最終ページのみ

重ね合わせ設定

- 最前面に描画
- 最背面に描画

適用 OK キャンセル

図：イメージのプロパティダイアログ - 「表連携」タブ

イメージ

ウィジェット番号: 001 記述: Image

属性 | 表示 | 重ね合わせ | 位置 | 表連携 | 透かし | 小数点一桁

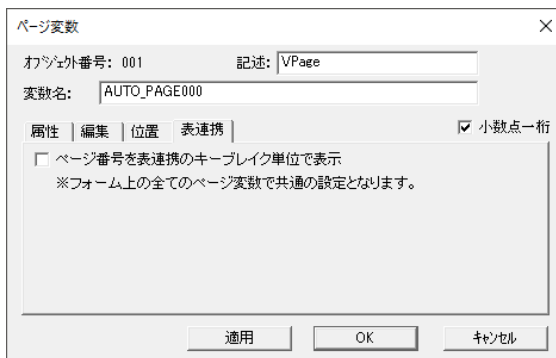
表連携出力設定 表ウィジェット名: TABLE000

出力設定

- ページ目のみ
- 繰り返し帳票のヘッダ
- 最終ページのみ キーごと

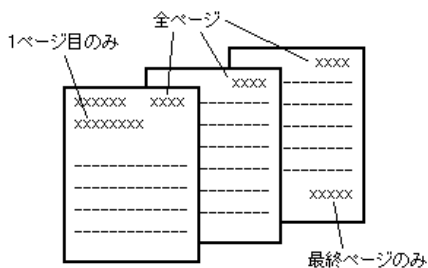
適用 OK キャンセル

図：ページ変数のプロパティダイアログ - 「表連携」タブ



ページ変数以外の表連携オブジェクトは、出力のタイミングを [1 ページ目のみ] [繰り返し帳票のヘッダ] [最終ページのみ] [全ページ (テキスト変数 / バーコード変数 / イメージ変数 / 二次元コード変数のみ)] からそれぞれ個別に指定することができます。
 また、オブジェクトの右クリックメニュー-「表連携」から表連携出力設定することも可能です。

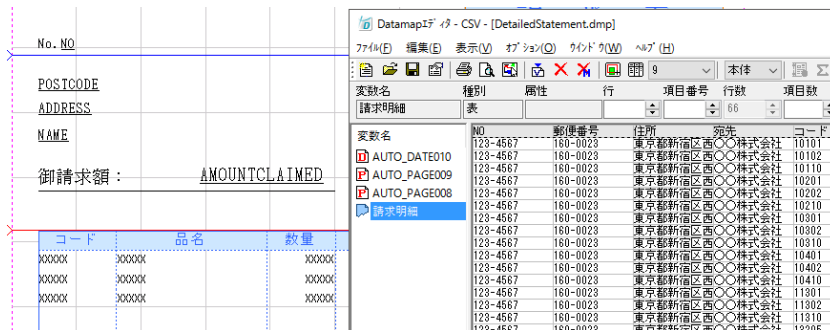
図：出カタイミング



28-2. データをマッピングする

表連携オブジェクトとなった変数オブジェクトは、表オブジェクトの一部になります。そのため Datamap エディタの変数名リストには表示されません。

図：変数名リストに表示されない



データのマッピングは表オブジェクトの中で行います。表オブジェクトの詳細マッピングダイアログを表示させると、表連携オブジェクトの変数オブジェクトも一緒に表示されます。

図：詳細マッピング

表オブジェクト詳細マッピング

表オブジェクト外の各項目に対するマッピング状態を変更します。

表の項目名	データ属性	カラム名	カラムデータ
郵便番号	テキスト(表連携)	1行目 1項目	123-4567
住所	テキスト(表連携)	1行目 2項目	160-0023
宛先	テキスト(表連携)	1行目 3項目	東京都新宿区西新宿7-0-00
請求金額	テキスト(表連携)(集計)	設定なし	
NO	テキスト(表連携)	1行目 4項目	〇〇株式会社
コード	テキスト	1行目 5項目	10101
品名	テキスト	1行目 6項目	パソコンデスク
数量	テキスト	1行目 7項目	10
単価	テキスト	1行目 8項目	59800
金額	テキスト	1行目 9項目	598000
備考	テキスト	1行目 10項目	
金額(集計フロッグ)_017	テキスト(集計)	設定なし	

28-3. 集計値・計算値を出力する

表オブジェクトの集計・計算機能によって算出した値を表の中のセルではなく表オブジェクトとは別のテキスト変数に出力したい場合は、テキスト変数を表連携オブジェクトにして集計値・計算値の出力設定を行います。

図：表の外部に集計値・計算値

請求書

No. 123-4567

〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-0-00
〇〇株式会社

請求金額: ¥26,510,000

表の上に集計値

コード	品名	数量	単価	金額	備注
10101	パソコンデスク	10	59,800	598,000	なし
10102	パソコンデスク	10	38,000	380,000	なし
10110	パソコンデスク	5	32,000	160,000	なし
10101	パソコンデスク	10	59,800	598,000	なし

集計値を出力させる場合は、表連携オブジェクトの設定で「表示内容」を「集計値」にします。

図：表示内容を集計値に設定

置 表連携 | 小数点一桁

表オブジェクト外名: [DETAILS]

表示内容

通常マッピング

集計値

計算値

「集計設定」ボタンをクリックすると「集計設定」ダイアログが表示されます。

図：集計設定ダイアログ

ここで[表オブジェクト名]のリストから集計値を取得する対象の表オブジェクト名を選択し、[集計対象項目]のリストから集計を行う項目を選択します。集計や計算に関する設定については「20. 集計」「21. 計算」をご参照ください。

図：集計対象項目を設定

この設定を行うことでテキスト変数に表の集計値を出力させることができるようになります。

28-4.1 ページ目のみに出力する

表連携オブジェクトの設定で[出力設定]を[1ページ目のみ]にするとそのオブジェクトは1ページ目のみに出力されるオブジェクトになります。

図：設定画面

テキスト変数等の変数オブジェクトだけでなく四角形や直線等の固定オブジェクトも1ページ目のみの出力に指定できるので、この機能を使うことで明細帳票パターンのような最初のページだけタイトル部分がある帳票が作成できます。

図：タイトルがある帳票

The screenshot shows a request form with a title section and a list section. The title section includes the company name, address, and contact information. The list section is a table with columns for code, name, quantity, unit price, and amount.

コード	品名	数量	単価	金額	備考
10101	パソコン	10	59,800	598,000	なし
10102	パソコン	10	36,800	368,000	なし
10110	パソコン	5	32,800	164,000	なし
10101	パソコン	10	59,800	598,000	なし
10102	パソコン	10	36,800	368,000	なし
10110	パソコン	5	32,800	164,000	なし
10101	パソコン	10	59,800	598,000	なし

集計値や計算値を指定した表連携オブジェクトに対しても設定可能なので、税込み合計金額のようなデータを1ページ目の最初に出力させることもできます。

図：合計を最初のページに出力する

The screenshot shows a request form with a table and a total amount. The table has columns for code, name, quantity, unit price, and amount. The total amount is displayed as ¥27,835,500 (including tax).

コード	品名	数量	単価	金額
10101	パソコン	10	59,800	598,000
10102	パソコン	10	36,800	368,000
10110	パソコン	5	32,800	164,000
10101	パソコン	10	59,800	598,000
10102	パソコン	10	36,800	368,000

御請求額(税込)： ¥27,835,500-

28-5. 最終ページのみにも出力する

1ページ目のみに出力するのは逆に、最後のページに表連携オブジェクトを出力させるように設定するには、表連携オブジェクトの設定で[出力設定]を[最終ページのみ]に設定します。

図：設定画面

The screenshot shows the settings screen for table linkage. The 'Output Setting' section is set to 'Final Page Only'.

属性 | 配置 | 編集 | 重ね合わせ | 位置 | 表連携 | 小数点一桁

表連携出力設定

出力設定

- 1ページ目のみ
- 繰り戻し帳票のヘッダ
- 最終ページのみ
- 全ページ

キーにする

重複非表示

キーごと

表連携の外名: TABLE000

表示内容

- 通常マウング
- 集計値
- 計算値

集計設定...

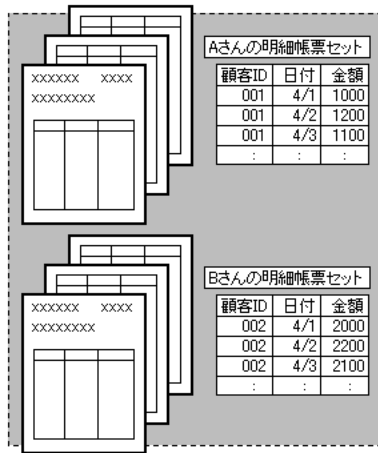
計算設定...

28-7. 繰り返し帳票のヘッダに指定する

明細帳票のようなタイトル部分のある帳票を繰り返し出力する場合は、表連携オブジェクトの設定を [1 ページ目のみ] の出力ではなく、[繰り返し帳票のヘッダ] として設定し、表連携オブジェクトに対してキー項目を割り当てます。

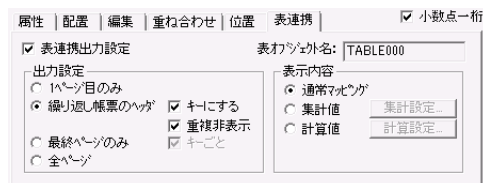
例えば、タイトル部分の「顧客ID」のような項目がキー項目として指定されていれば、「顧客ID」ごとに明細帳票を繰り返すことができます。

図：繰り返し明細帳票パターン



このような設定を行うには、表連携オブジェクトの設定で [出力設定] を [繰り返し帳票のヘッダ] にします。キー項目として設定したい表連携オブジェクトには、さらに [キーにする] のチェックボックスにチェックを入れます。

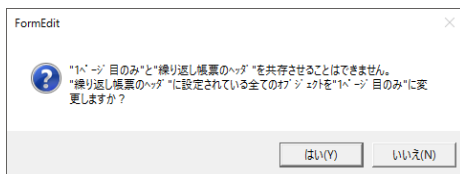
図：繰り返し帳票のヘッダに設定



繰り返し帳票のヘッダに設定されたキー項目はキーごとの最初のページのみ出力されます。[重複非表示] のチェックを外すと全ページに出力されるようになります。

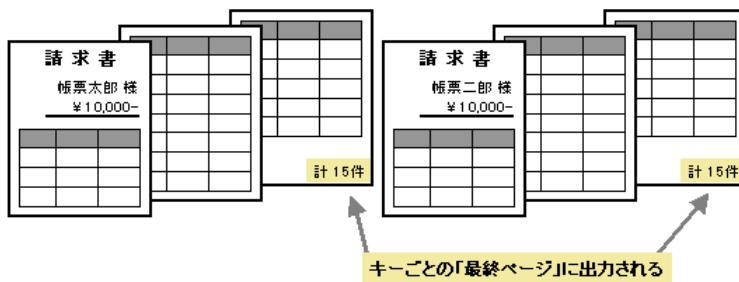
この設定は1ページ目のみに出力する設定と併用することはできません。つまり、最初のページだけ出力される表連携オブジェクトがあり、それとは別にキーブレイクごとに繰り返し出力される表連携オブジェクトがある場合は設定することができません。すでに1ページ目のみに出力する設定を行ったオブジェクトが存在するときに繰り返し帳票のヘッダを設定しようとする（逆のパターンでも同様）と次のような警告が表示され、どちらかに統一するよう促されません。

図：警告



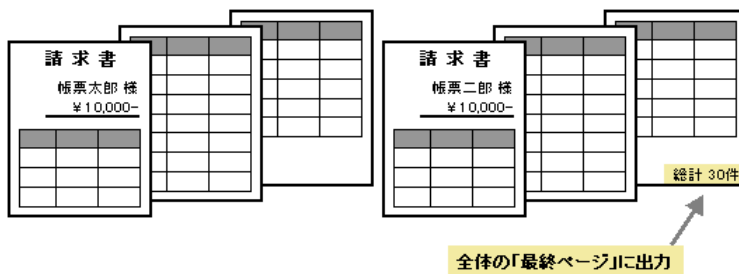
また、この設定を行った場合、「最終ページのみ」に設定された表連携オブジェクトは通常「キーごとの最終ページ」に出力されます。

図：キーごとの最終ページに出力



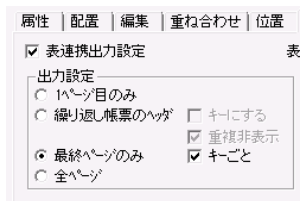
次の図のように帳票全体の集計値を一番最後に出力することも可能です。

図：全体の最終ページに出力



そのためには表連携オブジェクトの設定画面で、ラジオボタン [最終ページのみ] の横にある [キーごと] のチェックを外します。

図：[キーごと] のチェックを外す



これによりその表連携オブジェクトは全体の最終ページに出力されるようになります。

また、繰り返し帳票のヘッダを指定した場合は、ページ変数と連動させてキーブレイクごとにページ番号が1に戻るよう制御することができます。

この制御を有効にするためには、ページ変数の表連携設定で「ページ番号を表連携のキーブレイク単位で表示」のチェックを有効にします。

図：ページ変数の表連携設定

<< 注意 >>

この設定を行うことで実行オプション「-pr1」が自動的に有効になり、帳票全体のページ変数の出力に影響を与えますのでご注意ください。

28-8. 表連携オブジェクトの重ね合わせ設定

「表連携出力設定」に設定した固定オブジェクト（テキスト、直線、四角形、楕円、罫線）はその他の全オブジェクトに対して、必ず最前面又は最背面に描画されます。

「表連携出力設定」に設定した固定オブジェクトの出力順序は、プロパティダイアログ - 「表連携」タブ内の「重ね合わせ設定」で設定できます。

図：テキスト プロパティダイアログ - 「表連携」タブ

[最前面に描画]

他の全てのオブジェクトより前面に描画されます。
打ち消し線などに使用できます。

[最背面に描画]

他の全てのオブジェクトより背面に描画されます。
背面の色付けなどに使用できます。

図：重ね合わせ例



※テキスト変数とイメージ変数、イメージの場合、[表連携出力設定] に関わらず、プロパティダイアログの [重ね合わせ] タブで同様の設定を行うことができます。

28-9. 表連携オブジェクトの非表示

表連携オブジェクトの非表示とは、配置した表連携オブジェクトを帳票上に表示しない機能です。たとえば、帳票上には表示しませんが、表のキーとなるテキスト変数を配置する必要があるときなどに使用します。

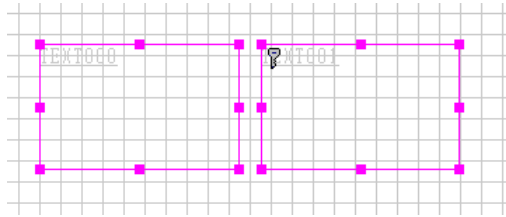
表連携オブジェクト（テキスト変数のみ）の非表示機能は、テキスト変数の非表示と同様の設定となります。テキスト変数の非表示の説明も併せてご確認ください。（マネージャのメニュー [ヘルプ] - [オンラインマニュアル] から「フォームオブジェクト」-「固定テキスト・テキスト変数」-「14. 非表示」）

表連携オブジェクトを非表示に設定するには、テキスト変数をダブルクリックして表示されるプロパティダイアログの [非表示] のチェックボックスにチェックを入れて設定します。

図：[非表示] チェックボックス

非表示に設定された表連携オブジェクトは、Form エディタ上で、灰色で示されます。また、キーに設定された表連携オブジェクトを非表示に設定すると、キーアイコンは灰色で表示されます。（通常はキーアイコンは黄色で表示されます。）

図：表連携オブジェクト（非表示）の Form エディタ上での表示



30. 表の上下枠線

30-1. 表の上下罫線の概要

表オブジェクトでは、以下の2ヶ所に対して任意の罫線を出力させることができます。

- ・ラベルブロックとレコードブロックの境界線
- ・そのページでの表の一番下の線

図：表の上下罫線

The screenshot shows a form titled '請求書' (Invoice) with a table containing multiple rows of data. The table rows alternate between light blue and white. A dashed line is drawn above the top row, labeled '上線' (Top line), and another dashed line is drawn below the bottom row, labeled '下線' (Bottom line). The table columns include 'No.', '品名', '数量', '単価', '金額', '単位', and '税率'.

これらの罫線を設定するには、表オブジェクトの左上のプロパティボタンをダブルクリックし表オブジェクトのプロパティダイアログを表示します。

図：デザインタブ

The screenshot shows the 'デザイン' (Design) tab of the table's property dialog. The '罫線' (Grid) checkbox is checked. Below it, there are input fields for '網掛け行数' (Grid rows), '間隔' (Interval), and '色' (Color). The 'レコードブロックの線' (Record block line) section has two checkboxes: '上' (Top) and '下' (Bottom). The '上' checkbox is checked, and the '下' checkbox is unchecked. There are also input fields for '線種' (Line style), '線幅' (Line width), and '色' (Color) for both top and bottom lines. The '丸コナ' (Rounded corners) section has checkboxes for '左上/右上' and '左下/右下', and an input field for '半径' (Radius).

「デザイン」タブの「レコードブロックの線」の「上」にチェックを入れます。（「下」は初期状態でチェックが入っています。）

図：レコードブロックの線をチェック

レコードブロックの線

上: 線種: --- 線幅: 色: ...

下: 線種: = 線幅: 色: ...

[線種]、[線幅]、線の[色]を任意のものに設定します。

ここで指定した罫線は他のどの罫線（セルの罫線、キープレイク罫線）よりも優先的に出力されます。そのため他の罫線と重なる場合はその罫線は出力されません。

図：出カイメージ

請求書

No. 003-0001 発行: 2009年12月10日 Page: 1 / 2

〒150-0002 株式会社

東京都市建設株式会社
〇〇株式会社

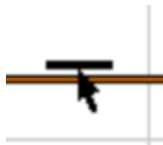
〒150-0002
東京都港区赤坂1-1-1
電話: 03-0000-0000 FAX: 03-0000-0000
代表者: 代表取締役

請求金額: ¥26,510,000-

品番	品名	単位	数量	単価	金額	備考
00001	〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00002	〇〇〇〇	個	10	200,000	2,000,000	
00003	〇〇〇〇	個	10	300,000	3,000,000	
00004	〇〇〇〇	個	10	400,000	4,000,000	
00005	〇〇〇〇	個	10	500,000	5,000,000	
00006	〇〇〇〇	個	10	600,000	6,000,000	
00007	〇〇〇〇	個	10	700,000	7,000,000	
00008	〇〇〇〇	個	10	800,000	8,000,000	
00009	〇〇〇〇	個	10	900,000	9,000,000	
00010	〇〇〇〇	個	10	1,000,000	10,000,000	
00011	〇〇〇〇	個	10	1,100,000	11,000,000	
00012	〇〇〇〇	個	10	1,200,000	12,000,000	
00013	〇〇〇〇	個	10	1,300,000	13,000,000	
00014	〇〇〇〇	個	10	1,400,000	14,000,000	
00015	〇〇〇〇	個	10	1,500,000	15,000,000	
00016	〇〇〇〇	個	10	1,600,000	16,000,000	
00017	〇〇〇〇	個	10	1,700,000	17,000,000	
00018	〇〇〇〇	個	10	1,800,000	18,000,000	
00019	〇〇〇〇	個	10	1,900,000	19,000,000	
00020	〇〇〇〇	個	10	2,000,000	20,000,000	
00021	〇〇〇〇	個	10	2,100,000	21,000,000	
00022	〇〇〇〇	個	10	2,200,000	22,000,000	
00023	〇〇〇〇	個	10	2,300,000	23,000,000	
00024	〇〇〇〇	個	10	2,400,000	24,000,000	
00025	〇〇〇〇	個	10	2,500,000	25,000,000	
00026	〇〇〇〇	個	10	2,600,000	26,000,000	
00027	〇〇〇〇	個	10	2,700,000	27,000,000	
00028	〇〇〇〇	個	10	2,800,000	28,000,000	
00029	〇〇〇〇	個	10	2,900,000	29,000,000	
00030	〇〇〇〇	個	10	3,000,000	30,000,000	
00031	〇〇〇〇	個	10	3,100,000	31,000,000	
00032	〇〇〇〇	個	10	3,200,000	32,000,000	
00033	〇〇〇〇	個	10	3,300,000	33,000,000	
00034	〇〇〇〇	個	10	3,400,000	34,000,000	
00035	〇〇〇〇	個	10	3,500,000	35,000,000	
00036	〇〇〇〇	個	10	3,600,000	36,000,000	
00037	〇〇〇〇	個	10	3,700,000	37,000,000	
00038	〇〇〇〇	個	10	3,800,000	38,000,000	
00039	〇〇〇〇	個	10	3,900,000	39,000,000	
00040	〇〇〇〇	個	10	4,000,000	40,000,000	

Formエディタ上で表示されている表のレコードブロックの線にカーソルを合わせると、カーソルの形状が変化します。

図：レコードブロック線上のカーソル



カーソルが変化した状態でダブルクリックすると、表オブジェクトのプロパティダイアログのデザインタブが表示されます。

図：デザインタブ

30-2. 表に枠線を付ける

この機能の主な利用シーンは、表に枠線を付ける場合です。

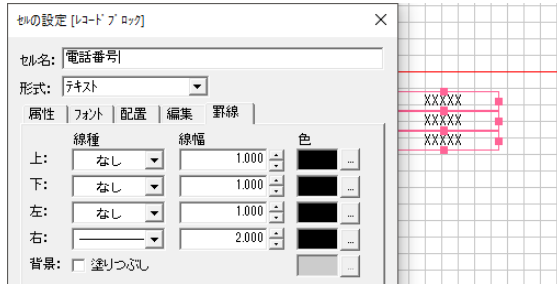
分かりやすいケースとして罫線を表示しない明細を考えてみると、通常は次のように入力されます。

図：罫線がない表

A104001	横濱 一	役員	住友銀行	1971/04/01	1981/03/31	115-0023	東京第二区区立区立第3-40	03-3720-1140
A104002	天海 隆幸	役員	東京海上	1974/04/01	1981/03/30	159-0021	東京第二区区立区立第5-12-77	03-3320-0000
A104003	小山 隆幸	役員	東京海上	1971/04/01	1981/03/31	103-0040	東京第二区区立区立第5-28-12	03-3020-5664
A104004	岸本 隆幸	役員	住友銀行	1971/03/01	1982/11/30	154-0035	東京第二区区立区立第6-9-84	03-3600-0100
A104011	藤原 隆幸	役員	住友銀行	1971/12/10	1982/02/23	145-0067	東京第二区区立区立第6-12-25	03-3900-0903
A104002	山田 隆幸	役員	住友銀行	1972/04/01	1982/03/03	153-0018	東京第二区区立区立第6-30-1	03-3420-1506
A104004	山田 隆幸	役員	住友銀行	1972/04/01	1982/12/31	114-0082	東京第二区区立区立第13-10	03-3640-8004
A104006	山田 隆幸	役員	住友銀行	1972/03/22	1983/06/20	154-0060	東京第二区区立区立第15-5-61	03-3840-4508
A104001	三井 隆幸	第1 1024	役員	1972/04/01	1983/12/24	148-0025	東京第二区区立区立第17-10	03-3250-2202
A104006	三井 隆幸	第2 1024	役員	1972/04/01	1983/06/15	156-0064	東京第二区区立区立第19-44	03-3210-8402
A104006	三井 隆幸	役員	住友銀行	1972/04/01	1984/04/20	182-0003	東京第二区区立区立第19-30-42	03-3400-1838
A104007	山本 隆幸	役員	住友銀行	1972/04/01	1984/03/25	116-0040	東京第二区区立区立第19-8-10	03-3410-6638
A104008	山本 隆幸	役員	住友銀行	1972/11/20	1984/03/12	135-0077	東京第二区区立区立第19-77	03-3540-8202
A104002	藤原 隆幸	役員	住友銀行	1974/04/01	1984/03/25	150-0019	東京第二区区立区立第12-58	03-3700-0304
A104002	佐藤 隆幸	役員	住友銀行	1974/04/01	1984/03/23	122-0088	東京第二区区立区立第13-58	03-3940-0120
A105004	佐々木 隆幸	第1 1024	役員	1979/04/01	1985/12/11	168-0042	東京第二区区立区立第15-5-19	03-3310-8202
A105002	藤原 隆幸	第2 1024	役員	1982/05/02	1981/11/02	171-0081	東京第二区区立区立第16-17-11	03-3040-1941
A105011	中山 隆幸	役員	住友銀行	1982/05/02	1981/03/02	186-0051	東京第二区区立区立第16-4-65	03-3310-0003
A105012	中山 隆幸	役員	住友銀行	1985/05/02	1982/03/07	128-0025	東京第二区区立区立第16-9-9	03-3840-4128
A105020	藤原 隆幸	役員	住友銀行	1982/05/02	1982/12/01	136-0080	東京第二区区立区立第16-22-21	03-3460-1944
A105011	藤原 隆幸	役員	住友銀行	1980/05/20	1982/12/23	130-0069	東京第二区区立区立第16-12-06	03-3360-4419
A105012	藤原 隆幸	役員	住友銀行	1980/05/20	1982/07/13	199-0060	東京第二区区立区立第16-6-50	03-3110-9900
A105015	藤原 隆幸	第1 1024	役員	1980/05/01	1982/12/01	146-0064	東京第二区区立区立第16-9-7	03-3250-9501
A105017	中山 隆幸	第2 1024	役員	1980/05/21	1982/04/20	122-0021	東京第二区区立区立第16-10-18	03-3840-4200
A105019	中山 隆幸	役員	住友銀行	1980/05/21	1983/11/04	134-0019	東京第二区区立区立第16-20-01	03-3490-8012
A105021	三浦 隆幸	役員	住友銀行	1980/05/20	1982/06/01	169-0081	東京第二区区立区立第17-46	03-3800-7120
A105002	小山 隆幸	役員	住友銀行	1980/05/18	1984/03/10	142-0047	東京第二区区立区立第18-31-10	03-3250-0002
A105004	中山 隆幸	第1 1024	役員	1980/05/12	1984/02/05	162-0021	東京第二区区立区立第18-3-40	03-3310-8414
A105007	藤原 隆幸	第2 1024	役員	1981/05/16	1984/11/12	122-0080	東京第二区区立区立第18-11-8	03-3210-1800
A105009	藤原 隆幸	役員	住友銀行	1981/05/20	1984/03/21	181-0088	東京第二区区立区立第18-40-40	03-3850-0006
A105010	藤原 隆幸	役員	住友銀行	1981/05/14	1984/06/03	121-0002	東京第二区区立区立第18-25-02	03-3260-3914
A105011	山田 隆幸	第2 1024	役員	1982/05/16	1980/01/11	141-0014	東京第二区区立区立第18-20-01	03-3300-6100
A105012	藤原 隆幸	第1 1024	役員	1982/05/14	1971/03/05	132-0046	東京第二区区立区立第18-25-22	03-3460-2190
A105013	藤原 隆幸	役員	住友銀行	1982/05/16	1971/03/20	120-0060	東京第二区区立区立第18-21-5	03-3110-8011
A105002	藤原 隆幸	第2 1024	役員	1980/05/19	1971/02/17	119-0066	東京第二区区立区立第18-12-15	03-3110-8212
A105003	三井 隆幸	第1 1024	役員増設	1981/02/20	1972/12/21	179-0025	東京第二区区立区立第18-42	03-3460-4127
A105010	中山 隆幸	第2 1024	役員増設	1982/05/02	1972/02/28	160-0021	東京第二区区立区立第18-20-00	03-3000-2000
A105011	藤原 隆幸	第2 1024	役員増設	1982/05/02	1972/01/14	132-0012	東京第二区区立区立第18-3-9	03-3360-4006
A105012	藤原 隆幸	役員増設	住友銀行	1982/05/10	1972/08/21	164-0024	東京第二区区立区立第18-21	03-3020-3905
A105001	藤原 隆幸	役員増設	住友銀行	1982/05/02	1972/06/29	146-0023	東京第二区区立区立第18-13-23	03-3180-8000
A105002	藤原 隆幸	役員増設	住友銀行	1982/05/11	1972/05/04	129-0029	東京第二区区立区立第18-15-46	03-3810-8100
A105004	藤原 隆幸	第1 1024	役員増設	1982/02/12	1972/11/01	148-0001	東京第二区区立区立第18-9-05	03-3800-2000
A105006	藤原 隆幸	第2 1024	役員増設	1980/05/20	1974/04/19	141-0080	東京第二区区立区立第18-20-24	03-3220-8011

この表に枠線を付けるには、まず左右の枠をレコードブロックの左右の罫線で定義します。

図：左右の枠線



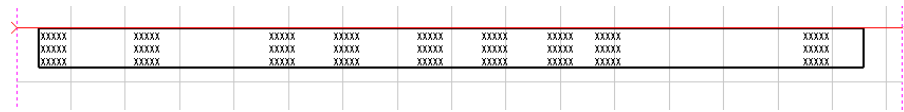
上下の枠はレコードブロックや他のブロックの罫線では定義しにくいので、この部分に出力する罫線として表の上下罫線を指定します。

図：上下罫線設定



上下の枠線が出力されます。

図：Form エディタ上の表示



図：出カイメージ

A1040001	嶋根 一郎	役員	代表取締役	1971/04/01	1991/10/02	115-0007	東京都中央区豊洲1-3-40	03-3722-1140
A1040002	大島 幸雄	役員	専務取締役	1974/04/01	1991/03/20	159-0021	東京都江戸川区東5-12-71	03-3200-0869
A1040003	小川 幸也	役員	専務取締役	1971/04/01	1991/02/11	100-0049	東京都中央区銀座7-8-25-12	03-3022-9564
A1040009	河津 孝輔	役員	取締役	1971/06/01	1992/11/01	154-0079	東京都豊島区花畑町6-34	03-3660-3119
A1040011	藤本 隆	役員	取締役	1971/12/10	1992/02/23	145-0007	東京都練馬区神楽坂9-12-25	03-3562-0563
A1040012	山口 隆雄	取締役	役員	1972/04/01	1992/08/03	121-0019	東京都中央区豊洲1-20-11	03-3450-1566
A1040014	山口 正弘	人事	部長	1972/04/01	1992/12/31	114-0002	東京都練馬区成徳2-13-10	03-3444-6956
A1040016	山口 洋二	取締役	役員	1972/01/22	1992/08/20	154-0000	東京都中央区豊洲1-25-01	03-3044-6586
A1040017	三木 伸	第1 1076	役員	1972/04/01	1992/12/24	140-0025	東京都中央区豊洲1-17-08	03-3251-7222
A1040018	三木 隆	第2 1076	役員	1973/04/01	1992/06/10	158-0054	東京都豊島区万年町1-25-48	03-3218-8402
A1040019	三木 隆雄	取締役	役員	1972/06/01	1994/04/30	140-0003	東京都千代田区錦町1-30-40	03-5461-1239
A1040020	阪本 隆二	取締役	役員	1973/05/01	1994/09/05	115-0040	東京都中央区豊洲1-16-30	03-3474-6828
A1040021	阪本 隆二	取締役	取締役	1973/11/20	1994/10/12	130-0077	東京都中央区小塚10-10-77	03-3547-3262
A1040022	藤原 伸也	人事	部長	1974/04/01	1994/10/25	150-0019	東京都豊島区豊島1-12-10	03-3701-0204
A1040023	藤原 伸也	取締役	取締役	1974/04/01	1994/08/23	102-0008	東京都中央区豊洲1-29-08	03-3941-7200
A1040024	田中 水 寛雄	第1 1076	取締役	1975/04/01	1992/12/11	140-0042	東京都豊島区豊島15-5-59	03-3519-8222
A1040025	藤原 伸也	第2 1076	取締役	1982/05/02	1991/11/02	121-0001	東京都中央区豊洲1-17-11	03-3046-1987
A1040026	中西 芳博	取締役	取締役	1982/05/20	1991/05/02	108-0001	東京都中央区豊洲4-4-05	03-3771-0063
A1040027	高橋 伸也	取締役	役員	1992/05/02	1992/09/07	129-0025	東京都池田区竹園3-39-05	03-3364-4129
A1040028	高橋 伸也	取締役	役員	1992/05/02	1992/12/01	129-0069	東京都池田区竹園2-12-21	03-3460-1944
A1040029	高橋 伸也	人事	部長	1990/05/26	1992/12/23	139-0009	東京都中央区豊洲1-12-00	03-3764-1419
A1040030	藤本 隆雄	取締役	役員	1990/05/26	1992/07/13	108-0060	東京都中央区豊洲4-8-00	03-3719-9988
A1040031	藤本 隆雄	第1 1076	役員	1990/05/07	1992/12/31	148-0064	東京都練馬区豊島町1-9-7	03-3525-8541
A1040032	藤本 隆雄	第2 1076	役員	1990/02/27	1992/04/20	122-0011	東京都練馬区豊島町1-9-11	03-3640-4206
A1040033	江崎 伸一	取締役	役員	1990/05/01	1992/11/04	124-0019	東京都中央区豊洲4-10-91	03-3480-8212
A1040034	五十嵐 秀也	取締役	役員	1990/05/02	1992/04/01	109-0001	東京都多摩市7-11-48	03-3801-7129
A1040035	小池 洋一	人事	役員	1990/05/10	1994/03/10	142-0047	東京都中央区豊洲3-11-10	03-3554-0002
A1040036	三木 伸	第1 1076	役員	1990/05/12	1994/02/05	142-0021	東京都中央区豊洲3-6-09	03-3511-6414
A1040037	藤本 伸也	取締役	役員	1991/05/10	1994/11/12	121-0000	東京都豊島区7-17-18	03-3214-1820
A1040038	藤本 伸也	取締役	役員	1991/02/20	1994/10/21	151-0005	東京都港区三軒小松町1-16-40	03-3262-0466
A1040039	藤本 伸也	取締役	役員	1991/01/14	1994/06/03	121-0002	東京都港区三軒小松町1-4-01	03-3262-7414
A1040041	山口 隆雄	第2 1076	役員	1992/05/05	1992/01/11	141-0014	東京都豊島区豊島町1-23-01	03-3282-0186
A1040042	藤本 隆雄	第1 1076	役員	1992/02/12	1971/10/05	122-0040	東京都中央区豊洲1-25-22	03-3462-2160
A1040043	藤原 伸也	取締役	役員	1992/05/10	1991/02/20	102-0000	東京都豊島区豊島1-21-5	03-3113-8211
A1040045	藤原 伸也	第2 1076	役員	1990/05/10	1971/02/17	119-0066	東京都豊島区豊島1-22-15	03-3719-5212
A1040047	藤原 伸也	第1 1076	役員	1992/05/12	1972/02/21	121-0025	東京都中央区豊洲1-4-41	03-3460-4121
A1040048	藤原 伸也	第2 1076	役員	1992/05/02	1972/02/29	100-0011	東京都練馬区豊島町2-2000	03-3050-2500
A1040049	藤本 伸也	第2 1076	役員	1992/05/05	1972/01/14	120-0012	東京都中央区豊洲1-6	03-3260-4556
A1040050	藤本 伸也	取締役	役員	1992/05/12	1972/08/21	146-0004	東京都豊島区豊島1-6-23	03-3262-8500
A1040051	高橋 伸也	人事	役員	1993/05/29	1973/06/25	140-0003	東京都中央区豊洲1-10-732	03-3194-8909
A1040052	藤原 伸也	第1 1076	役員	1993/05/11	1973/05/04	129-0029	東京都練馬区豊島町1-19-46	03-3519-0160
A1040054	藤本 伸也	第1 1076	役員	1992/02/12	1972/11/01	140-0001	東京都中央区豊洲4-8-8	03-3260-2603
A1040055	藤本 伸也	第2 1076	役員	1993/05/20	1974/04/19	141-0009	東京都練馬区豊島町1-24	03-3222-8211

30-3. 重複データ非表示による罫線切れを防ぐ

もう一つの利用シーンは以下のようなケースです。「重複データ非表示」機能を使用するとちょうどページの区切りで罫線が描画されずに切れてしまうことがあります。

図：罫線が切れる

				SET-FRU-0001 季節のフ
				SIN-FRU-0005 特選マス
				SIN-FRU-0113 愛嬌産み
2006/11/7	912145	A002	カフェ・クローバー	SET-CAK-0002 ブチガト
				SET-CAK-0005 フィナン
				SET-CAK-0006 マドレニ
				SIN-CAK-0003 ガトービ
				SIN-CAK-0004 ガトービ
				SET-DES-0015 ジャージ
				SET-DES-0023 カスター
				SET-FRU-0001 季節のフ
				SIN-FRU-0005 特選マス
				SIN-FRU-0102 フィリビ

表の一番下に強制的に罫線を出力することでこういった状況を防ぐことができます。

図：下の罫線を指定

				SET-FRU-0001 季節のフ
				SIN-FRU-0005 特選マ
				SIN-FRU-0113 愛嬌産
2006/11/7	912145	A002	カフェ・クローバー	SET-CAK-0002 ブチガ
				SET-CAK-0005 フィナ
				SET-CAK-0006 マドレ
				SIN-CAK-0003 ガトー
				SIN-CAK-0004 ガトー
				SET-DES-0015 ジャー
				SET-DES-0023 カスタ
				SET-FRU-0001 季節の
				SIN-FRU-0005 特選マ
				SIN-FRU-0102 フィリ

31. 条件判別による文字色・背景色の変更

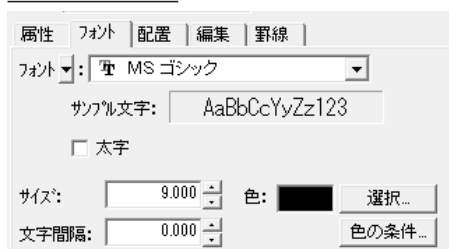
テキスト変数オブジェクトの機能である条件判別による色の変更機能を表オブジェクトのセルでも使用することができます。例えば、あるセルの値がマイナスであれば赤い色で表示することができます。

図：マイナス値を赤く表示

6000	12000
120	6000
630	6300
900	-31500
500	10000
1000	10000

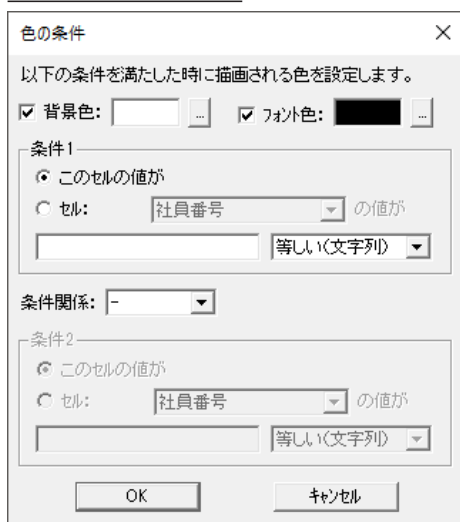
この設定を行うには、適用したいセルをダブルクリックしてセルのプロパティダイアログの [フォント] タブを表示します。

図：フォントタブ



[色の条件] ボタンをクリックすると「色の条件」ダイアログが表示されます。

図：色の条件ダイアログ



この画面で色の条件を設定します。

色の条件判別機能に関しては、マネージャのメニュー [ヘルプ]-[オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「固定テキスト/テキスト変数」をご覧ください。

<<注意>>

条件比較対象に他のセルを指定する場合、選択可能なセルは、同一のレコード行に存在するセルとなります。上下に結合しているセルを比較対象に指定したい場合、結合している一番上の行で選択することが可能です。

32. データが0件の場合の設定

表オブジェクトに対してマッピングされたデータが0件だった場合にその表オブジェクトをどのように扱うかを以下の2種類から選択することができます。

1. 何も出力しない
2. データのない空の表を出力する

また、データが0件の場合は警告として扱うように指定することもできます。

ただし、これらの設定はフォーム全体に対して行うものであり、表オブジェクト個別に設定することはできません。

1. 何も出力しない

データが0件だった場合に何も表示しないようにするには、Form エディタのメニューで [ファイル] から [フォーム設定] を実行し、表示された「フォーム設定」ダイアログの「表オブジェクト」タブにある [データが0件の場合はその表を表示しない] にチェックを入れます。

図：フォーム設定

フォーム設定

ステータス | 用紙サイズ | 編集モード | テンプレート

lpi/cpi | 表オブジェクト | Salesforce

行間隔: 12,000 小数点一桁

ガイド

1ページ目の開始位置 ◆ 50,140

2ページ目以降の開始位置 ◆ 50,140

最終ページフッタ位置 ◆ 566,140

終端位置 ◆ 566,140

データが0件の場合はその表を表示しない

データが0件の場合は警告する

計算処理において0除算が発生した場合は警告する

OK キャンセル

この設定は初期設定となっているため、何も設定を行わない場合はこの形式で処理されます。

2. 空の表を出力

前述の [データが0件の場合はその表を表示しない] のチェックを外すと、データが0件の場合に枠線だけの空の表を出力するようになります。

図：フォーム設定

- データが0件の場合はその表を表示しない
- データが0件の場合は警告する

この場合、ラベルブロックやタイトルブロックだけでなく、集計ブロックも0件分の集計結果として出力されます。

図：空の表を出力**日付別見積集計票**

日付	見積No	取引先コード	取引先名	商品コード	商品名	数量	単価	金額	備考
								0	
								0	
								0	

3. 警告となるように指定する

「フォーム設定」画面で [データが0件の場合は警告する] にチェックを入れると、マッピングされたデータが0件だった場合に警告を発生させることができます。

図：フォーム設定

- データが0件の場合はその表を表示しない
- データが0件の場合は警告する

警告コードは Windows と Linux/UNIX で異なりますので、マネージャのメニュー [ヘルプ]-[オンラインマニュアル] から「6. エラーコード」をご確認ください。

33. 空のデータをスキップする

レコードブロックにマッピングされた全てのデータが空の場合（テキストデータとして文字列長が0の場合）に、そのレコードを描画せずにスキップさせることができます。

例：

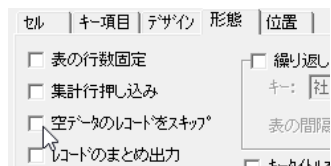
```
A1046001, 帳票  一郎, 役員
A1046002, 大池  信幸, 役員
..
A1046005, 小山  徹也, 役員
A1046009, 洲巻  雅義, 役員
```

データが上記例のような場合に空データだけの3行目はスキップされて、実際に出力に使用するデータとしては以下のように扱われます。

```
A1046001, 帳票  一郎, 役員
A1046002, 大池  信幸, 役員
A1046005, 小山  徹也, 役員
A1046009, 洲巻  雅義, 役員
```

この機能を有効にするためにはプロパティ画面の [形態] タブで [空データのレコードをスキップ] のチェックを有効にします。

図：プロパティ - 形態



34. レコードのまとめ出力

レコードブロックが [バイト数による自動改行] や [自動改行] 設定により行が追加された場合、レコードブロックの途中でページ終端に達し、改ページが発生する可能性があります。その際、レコードブロックの途中で改ページするか、レコードブロックを分割せずに次のページにまとめて出力するかを設定することができます。

図：レコードブロックの途中で改ページ

10512	事務机両キャビネット	5	32,800	164,000	
20101	キャビネット	10	59,800	598,000	
11310	事務机	5	32,800	164,000	商品の組立・設置はお客様自身で行っていただきますが、現場で組立・設置をさ

コード	品名	数量	単価	金額	備考
					せていただくサービス（有料）もございません。
20102	キャビネット	10	36,800	368,000	
20110	キャビネット	5	32,800	164,000	

図：レコードブロックを次のページにまとめて出力

10512	事務机両キャビネット	5	32,800	164,000	
20101	キャビネット	10	59,800	598,000	

コード	品名	数量	単価	金額	備考
11310	事務机	5	32,800	164,000	商品の組立・設置はお客様自身で行っていただきますが、現場で組立・設置をさせていただきます。
20102	キャビネット	10	36,800	368,000	せていただくサービス（有料）もございません。

レコードブロックを分割せずに次のページにまとめて出力する場合には、プロパティダイアログの [形態] タブで [レコードのまとめ出力] のチェックを有効にしてください。

図：レコードのまとめ出力設定

表 ×

オプティ番号: 007 記述: 明細表

変数名: 請求明細

セル | キー項目 | デザイン | 形態 | 位置 |

表の行数固定

集計行押し込み

空データのレコードをスキップ

レコードのまとめ出力

繰り返し表

キー: コード

表の間隔: 1行

キー項目をページ先頭にも出力

適用 OK キャンセル

[レコードのまとめ出力]にチェックを入れない場合は、レコードブロックの途中で改ページが発生する可能性があります。

なお、レコードブロック以外のブロックでは、ブロックの途中でページ終端に達した場合でも、ブロックは分割されずに次のページにまとめて出力されます。

また、[レコードのまとめ出力]が無効の状態ではページ集計機能を利用し、レコードブロックがページをまたいで分割された場合は、分割されたレコードブロックの先頭行が所属するページのみを集計値が加算されます。

35. セルの非表示

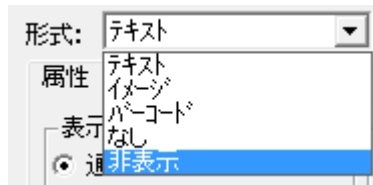
35-1. セルの非表示とは

セルの非表示とは、配置した表のセルを帳票上に表示しない機能です。たとえば、帳票上には表示しませんが、表のキーとなるセルを配置する必要があるときなどに使用します。

35-2. セルの非表示設定

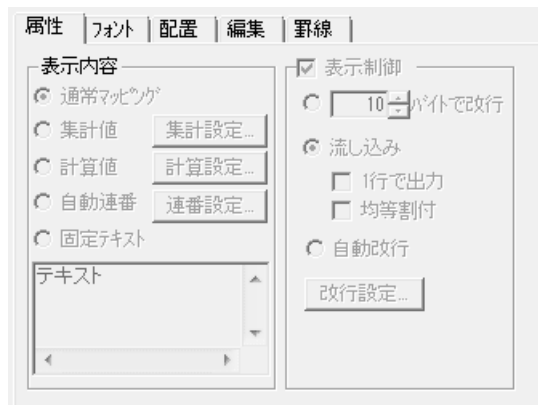
セルを非表示にするには「セルの設定」ダイアログで [形式] を [非表示] にします。

図：形式を非表示にする



タブの内容が以下のように非アクティブになります。

図：非表示時のタブ設定



セルを非表示にすると、非表示の設定をしたセルと同列のセルはすべて非表示となり、セル幅も0となります。(ビュー上からクリックできなくなります。)

図：セルの非表示

ITEM001	ITEM003
XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX

ランタイムが出力する帳票上では、設定された文字列や、マッピングしたデータは出力されません。しかし、帳票のキーブレイクのキーや、他セルの色の条件用のデータとして使用することができます。

また、キーとなったセルを非表示にすると、灰色のキーアイコンが表示されます。（通常のキーは黄色のキーアイコンで表示）

図：キー列の非表示

001	ITEM003
XXXXXX	
XXXXXX	
XXXXXX	

<< 注意 >>

形式がイメージ・バーコードのセル および 結合されたセルを含む列のセルは非表示にはできません。

35-3. 列を非表示にする

表オブジェクト内のセルを選択し、右クリックメニューから [列を非表示] を選択します。

図：列を非表示

	ITEM002	ITEM003	ITEM004	ITEM0
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

- セルの設定...
- アノックの設定...
- 重複アノック非表示
- キーブレイク設定...
- セル結合
- セル結合を解除
- 行を挿入
- 行を削除 Ctrl+Del
- 列を挿入...
- 列を削除 Shift+Ctrl+Del
- 列幅を設定...
- 列を非表示**
- このセルをキーとするタプルアノックを追加
- このセルをキーとする集計アノックを追加...

それぞれのセルは「 35-2 セルの非表示 」と同様の挙動となります。

35-4. セルの非表示の確認

セルの非表示を確認するには表のプロパティダイアログの [セル] タブで確認します。

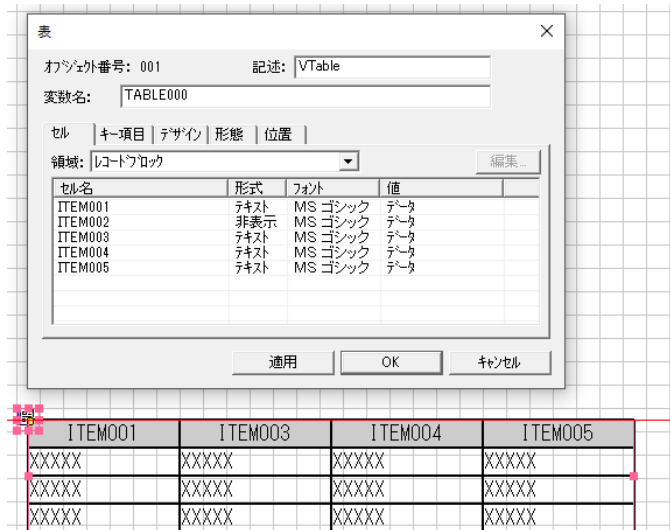
図：表のプロパティダイアログ



セルのリストで [形式] 項目が「非表示」となっているものが非表示セルです。

リストからセルを選択すると、ビュー上で非表示セルが存在する場所がピンク色の縦線で示されます。

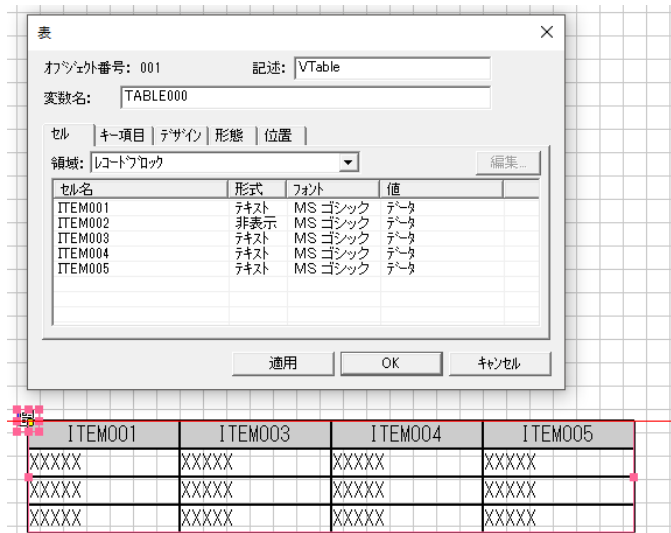
図：ビュー上での非表示セル



35-5. セルの非表示の解除

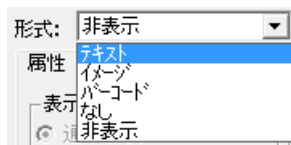
セルの非表示の解除は、表のプロパティダイアログの [セル] タブから行います。
セルのリストから該当の「非表示」セルを選択します。

図：表のプロパティダイアログ（セルタブ）



選択したセルをダブルクリックし、「セルの設定」ダイアログを表示します。
[形式] のコンボボックスから、[非表示] を [テキスト] など他の形式に変更します。

図：セルの設定ダイアログ



セルの非表示を解除すると、そのセルと同列にあるセルはすべて非表示が解除されます。

36. 丸コーナー

36-1. 丸コーナーとは

表オブジェクトでは、外枠の四隅の角を丸めて表示することができます。

図：丸コーナー

コード	品名	数量	単価	金額	備考
10101	パソコンデスク	10	59,800	598,000	
10102	パソコンデスク	10	36,800	368,000	
10110	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
10201	パソコンデスク	10	59,800	598,000	
10202	パソコンデスク	10	36,800	368,000	
10210	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
10301	パソコンデスク	10	59,800	598,000	
10302	パソコンデスク	10	36,800	368,000	
10310	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
10401	パソコンデスク	10	59,800	598,000	
10402	パソコンデスク	10	36,800	368,000	
10410	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
11301	事務机	10	59,800	598,000	
11302	事務机	10	36,800	368,000	
11310	事務机	5	32,800	164,000	
13205	OAチェア	20	39,800	796,000	2004年4月1日から2006年12月31日までの期間、特異品 数量 超過で、スタンダライズ
13208	OAチェア	50	49,800	249,000	
			合計	6,695,000	

36-2. 丸コーナー設定

丸コーナー設定は、表オブジェクトのプロパティダイアログの「デザイン」タブで行います。

図：デザインタブ

セル | キー項目 | **デザイン** | 形態 | 位置

網掛け
 網掛け行数: [1] 行 間隔: [1] 行 色: [...]
 先頭行を網掛けにする 1コード単位で網掛けにする

1コードブロックの線
 上: 線種: [...] 線幅: [1.000] 色: [...]
 下: 線種: [...] 線幅: [1.000] 色: [...]

丸コーナー
 左上/右上 左下/右下 半径: [6.000]

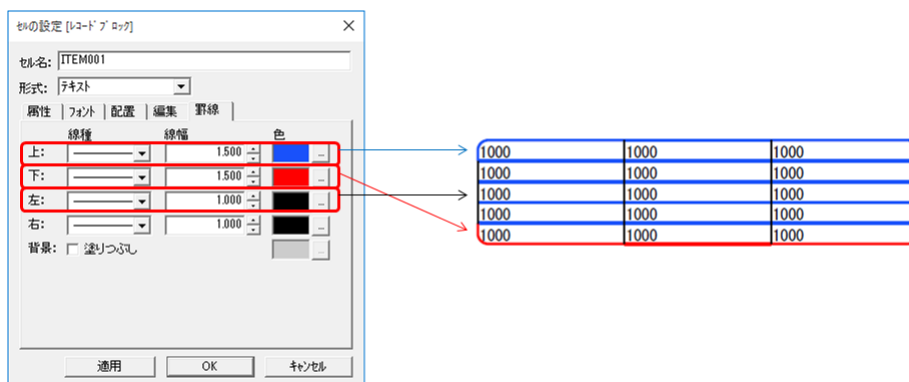
「デザイン」タブにおいて、丸コーナーを有効にしたい場所（[左上/右上]、[左下/右下]）にチェックを入れます。また、角の半径を[半径]欄に入力して指定します。

半径の値は、0.001～表オブジェクトの行間隔、左端の列幅/2、右端の列幅/2の最も小さい値の範囲内で指定します。

36-3. 丸コーナーの罫線属性

表オブジェクトでは、セルの上下左右の罫線を個々に設定することができますが、丸コーナー設定を行った場合は、それぞれ上罫線、下罫線の属性が左右の罫線に適用されます。

図：罫線の表示例



36-4. 制限事項

丸コーナー設定については、以下の制限事項があります。

- 罫線の線種に「二重線」は利用できません。
(実線で表示されます。)
- 「色の条件」の背景色
表オブジェクトの角のセルに、「色の条件」判別によって異なる背景色が出力される場合、背景色は丸コーナーになりません。
- ブロック分割
「レコードのまとめ出力」を”なし”に設定して、一つのブロックがページをまたいで分割される場合、丸コーナーになりません。
- 1行の表
1行のみで構成される表は丸コーナーになりません。
- 罫線のない表（最上部のブロック、最下部のブロック）
表の最上部のブロックの上罫線が設定されていない場合、丸コーナーになりません。
表の最下部のブロックに下罫線が設定されていない場合、丸コーナーになりません。

Create!Form 11

表組 第2版

発行日	2019年10月
発行者	インフォテック株式会社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25